

第2次光市総合計画の策定に向けた市民意識調査  
結果報告書

平成28年8月

# 目 次

## **I 調査の概要** **1**

- 1 調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 調査の対象者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3 調査方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 4 調査期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 5 配付回収状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 6 調査項目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 7 地域別の集計について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

## **II 調査の結果** **3**

- 1 あなた（回答者）ご自身について・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 2 日常の暮らしについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 3 行政運営について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
- 4 人口減少について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
- 5 分野別の目標について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42

## **III 【参考】 アンケート調査票** **77**

# I 調査の概要

## 1 調査目的

本調査は、「第2次光市総合計画」（計画期間：平成29～33年度）の策定にあたって、まちづくりに対する市民意識を把握し、総合計画の策定・推進の基礎資料とするために実施したものです。

## 2 調査対象者

16歳以上の市民3,000人を、住民基本台帳から無作為に抽出

## 3 調査方法

郵送による配付・回収（無記名回答方式）

## 4 調査期間

平成28年2月8日（月）～平成28年2月22日（月）

## 5 配付回収状況

配付数	有効配付数：A	回収数：B	回収率：B/A
3,000	2,988	1,214	40.6%

## 6 調査項目

- (1) あなた（回答者）ご自身について
- (2) 日常の暮らしについて
- (3) 行政運営について
- (4) 人口減少について
- (5) 分野別の目標について

## 7 地域別の集計について

本アンケートの集計にあたっては、全体集計に加えて地域別集計を行い、地域ごとのまちづくりに関する意向等を把握しました。

なお、地域の設定は、総合計画等で示す4つの地域（東部地域、西部地域、南部地域、北部地域）としました。



地域	地区
東部地域	岩田・三輪・塩田・東荷・岩田立野
西部地域	浅江・島田・中島田
南部地域	室積・光井
北部地域	三井・周防・上島田

### 《 結果の取りまとめにあたって 》

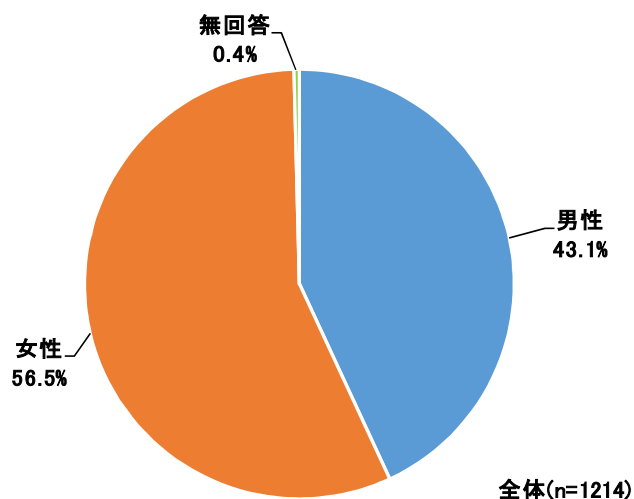
- ※ 本集計結果については、端数処理の関係で各項目の割合等は必ずしも合計欄等の数値とは一致していません。
- ※ 2つ以上の回答ができる質問（複数回答可）の場合、その回答比率は100%を超えることがあります。
- ※ 図に表示された「n」は、回答者数を示しています。
- ※ 結果の比較における「前回」の表記は、平成22年に実施した「光市総合計画後期基本計画策定に関するアンケート調査」を示しています。

## II 調査の結果

### 1 あなた（回答者）ご自身について

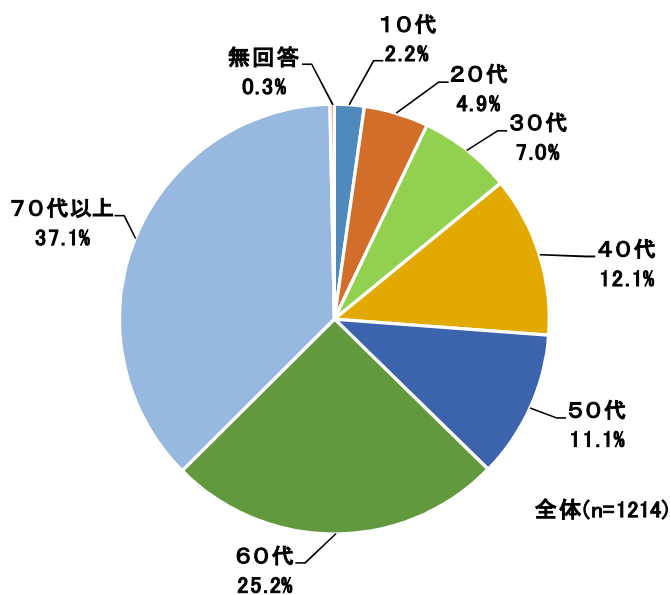
#### (1) 性別 **設問1**

男性が43.1%、女性が56.5%となっています。



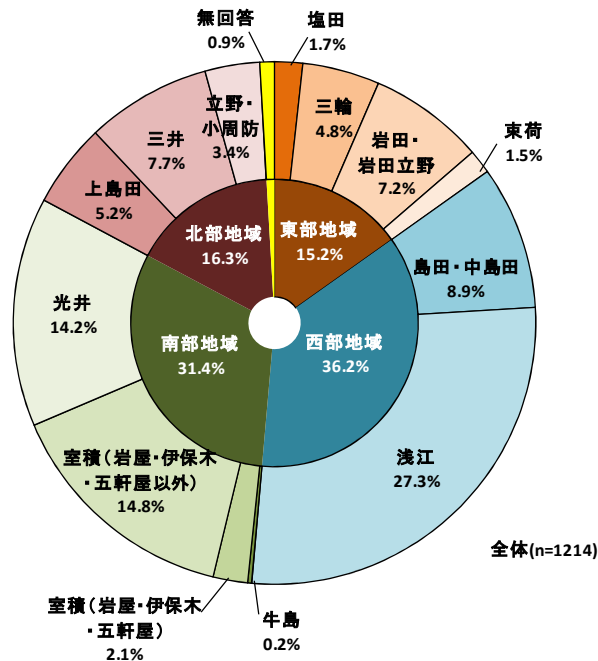
#### (2) 年齢 **設問2**

60代以上が62.3%、30代以下が14.1%と、高齢者の占める割合が高くなっています。



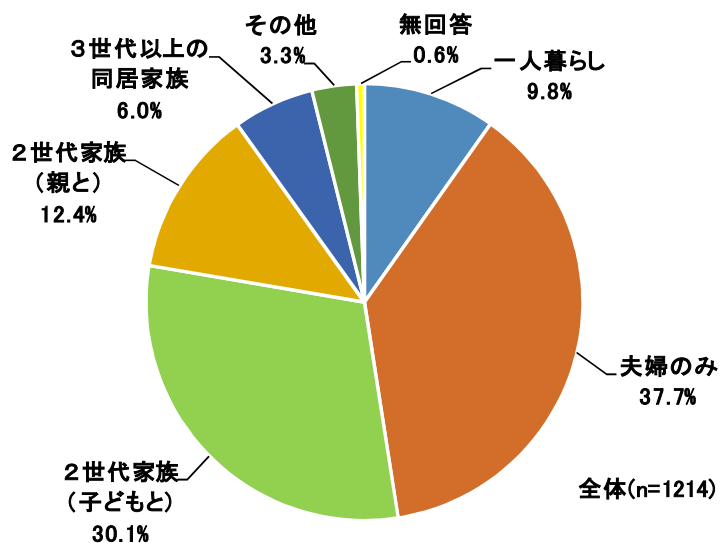
(3) 居住地区 **設問3**

地域別では、西部地域が 36.2%、次いで南部地域が 31.4%、北部地域が 16.3%、東部地区が 15.2%の順となっています。また、地区別では、浅江地区が 27.3%、室積地区が 17.1%、光井地区が 14.2%と多くなっています。



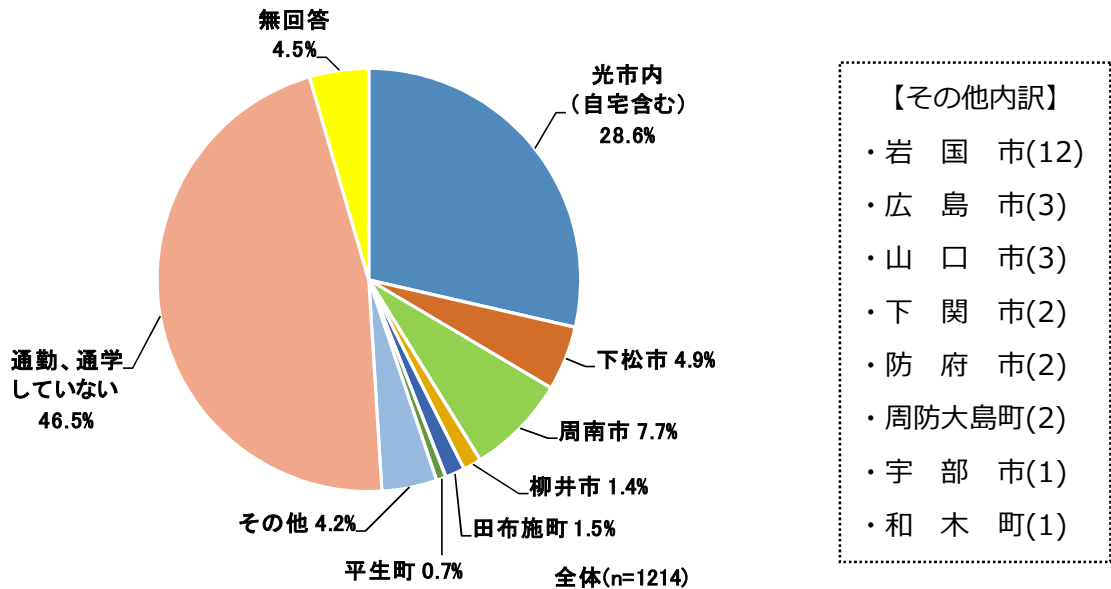
(4) 家族構成 **設問4**

一人暮らしや夫婦のみの世帯を合わせると 47.5%と、約半数を占めています。また、3世代以上の同居家族は 6.0%となっています。



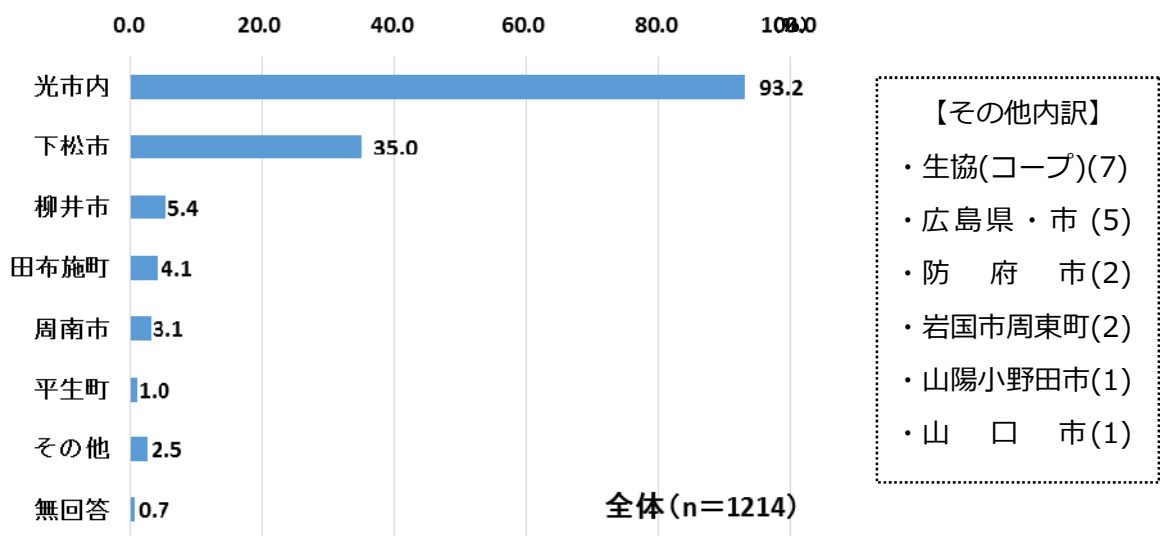
(5) 通勤・通学先 **設問5**

光市内が 28.6%と多く、次いで周南市が 7.7%、下松市が 4.9%となっています。また、通勤・通学をしている人のうち、約 6 割は市内、約 4 割が市外となっています。



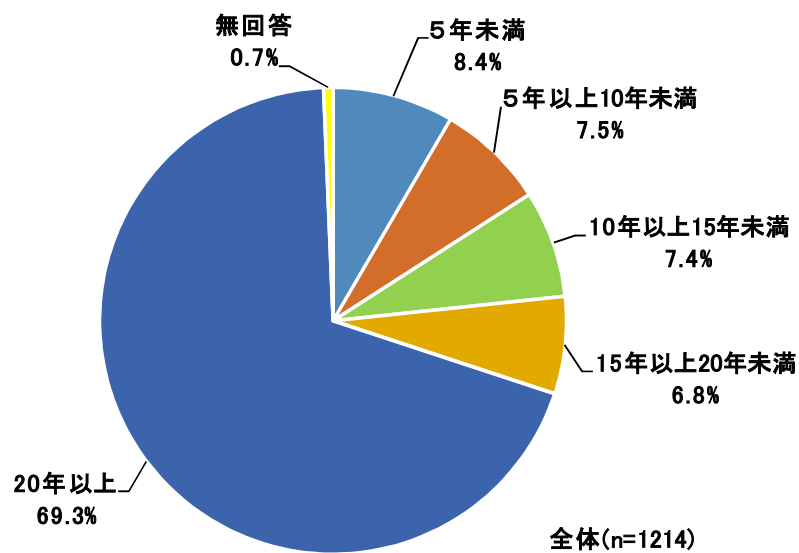
(6) 買い物の行き先 **設問6** <複数回答可 (2つまで)>

光市内が 93.2%と多く、次いで下松市が 35.0%と特に多くなっており、次いで柳井市が 5.4%、田布施町が 4.1%、周南市が 3.1%となっています。



(7) 居住年数 **設問7**

20年以上が69.3%、また、10年以上の人を合わせると83.5%と、本市に長期にわたって居住する人の割合が高くなっています。





## 2 日常の暮らしについて

### (1) 誕生から長寿まで安心して暮らせるまちについて

#### ア 実感度 **設問8**

##### 【結果概要と前回比較】

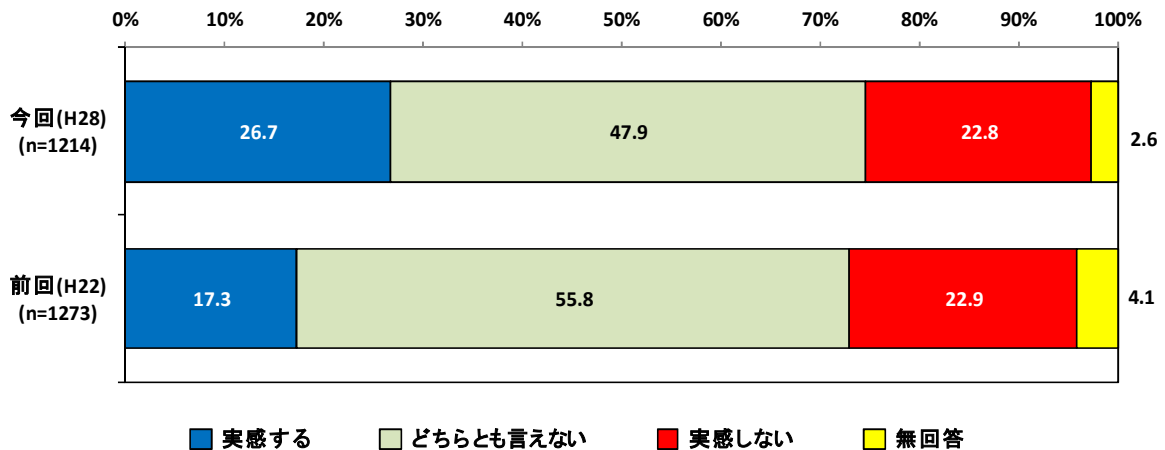
「実感する」が26.7%、「どちらとも言えない」が47.9%、「実感しない」が22.8%となっています。

また、前回との比較では、「実感する」が9.4ポイント増加し、「実感しない」が0.1ポイント減少しています。

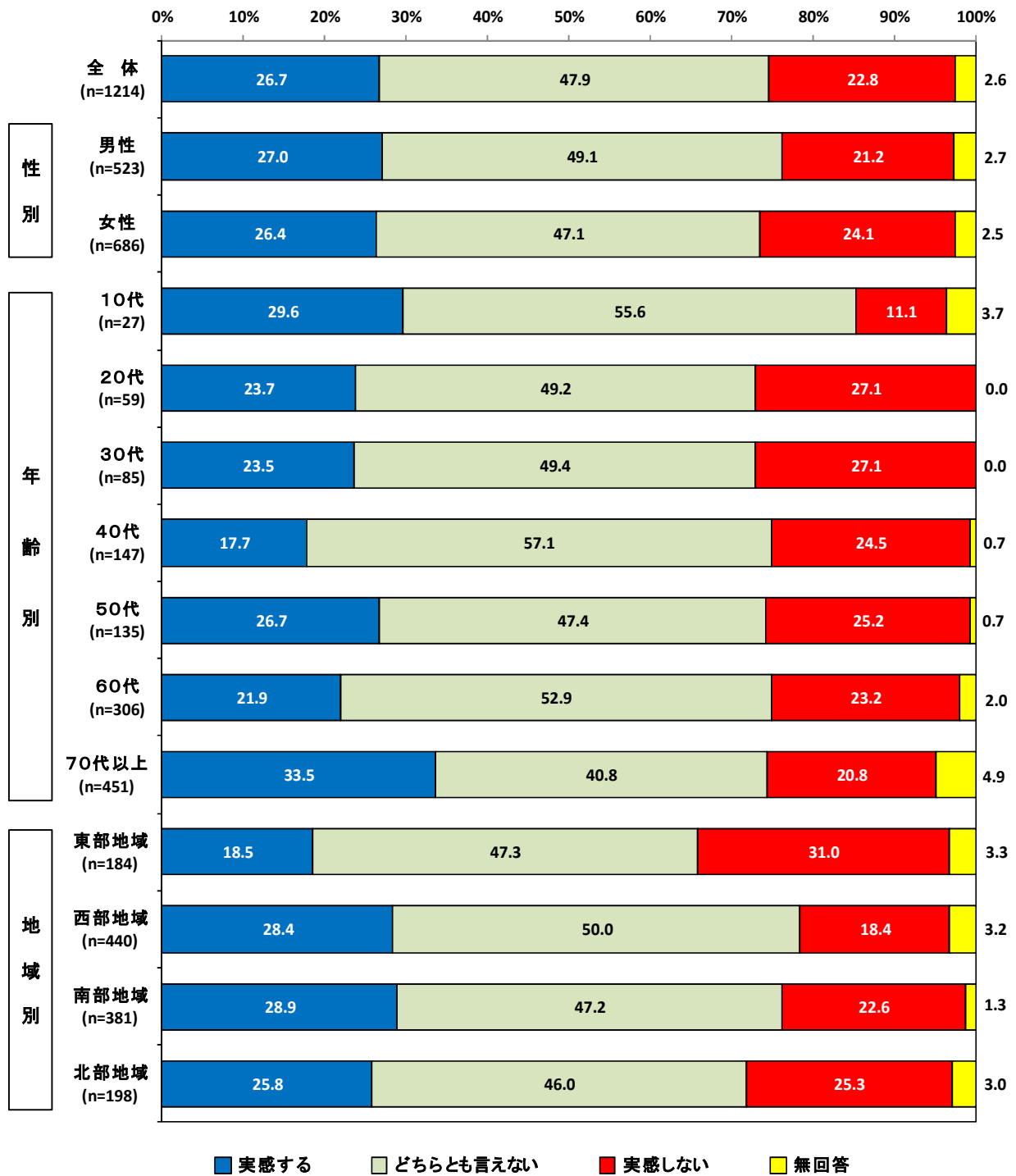
##### 【属性別の特徴】 《表A》

年齢別では、「実感する」において70代が最も多い一方、40代が最も少なくなっています。

また、地域別では、「実感する」において南部地域が最も多い一方、東部地域が最も少なくなっています。さらに、東部地域では「実感しない」も多くなっています。



■ 《表A》 実感度（属性別） ■



イ 実感する理由 **設問8-1** <複数回答可（あてはまるもの全部）>

【結果概要と前回比較】

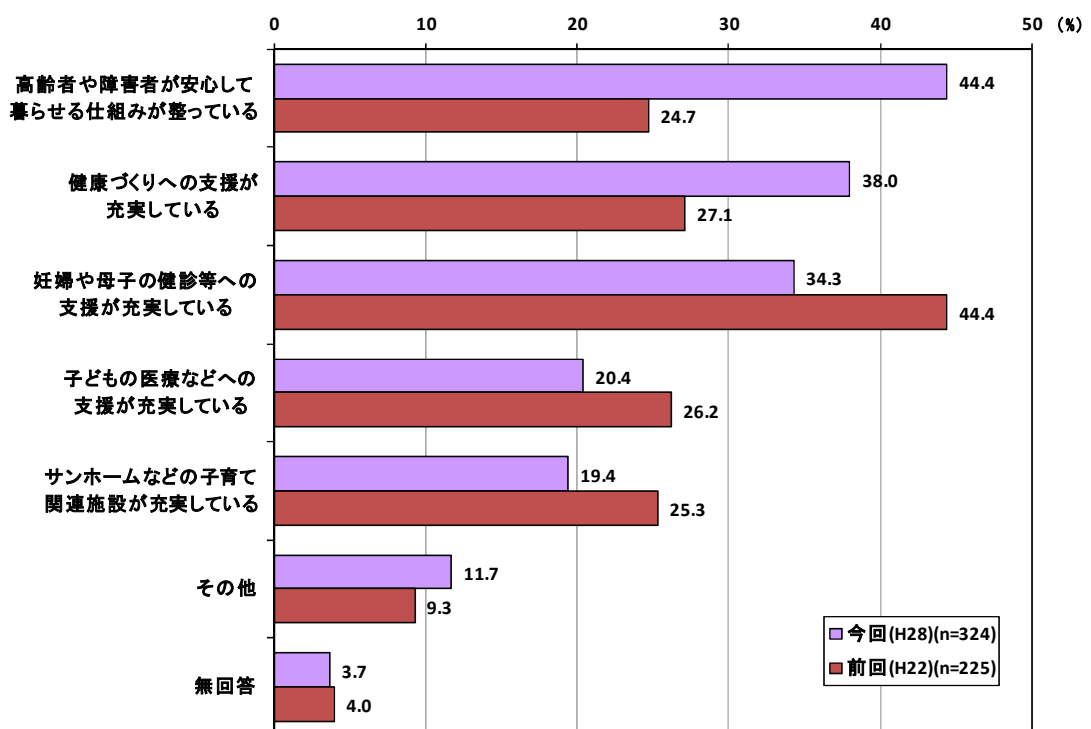
「高齢者や障害者が安心して暮らせる仕組みが整っている」が44.4%と最も多く、次いで「健康づくりへの支援が充実している」が38.0%、「妊婦や母子の健診等への支援が充実している」が34.3%となっています。

また、前回との比較では、「高齢者や障害者が安心して暮らせる仕組みが整っている」が19.7ポイント、「健康づくりへの支援が充実している」が10.9ポイントと大幅に増加する一方、「妊婦や母子の健診等への支援が充実している」が10.1ポイント減少しています。

【属性別の特徴】 《表B》

年齢別では、「高齢者や障害者が安心して暮らせる仕組みが整っている」や「健康づくりへの支援が充実している」などは高齢層世代が多い一方、「妊婦や母子の健診等への支援」や「子どもの医療などへの支援」など子育てに関する項目は若年層世代が多くなっています。

また、地域別では、東部地域において「高齢者や障害者が安心して暮らせる仕組みが整っている」が多い一方、「妊婦や母子の健診等への支援が充実している」や「子どもの医療などへの支援が充実している」が低い水準に留まっています。





ウ 実感しない理由 **設問8-2** <複数回答可（あてはまるもの全部）>

【結果概要と前回比較】

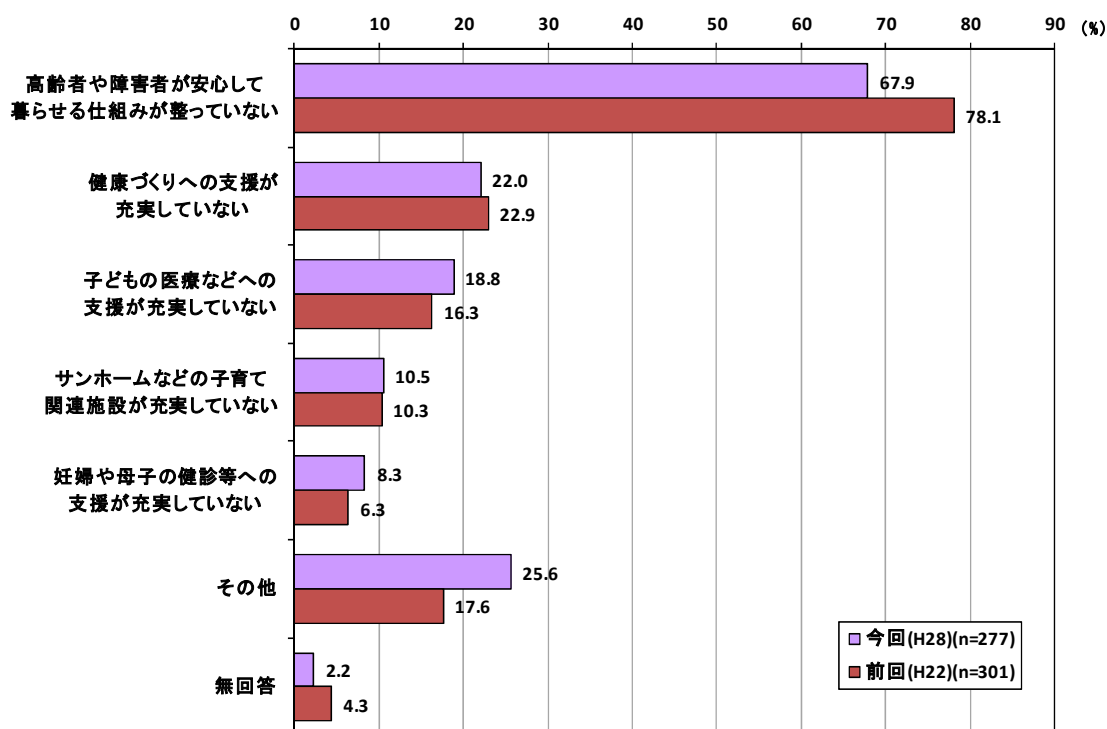
「高齢者や障害者が安心して暮らせる仕組みが整っていない」が67.9%と特に多くなっています。

また、前回との比較でも、同じ項目が最も多くなっていますが、比率は10.2ポイント減少しています。

【属性別の特徴】 《表C》

年齢別では、「高齢者や障害者が安心して暮らせる仕組みが整っていない」が70代をはじめとした高齢層世代が多い一方、「子どもの医療などへの支援が充実していない」が30代・40代、「妊婦や母子の健診等への支援が充実していない」は20代・50代が多くなっています。

また、地域別では、「高齢者や障害者が安心して暮らせる仕組みが整っていない」が全ての地域で特に多くなっています。また、東部地域では、「妊婦や母子の健診等への支援が充実していない」が他の地域に比べると多くなっています。



【その他の主な内容】

- ・公共交通機関が不便 ・年金が少ない ・必要な開業医がない
- ・大和総合病院が総合病院として機能していない ・買い物が不便
- ・若い人の働く場が少ない ・中学生以上の子を持つ世帯への支援
- ・近所づきあいがうまくいかない ・夜間町の明かりが少なく暗い
- ・高齢者施設が不十分 ・大学が通学できる範囲になく不便
- ・山間部なので常に自然災害の恐れがある ・下水道使用料が高い
- ・情報、医療、交通などインフラの地域間格差がある ・飲食店が遠い
- ・光駅にエレベーターがないので、高齢者や障害者が不便 など

■ 《表C》 実感しない理由（属性別） ■

上段：人 下段：%		サンプル数	支援が充実していない 妊婦や母子の健診等への	子ども医療などへの支 援が充実していない	関連施設が充実していな い	サンホームなどの子育て に関する取り組みが整っ ていない	高齢者や障害者が安心し て暮らせる仕組みが整っ ていない	健康づくりへの支援が充 実していない	その他	無回答
全体		277 100.0	23 8.3	52 18.8	29 10.5	188 67.9	61 22.0	71 25.6	6 2.2	
性別	男性	111 100.0	7 6.3	24 21.6	10 9.0	71 64.0	25 22.5	26 23.4	2 1.8	
	女性	165 100.0	16 9.7	28 17.0	19 11.5	116 70.3	35 21.2	45 27.3	4 2.4	
	無回答	1 100.0	-	-	-	1 100.0	1 100.0	-	-	
年齢別	10代	3 100.0	-	-	-	1 33.3	-	2 66.7	-	
	20代	16 100.0	3 18.8	3 18.8	1 6.3	7 43.8	2 12.5	6 37.5	1 6.3	
	30代	23 100.0	3 13.0	10 43.5	4 17.4	12 52.2	5 21.7	9 39.1	-	
	40代	36 100.0	3 8.3	12 33.3	3 8.3	25 69.4	6 16.7	5 13.9	1 2.8	
	50代	34 100.0	5 14.7	7 20.6	7 20.6	22 64.7	7 20.6	8 23.5	-	
	60代	71 100.0	5 7.0	9 12.7	9 12.7	51 71.8	17 23.9	15 21.1	2 2.8	
	70代以上	94 100.0	4 4.3	11 11.7	5 5.3	70 74.5	24 25.5	26 27.7	2 2.1	
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	
地域別	東部地域	57 100.0	9 15.8	12 21.1	6 10.5	36 63.2	8 14.0	17 29.8	2 3.5	
	西部地域	81 100.0	7 8.6	18 22.2	8 9.9	57 70.4	22 27.2	18 22.2	2 2.5	
	南部地域	86 100.0	3 3.5	15 17.4	10 11.6	56 65.1	16 18.6	23 26.7	1 1.2	
	北部地域	50 100.0	4 8.0	7 14.0	5 10.0	37 74.0	14 28.0	13 26.0	1 2.0	
	無回答	3 100.0	-	-	-	2 66.7	1 33.3	-	-	

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「その他」「無回答」を除く)

## (2) 経済活動や交流により、地域と産業が潤うまちについて

### ア 実感度 **設問9**

#### 【結果概要と前回比較】

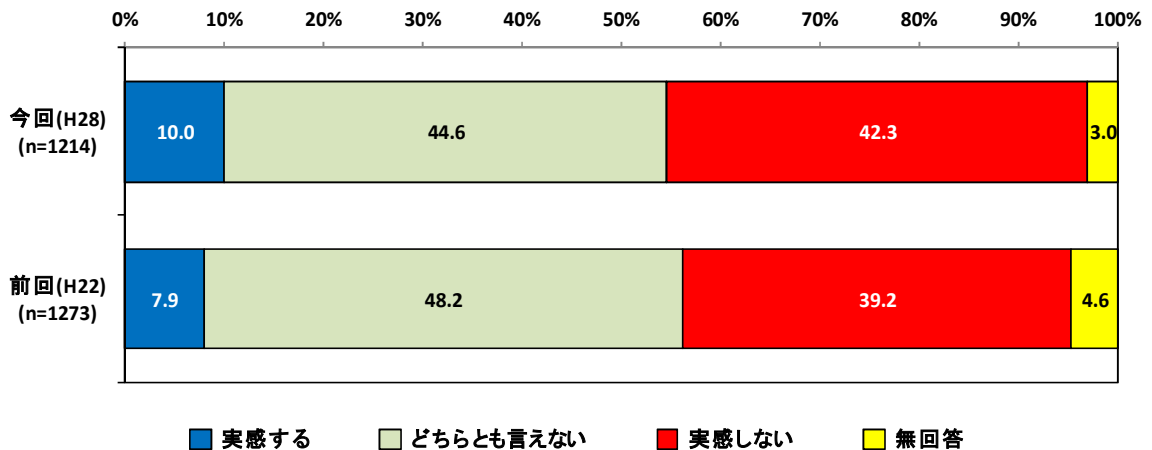
「実感する」が10.0%、「どちらとも言えない」が44.6%、「実感しない」が42.3%となっています。

また、前回との比較では、「実感する」が2.1ポイント増加する一方、「実感しない」も3.1ポイント増加しています。

#### 【属性別の特徴】 《表D》

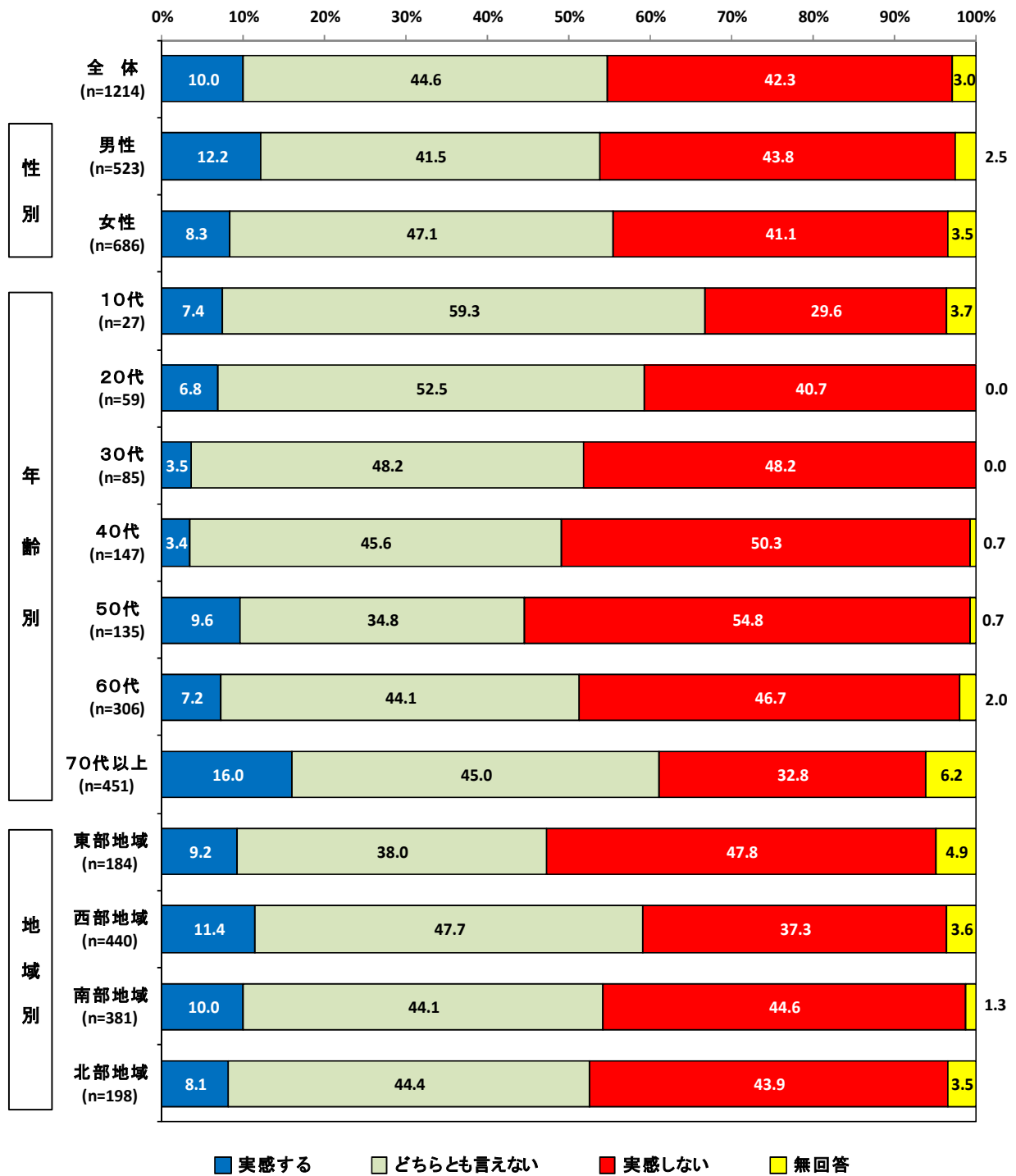
年齢別では、「実感する」において70代以上が最も高い一方、30代・40代が特に低くなっています。また、「実感しない」において、40代・50代が半数を超える高い水準となっています。

また、地域別では、「実感する」において大きな差は見られませんが、「実感しない」において、東部地域と西部地域で差が見られます。





■ 《表D》 実感度（属性別） ■



イ 実感する理由 **設問9-1** <複数回答可（あてはまるもの全部）>

【結果概要と前回比較】

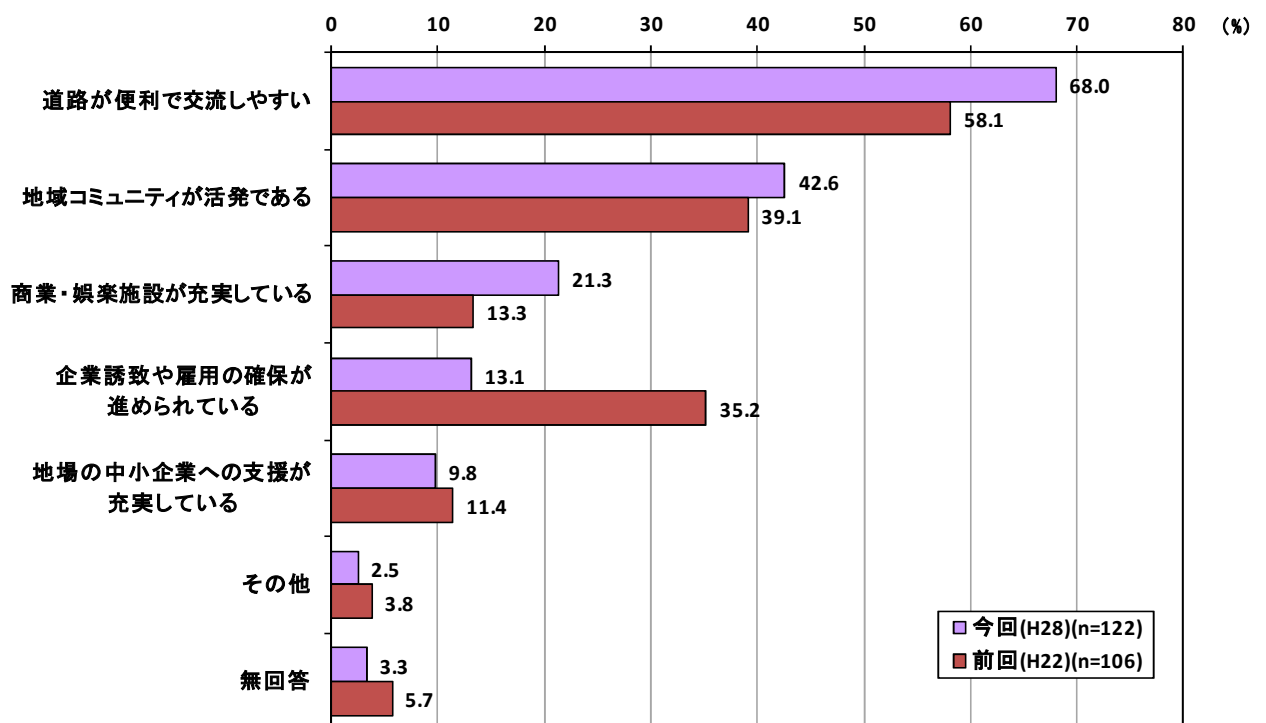
「道路が便利で交流しやすい」が68.0%と特に多く、次いで「地域コミュニティが活発である」が42.6%となっています。

また、前回との比較では、「道路が便利で交流しやすい」が9.9ポイント増加する一方、「企業誘致や雇用の確保が進められている」が22.1ポイントと大きく減少しています。

【属性別の特徴】 《表E》

性別では、「道路が便利で交流しやすい」において女性が多く、「企業誘致や雇用の確保が進められている」においては男性が多くなっています。

また、地域別では、「道路が便利で交流しやすい」において東部地域や北部地域が多くなっており、また、「商業・娯楽施設が充実している」において、西部地域が多くなっています。



【その他の主な内容】

- ・ 商工会議所との連携が良い
- ・ 地域のほのぼのとした雰囲気
- ・ 小中学校に設置されたコミュニティ・スクール（学校、家庭、地域への働きかけ）など

■ 《表E》 実感する理由（属性別） ■

		サンプル数	地域コミュニティが活発である	商業・娯楽施設が充実している	企業誘致や雇用の確保が進められている	地域の中小企業への支援が充実している	道路が便利で交流しやすい	その他	無回答
全体		122 100.0	52 42.6	26 21.3	16 13.1	12 9.8	83 68.0	3 2.5	4 3.3
性別	男性	64 100.0	26 40.6	14 21.9	11 17.2	7 10.9	41 64.1	3 4.7	4 6.3
	女性	57 100.0	26 45.6	12 21.1	5 8.8	5 8.8	41 71.9	-	-
	無回答	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-	-
年齢別	10代	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-
	20代	4 100.0	2 50.0	2 50.0	-	1 25.0	2 50.0	-	-
	30代	3 100.0	1 33.3	2 66.7	-	1 33.3	2 66.7	-	-
	40代	5 100.0	2 40.0	-	-	-	4 80.0	-	-
	50代	13 100.0	4 30.8	3 23.1	1 7.7	1 7.7	8 61.5	-	-
	60代	22 100.0	9 40.9	3 13.6	3 13.6	1 4.5	14 63.6	1 4.5	-
	70代以上	72 100.0	33 45.8	16 22.2	11 15.3	7 9.7	52 72.2	2 2.8	4 5.6
	無回答	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-	-
地域別	東部地域	17 100.0	4 23.5	2 11.8	-	-	15 88.2	1 5.9	1 5.9
	西部地域	50 100.0	23 46.0	16 32.0	8 16.0	8 16.0	31 62.0	1 2.0	2 4.0
	南部地域	38 100.0	18 47.4	4 10.5	6 15.8	4 10.5	24 63.2	-	-
	北部地域	16 100.0	7 43.8	4 25.0	2 12.5	-	12 75.0	1 6.3	1 6.3
	無回答	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-	-

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「その他」「無回答」を除く)

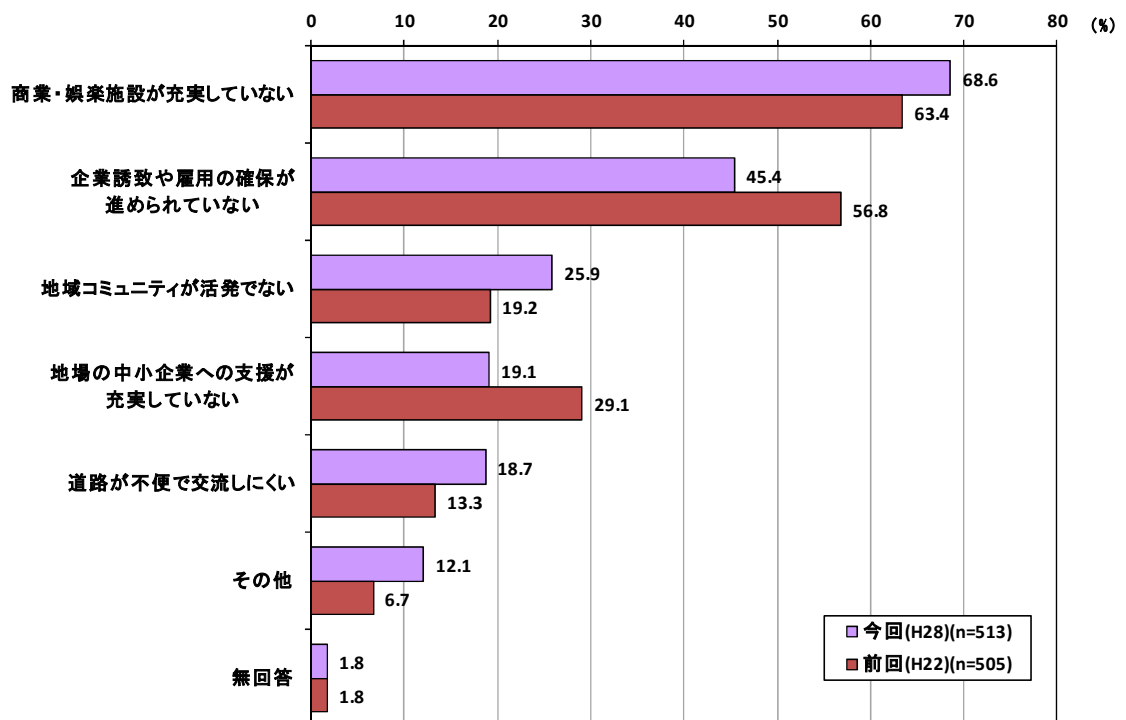
## 【結果概要と前回比較】

「商業・娯楽施設が充実していない」が68.6%と最も多く、次いで「企業誘致や雇用の確保が進められていない」が45.4%となっています。

また、前回との比較では、「商業・娯楽施設が充実していない」が5.2ポイント増加する一方、「企業誘致や雇用の確保が進められている」は11.4ポイント、「地場の中小企業への支援が充実していない」も10.0ポイント減少しています。

## 【属性別の特徴】 《表F》

年齢別では、「商業・娯楽施設が充実していない」が、10代から50代で約80%となるなど、特に高い水準となっています。また、「道路が不便で交流しにくい」において70代以上が多くなっています。



## 【その他の主な内容】

- ・公共交通機関が利用しにくい
- ・子どもの遊べる場所が少ない
- ・室積にはぐるりんバスが来ない
- ・歩道の整備が整っていない
- ・駅前に活気がない
- ・大型スーパー等の設置箇所が偏りすぎている
- ・休日に家族で楽しめる場所がない
- ・若い女性の働く場所が少ない
- ・近隣者とのふれあいが少ない
- ・飲食店が少なすぎる など

■ 《表F》 実感しない理由（属性別） ■

上段：人 下段：%		サンプル数	地域コミュニティが活発でない	商業・娯楽施設が充実していない	企業誘致や雇用の確保が進められていない	地域の中小企業への支援が充実していない	道路が不便で交流しにくい	その他	無回答
全体		513 100.0	133 25.9	352 68.6	233 45.4	98 19.1	96 18.7	62 12.1	9 1.8
性別	男性	229 100.0	62 27.1	152 66.4	100 43.7	45 19.7	35 15.3	23 10.0	4 1.7
	女性	282 100.0	70 24.8	198 70.2	132 46.8	53 18.8	61 21.6	39 13.8	5 1.8
	無回答	2 100.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -
年齢別	10代	8 100.0	4 <b>50.0</b>	7 <b>87.5</b>	4 50.0	3 <b>37.5</b>	1 12.5	1 12.5	- -
	20代	24 100.0	7 29.2	19 <b>79.2</b>	11 45.8	5 20.8	4 16.7	6 25.0	- -
	30代	41 100.0	9 22.0	34 <b>82.9</b>	16 39.0	5 12.2	8 19.5	1 2.4	- -
	40代	74 100.0	18 24.3	61 <b>82.4</b>	40 <b>54.1</b>	11 14.9	16 21.6	5 6.8	- -
	50代	74 100.0	13 17.6	59 <b>79.7</b>	35 47.3	16 21.6	9 12.2	10 13.5	- -
	60代	143 100.0	40 28.0	97 67.8	71 49.7	31 21.7	20 14.0	19 13.3	4 2.8
	70代以上	148 100.0	42 28.4	74 50.0	56 37.8	27 18.2	38 <b>25.7</b>	20 13.5	5 3.4
	無回答	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
地域別	東部地域	88 100.0	29 <b>33.0</b>	58 65.9	39 44.3	16 18.2	21 <b>23.9</b>	7 8.0	1 1.1
	西部地域	164 100.0	37 22.6	118 72.0	84 <b>51.2</b>	34 20.7	32 19.5	16 9.8	4 2.4
	南部地域	170 100.0	40 23.5	124 72.9	73 42.9	32 18.8	24 14.1	25 14.7	3 1.8
	北部地域	87 100.0	26 29.9	50 57.5	35 40.2	16 18.4	19 21.8	14 16.1	1 1.1
	無回答	4 100.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	- -	- -	- -	- -

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「その他」「無回答」を除く)

### (3) やすらぎと安心のまちについて

#### ア 実感度 **設問 10**

##### 【結果概要と前回比較】

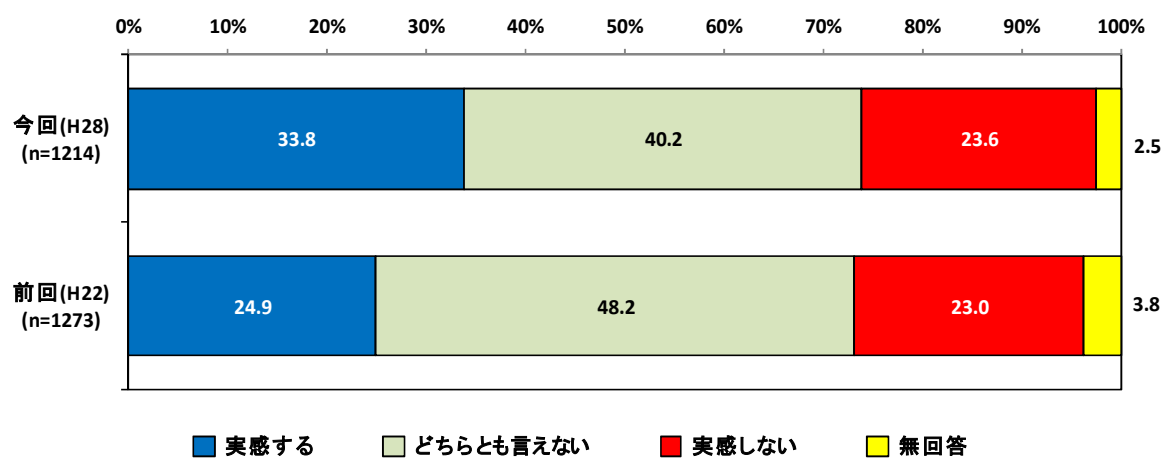
「実感する」が33.8%、「どちらとも言えない」が40.2%、「実感しない」が23.6%となっています。

また、前回との比較では、「実感する」が8.9ポイント増加する一方、「実感しない」も0.6ポイント増加しています。

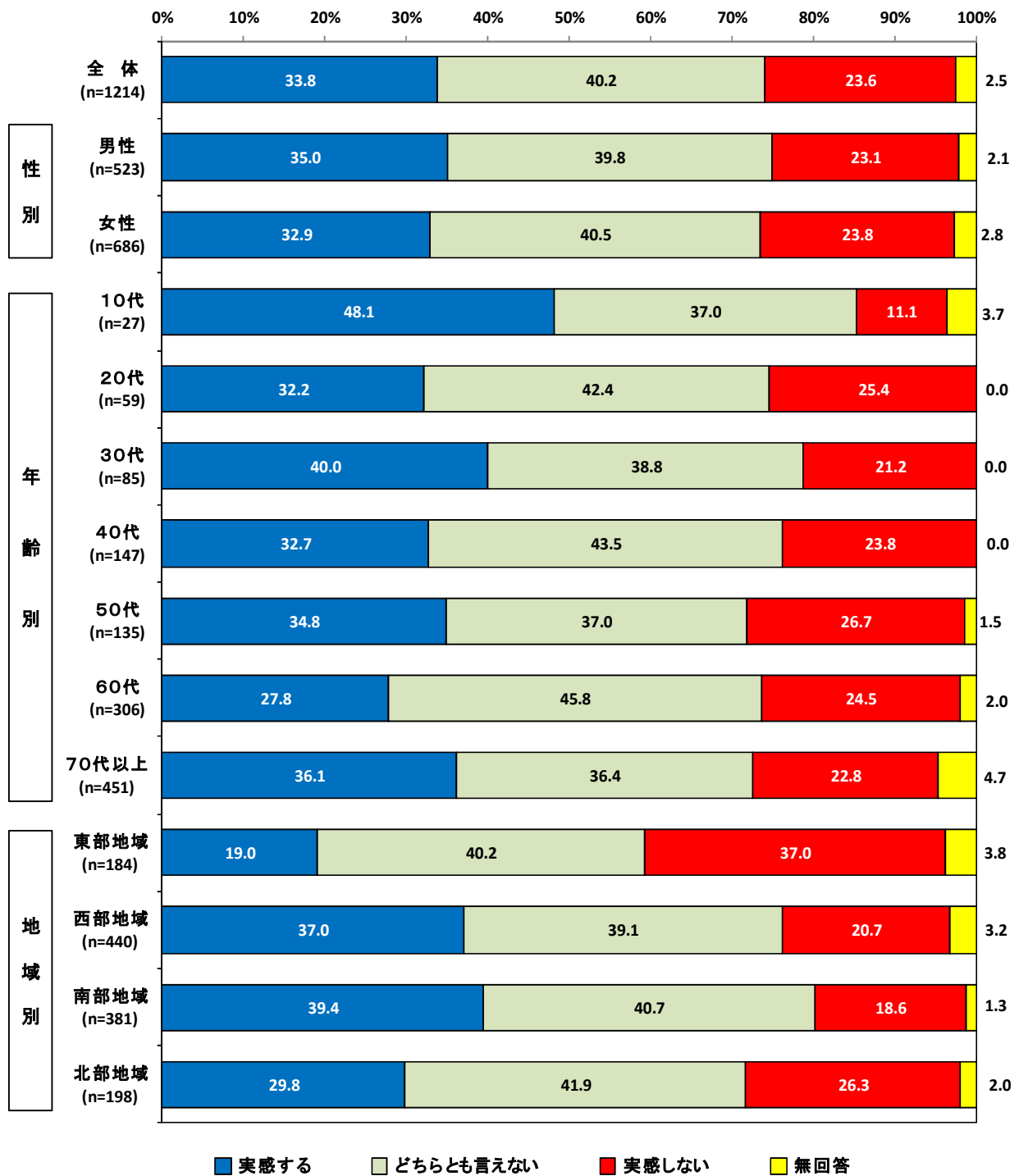
##### 【属性別の特徴】 《表G》

年齢別では、「実感する」において10代が最も多い一方、60代が少なくなっています。

また、地域別では、「実感する」において西部地域や南部地域が多く、東部地域が少なくなっています。さらに、東部地域では「実感しない」も多くなっています。



■ 《表G》 実感度（属性別） ■



イ 実感する理由 **設問 10-1** <複数回答可 (あてはまるもの全部) >

【結果概要と前回比較】

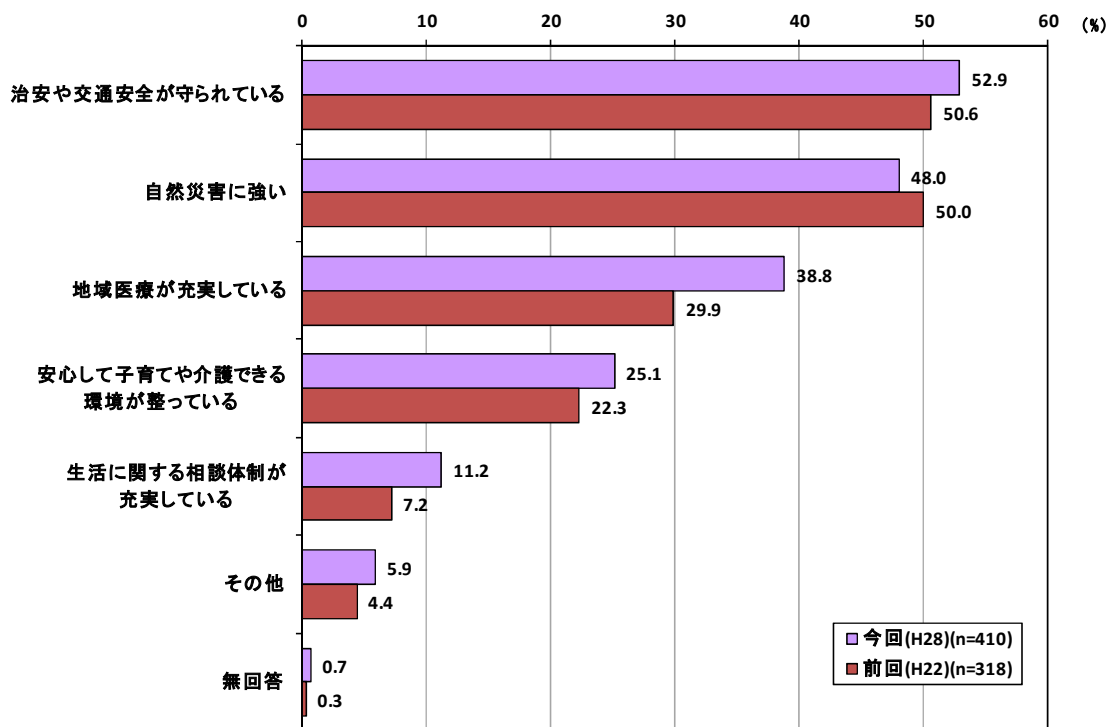
「治安や交通安全が守られている」が 52.9%と半数を超え、次いで「自然災害に強い」が 48.0%、「地域医療が充実している」が 38.8%、「安心して子育てや介護できる環境が整っている」が 25.1%となっています。

また、前回との比較では、「地域医療が充実している」が前回から 8.9 ポイントと大きく増加しています。

【属性別の特徴】 《表H》

年齢別では、「安心して子育てや介護できる環境が整っている」が 30代・40代で多く、また、「自然災害に強い」が 60代・70代以上で多くなっています。

また、地域別では、「自然災害に強い」において東部地域が多く、「治安や交通安全が守られている」において、南部地域が多くなっています。



【その他の主な内容】

- ・自然に囲まれた環境
- ・自然災害が少ない
- ・住み慣れた場所だから
- ・海が近くてのどか
- ・人の温かみを感じる
- ・地域との交流がある など



■ 《表H》 実感する理由（属性別） ■

		上段：人 下段：%	サンプル数	地域医療が充実している	安心して子育てや介護できる環境が整っている	自然災害に強い	治安や交通安全が守られている	生活に関する相談体制が充実している	その他	無回答
全体			410 100.0	159 38.8	103 25.1	197 48.0	217 52.9	46 11.2	24 5.9	3 0.7
性別	男性		183 100.0	76 41.5	44 24.0	85 46.4	102 55.7	15 8.2	10 5.5	3 1.6
	女性		226 100.0	83 36.7	59 26.1	111 49.1	115 50.9	31 13.7	14 6.2	- -
	無回答		1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -
年齢別	10代		13 100.0	2 15.4	4 <b>30.8</b>	7 <b>53.8</b>	5 38.5	- -	- -	1 7.7
	20代		19 100.0	8 42.1	4 21.1	8 42.1	8 42.1	- -	1 5.3	- -
	30代		34 100.0	13 38.2	13 <b>38.2</b>	6 17.6	18 52.9	- -	3 8.8	- -
	40代		48 100.0	10 20.8	15 <b>31.3</b>	21 43.8	25 52.1	5 10.4	2 4.2	- -
	50代		47 100.0	15 31.9	10 21.3	19 40.4	23 48.9	4 8.5	2 4.3	- -
	60代		85 100.0	30 35.3	21 24.7	47 <b>55.3</b>	53 <b>62.4</b>	8 9.4	1 1.2	- -
	70代以上		163 100.0	81 <b>49.7</b>	36 22.1	88 <b>54.0</b>	85 52.1	29 <b>17.8</b>	15 9.2	2 1.2
	無回答		1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -
地域別	東部地域		35 100.0	12 34.3	7 20.0	21 <b>60.0</b>	16 45.7	3 8.6	2 5.7	- -
	西部地域		163 100.0	68 41.7	37 22.7	81 49.7	72 44.2	18 11.0	13 8.0	2 1.2
	南部地域		150 100.0	57 38.0	41 27.3	66 44.0	95 <b>63.3</b>	19 12.7	6 4.0	1 0.7
	北部地域		59 100.0	20 33.9	18 <b>30.5</b>	28 47.5	33 55.9	6 10.2	3 5.1	- -
	無回答		3 100.0	2 66.7	- -	1 33.3	1 33.3	- -	- -	- -

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「その他」「無回答」を除く)

ウ 実感しない理由 **設問 10-2** <複数回答可 (あてはまるもの全部) >

【結果概要と前回比較】

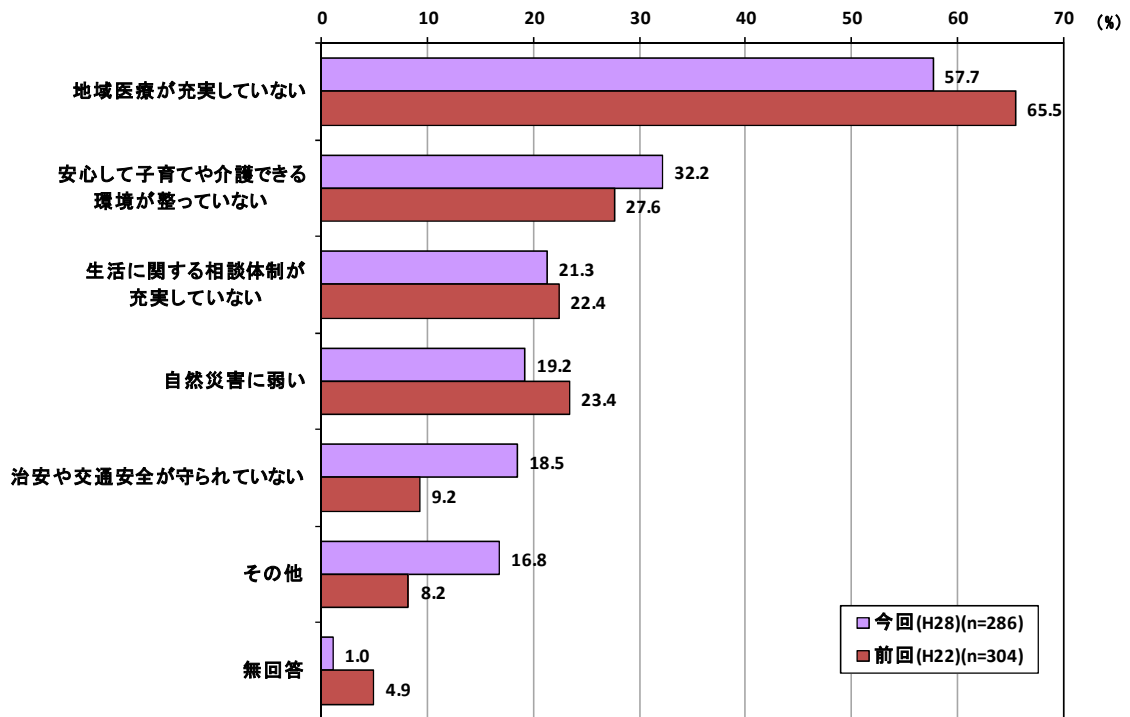
「地域医療が充実していない」が 57.7%と特に多くなっており、次いで「安心して子育てや介護できる環境が整っていない」が 32.2%となっています。

また、前回は、「地域医療が充実していない」が最も多くなっていましたが、その割合は 7.8 ポイント減少しています。

【属性別の特徴】 《表 I》

年齢別では、「地域医療が充実していない」において、40代・50代が 60%を超えるなど、高い水準となっています。

また、地域別においても、同じ項目が東部地域で特に高くなっています。



【その他の主な内容】

- ・ 質の高い医療環境（総合病院、診療所）を望む
- ・ 夜間人工透析場所が古く不便
- ・ 住民と市との意思疎通が不十分
- ・ 大きな店や遊び場がない
- ・ 子育て支援センターが少ない
- ・ 病院から出た時、介護老人保健施設に入所できない事が多い
- ・ 公共交通機関が整っていない
- ・ 高齢者専用住宅が少ない
- ・ 高齢者が集まれる施設（場所）が少ない
- ・ 山林の整備がされていない
- ・ 島田川河口の土砂がたまっている
- ・ 野良猫への対策が不十分
- ・ 車の運転マナーが悪い など

■ 《表 I》 実感しない理由（属性別） ■

		サンプル数	い地域医療が充実していない	き安心して子育てや介護できる環境が整っていない	自然災害に弱い	て安や交通安全が守られない	充生活に関する相談体制が充実していない	その他	無回答
上段：人 下段：%									
全体		286 100.0	165 57.7	92 32.2	55 19.2	53 18.5	61 21.3	48 16.8	3 1.0
性別	男性	121 100.0	70 57.9	39 32.2	21 17.4	23 19.0	25 20.7	18 14.9	- -
	女性	163 100.0	93 57.1	53 32.5	34 20.9	30 18.4	36 22.1	30 18.4	3 1.8
	無回答	2 100.0	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
年齢別	10代	3 100.0	1 33.3	1 33.3	- -	2 66.7	1 33.3	1 33.3	- -
	20代	15 100.0	7 46.7	6 40.0	3 20.0	6 40.0	2 13.3	- -	- -
	30代	18 100.0	5 27.8	9 50.0	2 11.1	5 27.8	3 16.7	3 16.7	1 5.6
	40代	35 100.0	23 65.7	11 31.4	6 17.1	9 25.7	6 17.1	7 20.0	- -
	50代	36 100.0	23 63.9	12 33.3	5 13.9	6 16.7	5 13.9	5 13.9	- -
	60代	75 100.0	44 58.7	26 34.7	18 24.0	14 18.7	18 24.0	11 14.7	- -
	70代以上	103 100.0	61 59.2	27 26.2	21 20.4	11 10.7	26 25.2	21 20.4	2 1.9
	無回答	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
地域別	東部地域	68 100.0	59 86.8	20 29.4	3 4.4	9 13.2	8 11.8	8 11.8	1 1.5
	西部地域	91 100.0	47 51.6	28 30.8	21 23.1	25 27.5	27 29.7	16 17.6	- -
	南部地域	71 100.0	36 50.7	23 32.4	15 21.1	6 8.5	12 16.9	10 14.1	1 1.4
	北部地域	52 100.0	20 38.5	20 38.5	16 30.8	11 21.2	14 26.9	13 25.0	1 1.9
	無回答	4 100.0	3 75.0	1 25.0	- -	2 50.0	- -	1 25.0	- -

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「その他」「無回答」を除く)

### 3 行政運営について

#### (1) 行政の“改革”と“進化”について

##### ア 実感度 **設問 11**

###### 【結果概要と前回比較】

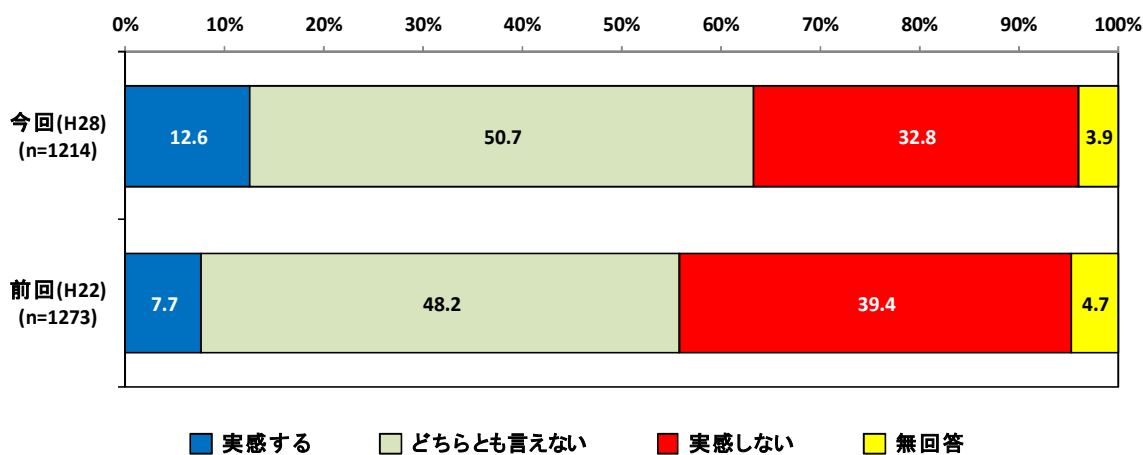
「実感する」が 12.6%、「どちらとも言えない」が 50.7%、「実感しない」が 32.8%となっています。

また、前回との比較では、「実感する」が 4.9 ポイント増加し、「実感しない」が 6.6 ポイント減少しており、実感する人は増加しているものの、まだ 3 人に 1 人は「実感しない」と回答しています。

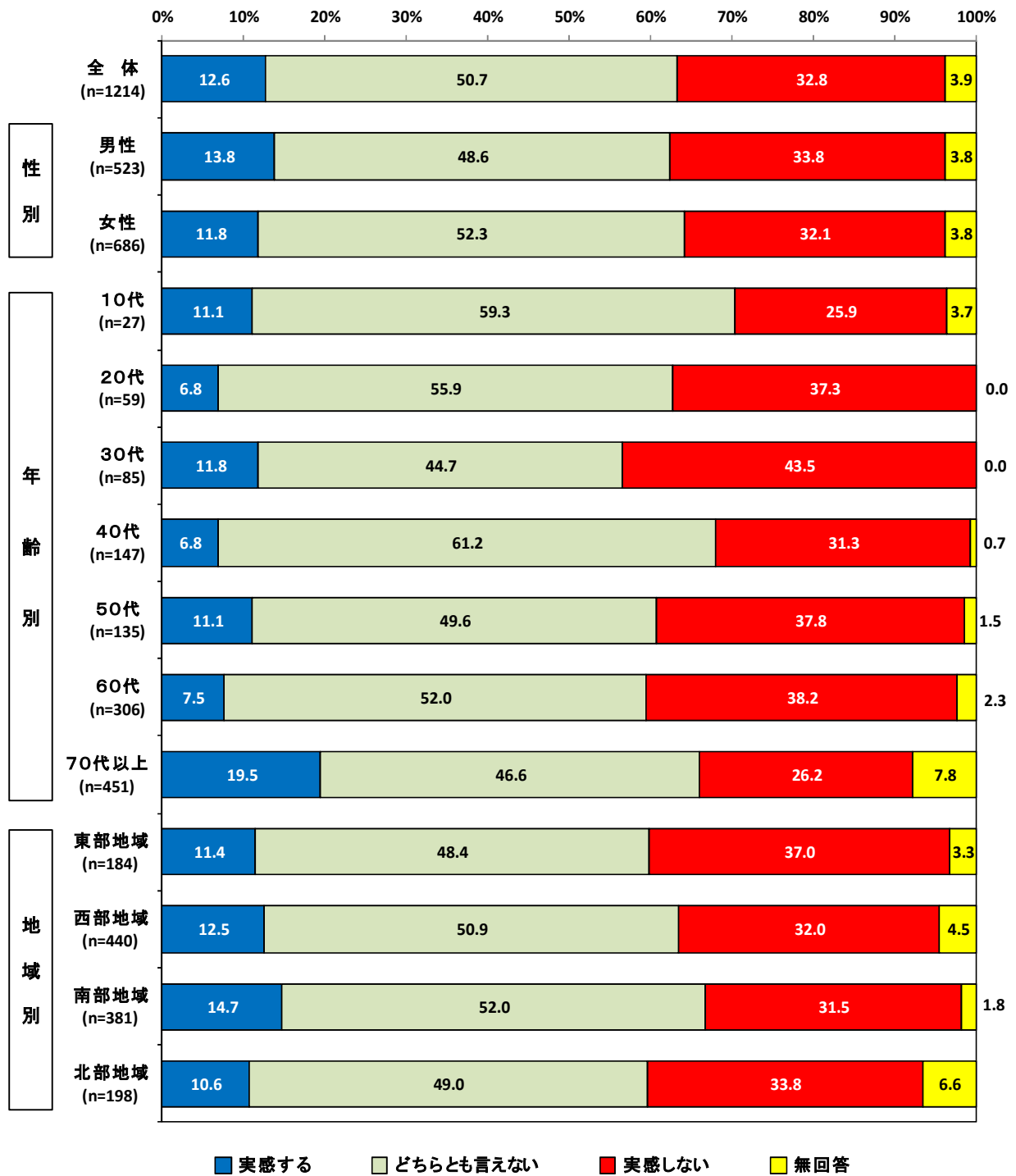
###### 【属性別の特徴】 《表 J》

年齢別では、「実感する」において 20 代、40 代、60 代が低い水準に留まっています。また、「実感しない」においては、30 代が多くなっています。

地域別では、南部地域において「実感する」が 14.7%と最も多く、「実感しない」が 31.5%と最も少なくなっています。



■ 《表 J》 実感度（属性別） ■



イ 実感する理由 **設問 11-1** <複数回答可（あてはまるもの全部）>

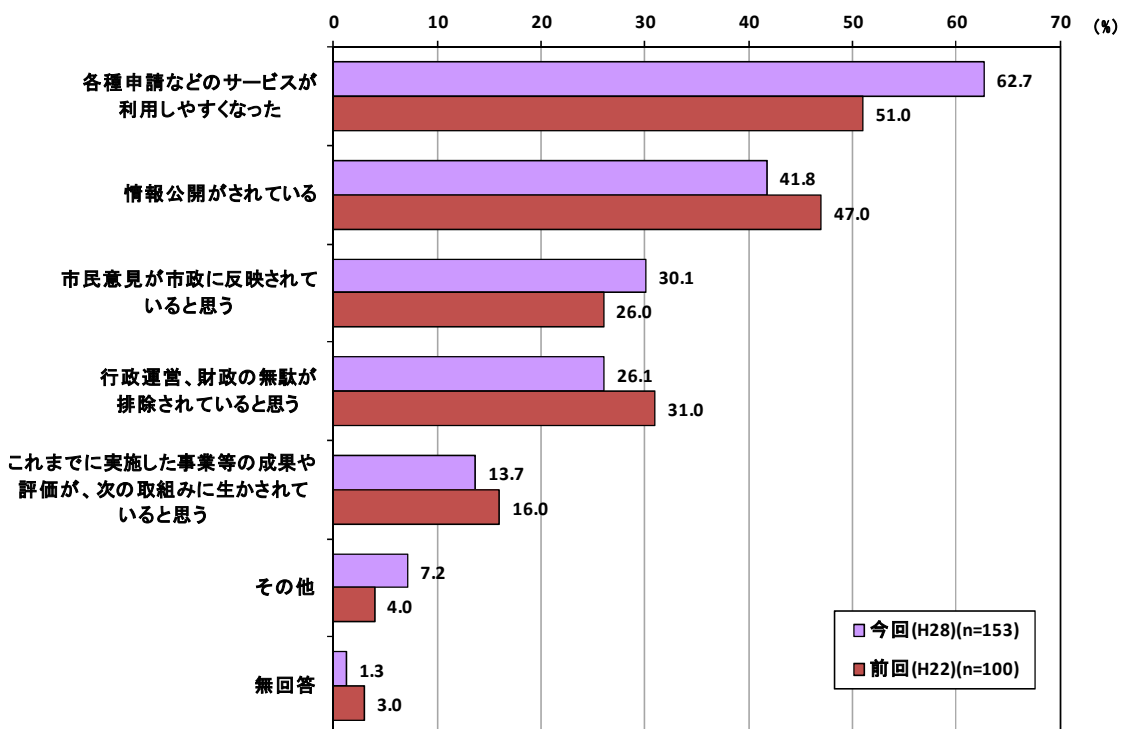
【結果概要と前回比較】

「各種申請などのサービスが利用しやすくなった」が 62.7%と最も多く、次いで「情報公開がされている」が 41.8%、「市民意見が市政に反映されていると思う」が 30.1%、「行政運営、財政の無駄が排除されていると思う」が 26.1%となっています。

また、前回との比較では、「各種申請などのサービスが利用しやすくなった」が 11.7 ポイント増加する一方、「情報公開がされている」が 5.2 ポイント減少しています。また、「市民意見が市政に反映されていると思う」が増加する一方、「行政運営、財政の無駄が排除されていると思う」が減少しています。

【属性別の特徴】 《表 K》

性別では、「各種申請などのサービスが利用しやすくなった」、「市民意見が市政に反映されていると思う」、「行政運営、財政の無駄が排除されていると思う」は女性より男性の方が特に多くなっています。



【その他の主な内容】

- ・ 市民へのこのようなアンケートを提供している事
- ・ 保育園が利用しやすくなった ・ 各地域で市民との意見交換が行われている
- ・ 職員の対応が良くなった ・ 市役所、出張所の対応が親切 など

■ 《表K》 実感する理由（属性別） ■

上段：人 下段：%		サン プル 数	排行政 除され ていて いると 思う	情 報公 開が され てい る	が各 種申 請な どの サー ビス	れ市 民意 見が 市政 に反 映さ る	と取 組の 成果 や生 かさ れて いる こと	等これ までに 実施 した 事業	そ の 他	無 回 答
全体		153 100.0	40 26.1	64 41.8	96 62.7	46 30.1	21 13.7	11 7.2	2 1.3	
性 別	男性	72 100.0	25 <b>34.7</b>	30 41.7	50 <b>69.4</b>	27 <b>37.5</b>	13 18.1	5 6.9	1 1.4	
	女性	81 100.0	15 18.5	34 42.0	46 56.8	19 23.5	8 9.9	6 7.4	1 1.2	
	無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
年 齢 別	10代	3 100.0	- -	1 33.3	1 33.3	- -	- -	1 33.3	- -	
	20代	4 100.0	1 25.0	2 <b>50.0</b>	3 <b>75.0</b>	- -	- -	- -	- -	
	30代	10 100.0	1 10.0	5 <b>50.0</b>	4 40.0	1 10.0	2 <b>20.0</b>	1 10.0	- -	
	40代	10 100.0	1 10.0	2 20.0	7 <b>70.0</b>	1 10.0	- -	2 20.0	- -	
	50代	15 100.0	4 26.7	2 13.3	12 <b>80.0</b>	3 20.0	2 13.3	1 6.7	- -	
	60代	23 100.0	4 17.4	11 <b>47.8</b>	17 <b>73.9</b>	3 13.0	2 8.7	1 4.3	- -	
	70代以上	88 100.0	29 <b>33.0</b>	41 46.6	52 59.1	38 <b>43.2</b>	15 17.0	5 5.7	2 2.3	
	無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
地 域 別	東部地域	21 100.0	10 <b>47.6</b>	6 28.6	10 47.6	4 19.0	2 9.5	2 9.5	- -	
	西部地域	55 100.0	16 29.1	24 43.6	35 63.6	17 30.9	9 16.4	7 12.7	1 1.8	
	南部地域	56 100.0	12 21.4	23 41.1	37 66.1	20 <b>35.7</b>	7 12.5	2 3.6	- -	
	北部地域	21 100.0	2 9.5	11 <b>52.4</b>	14 66.7	5 23.8	3 14.3	- -	1 4.8	
	無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「その他」「無回答」を除く)

ウ 実感しない理由 **設問 11-2** <複数回答可 (あてはまるもの全部)>

【結果概要と前回比較】

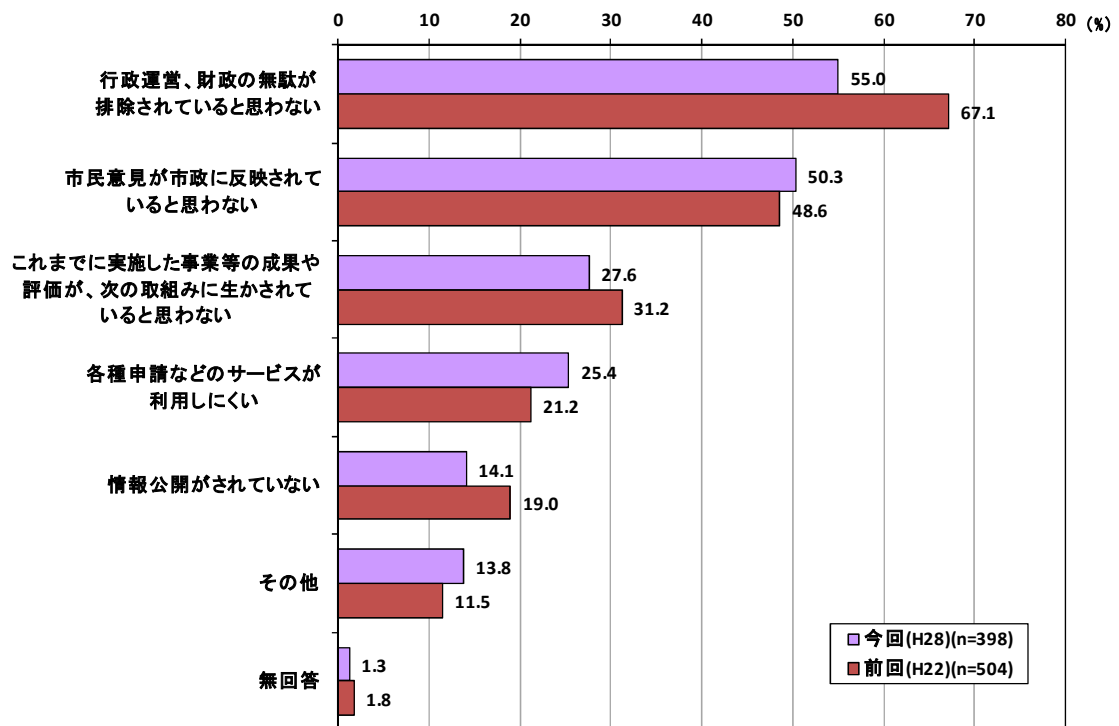
「行政運営、財政の無駄が排除されていると思わない」が 55.0%、「市民意見が市政に反映されていると思わない」が 50.3%と半数を超えています。

また、前回は「行政運営、財政の無駄が排除されていると思わない」が最も多くなっていますが、その割合は 12.1 ポイント減少しています。

【属性別の特徴】 《表 L》

性別では、「各種申請などのサービスが利用しにくい」において、女性が多くなっています。

また、地域別では、「市民意見が市政に反映されていると思わない」において、北部地域が他の地域と比べて多くなっています。



【その他の主な内容】

- ・数字だけを目指に仕事している
- ・あたり障りのない行政運営
- ・行政が何をしているのか情報が少ない
- ・義務的経費の削減が物足りない
- ・改革と進化がどのように行われているか分からない
- ・市議会議員との懇談会の意見が全然反映されない
- ・総合計画の周知不足
- ・職員の行動(仕事)が遅い
- ・職員間の引き継ぎが不足
- ・職員の勉強不足
- ・図書館における本の処分方法の検討
- ・公金に対する市の対応が弱い
- ・弱者に対する政策がない
- ・外部者による行政評価を行うべき など



■ 《表L》 実感しない理由（属性別） ■

上段：人 下段：%		サンプル数	い排除行政運 除され營、財 れて政の無 いると駄 の思わな	情報公開が されてい ない	が各種申 請などの サービ ス	れ市民意 見が市政 に反映さ ない	と取組の成 果や評価 が、次の 事業	その他	無回答
全体		398 100.0	219 55.0	56 14.1	101 25.4	200 50.3	110 27.6	55 13.8	5 1.3
性別	男性	177 100.0	103 58.2	32 18.1	27 15.3	87 49.2	56 31.6	24 13.6	2 1.1
	女性	220 100.0	116 52.7	24 10.9	74 <b>33.6</b>	113 51.4	54 24.5	30 13.6	3 1.4
	無回答	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -
年齢別	10代	7 100.0	2 28.6	2 <b>28.6</b>	4 <b>57.1</b>	3 42.9	- -	2 <b>28.6</b>	- -
	20代	22 100.0	10 45.5	3 13.6	4 18.2	8 36.4	4 18.2	6 <b>27.3</b>	- -
	30代	37 100.0	22 59.5	6 16.2	10 27.0	20 54.1	13 <b>35.1</b>	4 10.8	- -
	40代	46 100.0	27 58.7	7 15.2	11 23.9	22 47.8	16 <b>34.8</b>	7 15.2	- -
	50代	51 100.0	28 54.9	8 15.7	21 <b>41.2</b>	29 <b>56.9</b>	15 29.4	8 15.7	- -
	60代	117 100.0	72 <b>61.5</b>	19 16.2	20 17.1	60 51.3	41 <b>35.0</b>	9 7.7	4 3.4
	70代以上	118 100.0	58 49.2	11 9.3	31 26.3	58 49.2	21 17.8	19 16.1	1 0.8
	無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
地域別	東部地域	68 100.0	32 47.1	8 11.8	24 <b>35.3</b>	30 44.1	16 23.5	4 5.9	1 1.5
	西部地域	141 100.0	84 59.6	24 17.0	36 25.5	71 50.4	39 27.7	18 12.8	2 1.4
	南部地域	120 100.0	74 <b>61.7</b>	17 14.2	27 22.5	56 46.7	41 <b>34.2</b>	16 13.3	1 0.8
	北部地域	67 100.0	28 41.8	6 9.0	14 20.9	42 <b>62.7</b>	14 20.9	17 <b>25.4</b>	1 1.5
	無回答	2 100.0	1 50.0	1 50.0	- -	- -	1 50.0	- -	- -

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「その他」「無回答」を除く)

(2) 行政と市民の役割について **設問 12**

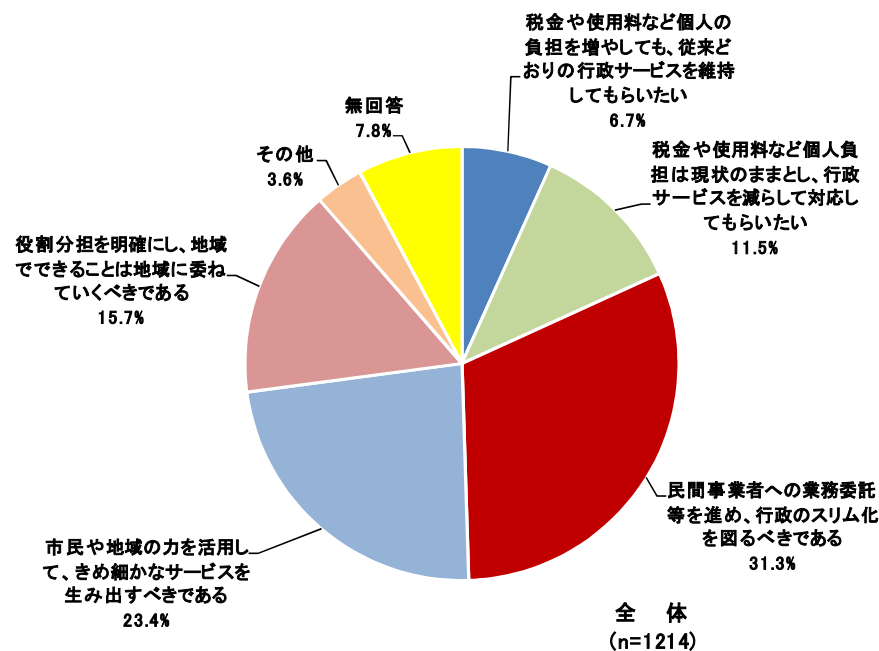
【結果概要】

「民間事業者への業務委託等を進め、行政のスリム化を図るべきである」が 31.3%と最も多く、次いで「市民や地域の力を活用して、きめ細かなサービスを生み出すべきである」が 23.4%となっています。また、「税金や使用料など個人の負担を増やしても、従来どおりの行政サービスを維持してもらいたい」は 6.7%と少なくなっています。

【属性別の特徴】 《表M》

性別では、「民間事業者への業務委託等を進め、行政のスリム化を図るべきである」において男性が多くなっています。

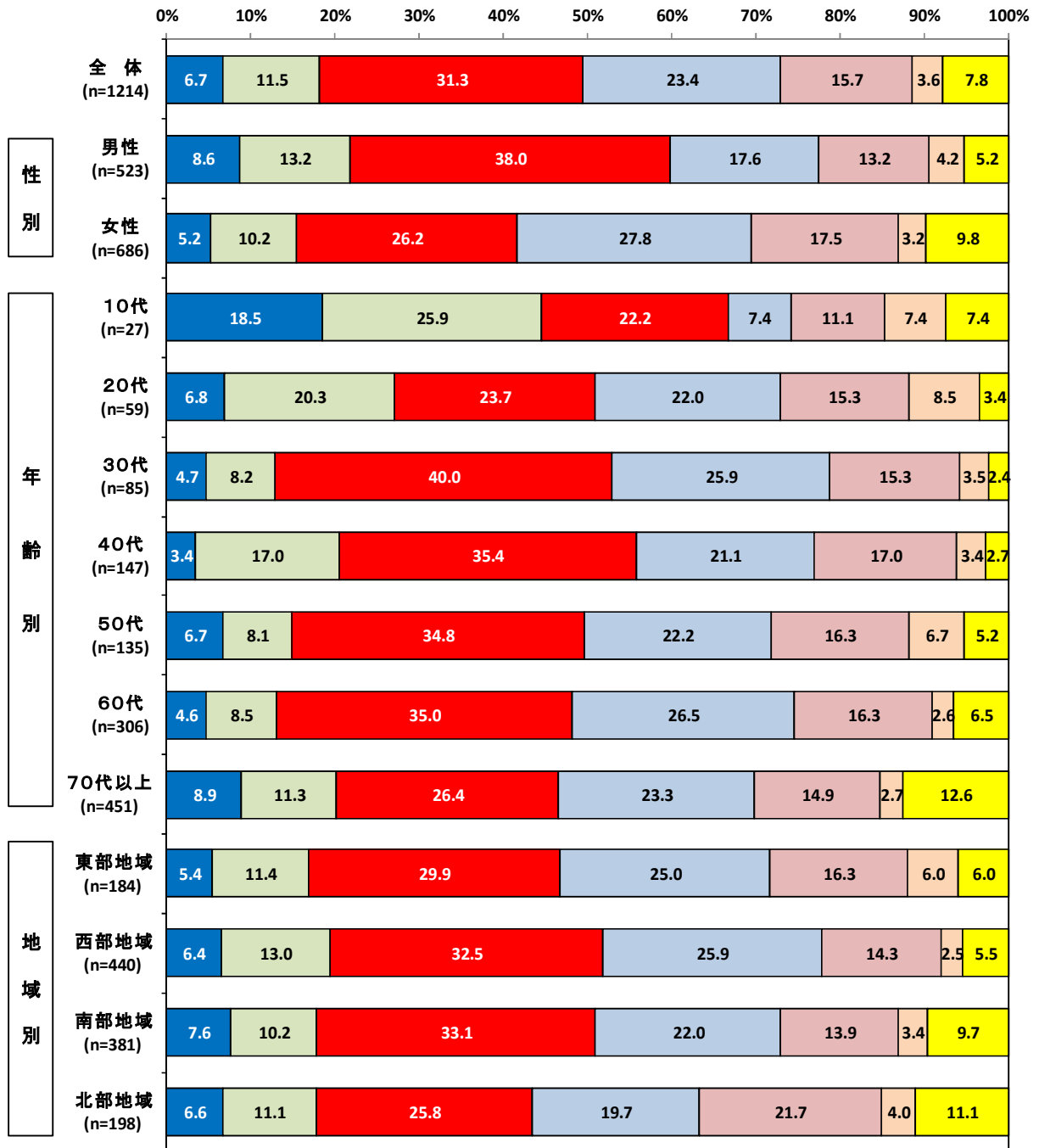
また、年齢別では、同じ項目について 30 代が多くなっているとともに、「税金や使用料など個人の負担を増やしても、従来どおりの行政サービスを維持してもらいたい」や「税金や使用料など個人負担は現状のままとし、行政サービスを減らして対応してもらいたい」において 10 代が多くなっています。



【その他の主な内容】

- ・市民に負担を負わせる考えはおかしい
- ・行政の無駄が多い
- ・議員数を減らす
- ・アウトソーシングによる職員 OB の活用
- ・現状を維持して欲しい
- ・個人負担現状のまま、行政サービス向上を期待
- ・予算を市民の目線で
- ・市民や地域の力を活用してサービスのスリム化を図るべき
- ・サービスを公平に
- ・税金を増やし還元が実感できるサービスを
- ・費用対効果を掘り下げて検討
- ・若者が住みたくなくなるような施設に重点投資
- など

■ 《表M》 行政と市民の役割について（属性別） ■



- 税金や使用料など個人の負担を増やしても、従来どおりの行政サービスを維持してもらいたい
- 税金や使用料など個人負担は現状のままとし、行政サービスを減らして対応してもらいたい
- 民間事業者への業務委託等を進め、行政のスリム化を図るべきである
- 市民や地域の力を活用して、きめ細かなサービスを生み出すべきである
- 役割分担を明確にし、地域でできることは地域に委ねていくべきである
- その他
- 無回答

## 4 人口減少について

### (1) 暮らしの中での人口減少の影響について

#### ア 実感度 **設問 13**

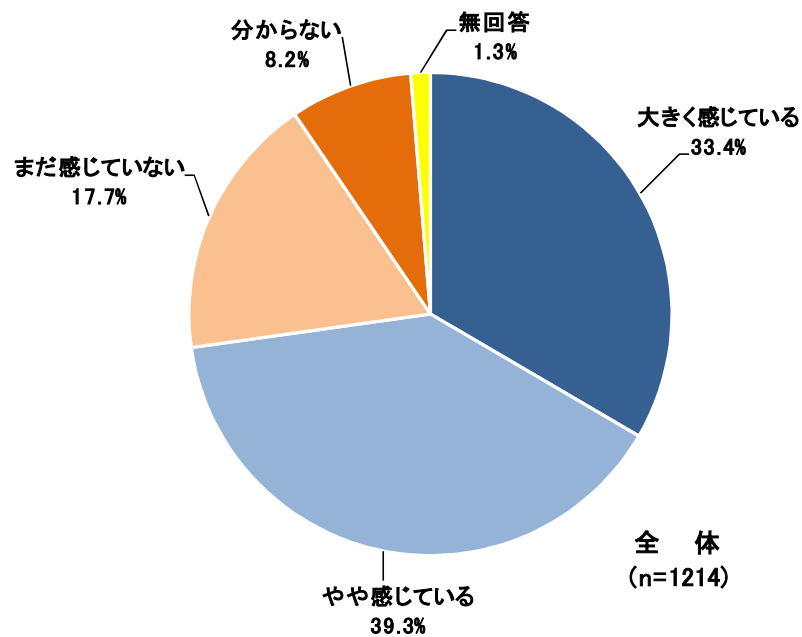
##### 【結果概要】

「大きく感じている」が 33.4%、「やや感じている」が 39.3%となっており、合計した実感率は 72.7%に達しています。「まだ感じていない」が 17.7%、「分からない」が 8.2%となっています。

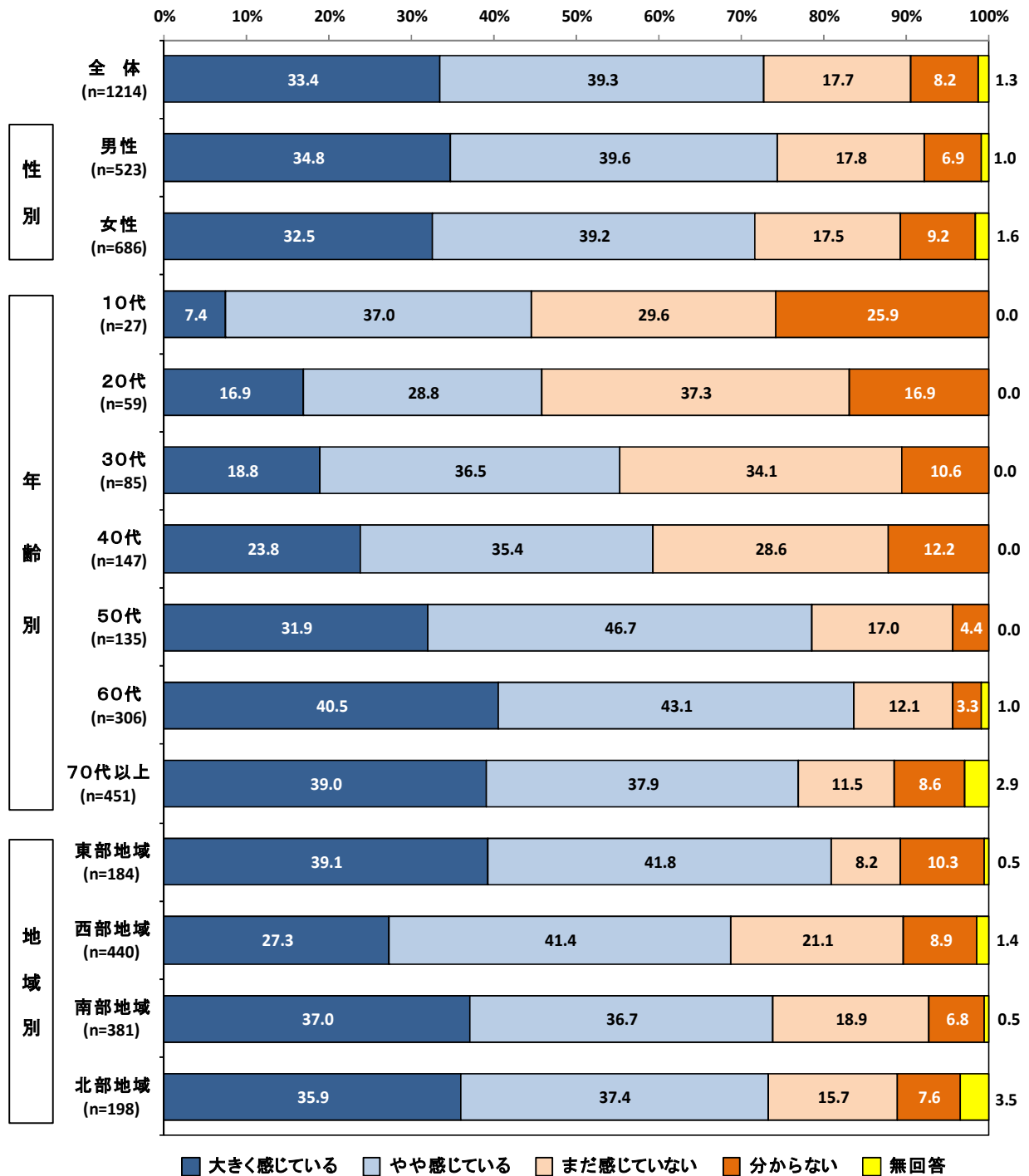
##### 【属性別の特徴】 《表N》

年齢別では、年齢が高くなるほど実感率が高くなっています。

また、地域別では、西部地域が他の 3 地域に比べて「大きく感じている」が少なく、「まだ感じていない」が多くなっています。



■ 《表N》 暮らしの中での人口減少の影響について（属性別） ■



**【結果概要】**

多くの人が、『子ども数の減少』や『空き家・空き地の増加』、『高齢者数、単身世帯、夫婦世帯の増加』に関することを挙げています。

**【その他の主な内容】**

- ・ 20代の人々の職場がない ・ 公共施設が縮小されつつある
- ・ 若者向けのお店が少ない ・ スポ少のチームの存続が困難に
- ・ 地域の昔からある行事の運営が困難 ・ スーパーに並ぶ品数の減少
- ・ 老後の不安から市外、県外の身内を頼り転出する人がいる
- ・ 店舗の撤退 ・ 休日の道路の交通量の少なさ
- ・ 会合、集会、スポーツなどで参加数が少ない ・ 空き店舗が目立つ
- ・ 子どもたちが少なくなり、元気な声が聞けない ・ 小学校の児童数の減少
- ・ 学校、幼稚園の役員等、地域の役員、個人の負担が多くなっている
- ・ 求人を出しても人が来ない ・ 自治会員の活動継続が困難になっている
- ・ 大企業の従業員が減少に伴い、関連企業も少なくなっている
- ・ 地域交流の場の減少 ・ まち全体に活気がない
- ・ 売土地の看板がとても目立つ ・ 公共交通機関の利便性の悪化

(2) 人口減少の進行に伴う課題で気になることについて **設問 15**

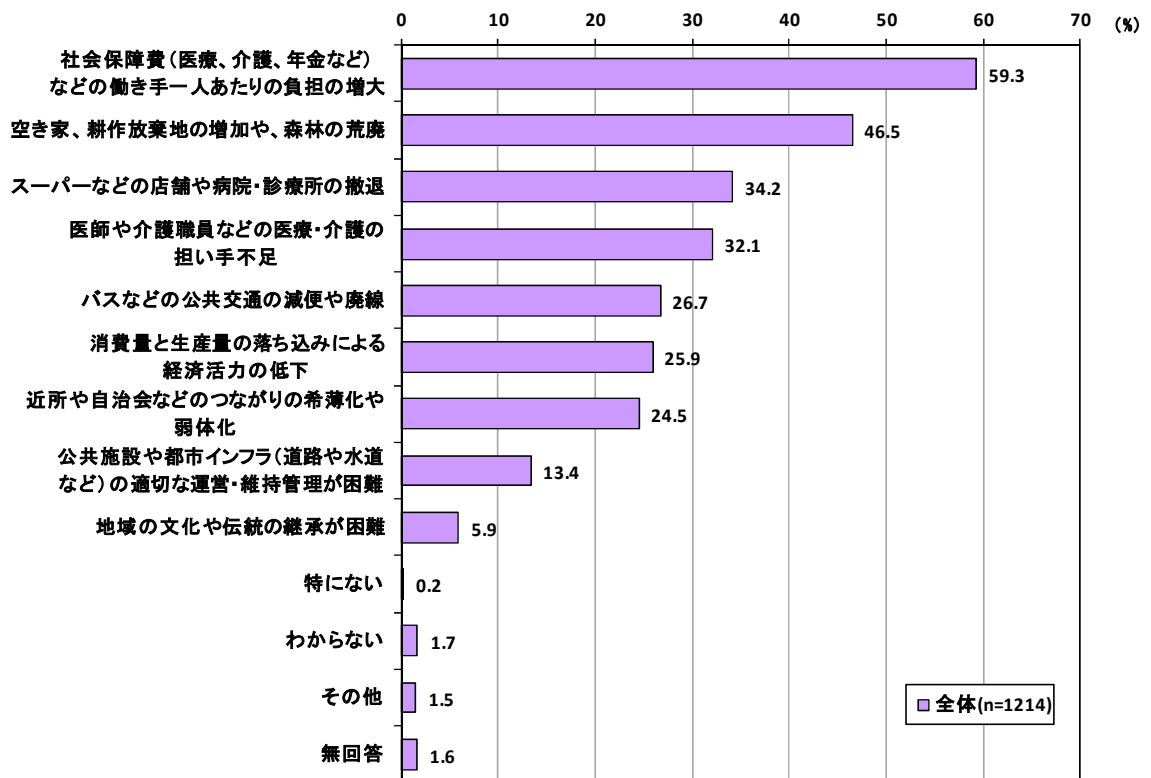
<複数回答可 (3つまで)>

**【結果概要】**

「社会保障費（医療、介護、年金など）などの働き手一人あたりの負担の増大」が 59.3%と最も多く、次いで「空き家、耕作放棄地の増加や、森林の荒廃」が 46.5%、「スーパーなどの店舗や病院・診療所の撤退」が 34.2%、「医師や介護職員などの医療・介護の担い手不足」が 32.1%となっています。

**【属性別の特徴】 《表0》**

年齢別では、「社会保障費（医療、介護、年金など）などの働き手一人あたりの負担の増大」において 30 代が特に多くなっています。また、「空き家、耕作放棄地の増加や、森林の荒廃」においては、60 代、70 代以上が半数を超えています。



**【その他の主な内容】**

- ・ イベントが少ない
- ・ 雇用企業の撤退
- ・ 人口流出の加速
- ・ 税収の減少
- ・ 自治会の役が高齢でできなくても回って来る
- ・ 少子化と若者の流出
- ・ 自分に介護が必要になった場合の医療の費用
- ・ 光市がなくなる など

■ 《表0》 人口減少の進行に伴う課題で気になることについて（属性別） ■

	上段：人 下段：%	サンプル数	よる消費量と生産量の落ち込みによる経済活力の低下	たりの負担の増大	金（金など）の働き手一人あたりの負担の増大	社会費（医療、介護、年金など）の増大	医師や介護職員の不足	近所や自治会などのつながりの希薄化や弱体化	空き家、耕作放棄地の増加や、森林の荒廃	地域の文化や伝統の継承が困難	公共施設や都市インフラ（道路や水道など）の適切な運営・維持管理が困難	診療所の撤退	スーパーなどの店舗や病院・廃線などの公共交通の減便やバスなどの公共交通の減便や	特にな	わからない	その他	無回答
全体	1214 100.0	315 25.9	720 59.3	390 32.1	298 24.5	565 46.5	72 5.9	163 13.4	415 34.2	324 26.7	3 0.2	21 1.7	18 1.5	19 1.6			
性別	男性	523 100.0	151 28.9	309 59.1	146 27.9	116 22.2	262 50.1	39 7.5	93 17.8	171 32.7	122 23.3	2 0.4	5 1.0	13 2.5	6 1.1		
	女性	686 100.0	163 23.8	407 59.3	242 35.3	180 26.2	300 43.7	33 4.8	70 10.2	244 35.6	201 29.3	1 0.1	16 2.3	5 0.7	13 1.9		
	無回答	5 100.0	1 20.0	4 80.0	2 40.0	2 40.0	3 60.0	-	-	-	1 20.0	-	-	-	-		
年齢別	10代	27 100.0	11 40.7	16 59.3	8 29.6	3 11.1	8 29.6	2 7.4	1 3.7	12 44.4	9 33.3	-	1 3.7	-	-		
	20代	59 100.0	17 28.8	38 64.4	21 35.6	7 11.9	19 32.2	2 3.4	8 13.6	24 40.7	18 30.5	1 1.7	2 3.4	1 1.7	-		
	30代	85 100.0	27 31.8	61 71.8	32 37.6	15 17.6	22 25.9	5 5.9	12 14.1	32 37.6	20 23.5	-	1 1.2	2 2.4	-		
	40代	147 100.0	41 27.9	92 62.6	50 34.0	33 22.4	48 32.7	10 6.8	32 21.8	61 41.5	41 27.9	2 1.4	1 0.7	1 0.7	-		
	50代	135 100.0	37 27.4	77 57.0	31 23.0	30 22.2	62 45.9	8 5.9	18 13.3	54 40.0	44 32.6	-	-	4 3.0	-		
	60代	306 100.0	74 24.2	178 58.2	95 31.0	79 25.8	171 55.9	19 6.2	43 14.1	111 36.3	70 22.9	-	4 1.3	5 1.6	3 1.0		
	70代以上	451 100.0	107 23.7	255 56.5	151 33.5	130 28.8	233 51.7	26 5.8	49 10.9	121 26.8	121 26.8	-	12 2.7	5 1.1	16 3.5		
	無回答	4 100.0	1 25.0	3 75.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	-	-	-	1 25.0	-	-	-	-		
地域別	東部地域	184 100.0	30 16.3	101 54.9	57 31.0	46 25.0	101 54.9	8 4.3	25 13.6	87 47.3	39 21.2	1 0.5	3 1.6	1 0.5	3 1.6		
	西部地域	440 100.0	132 30.0	296 67.3	158 35.9	112 25.5	184 41.8	28 6.4	65 14.8	120 27.3	95 21.6	2 0.5	8 1.8	5 1.1	4 0.9		
	南部地域	381 100.0	101 26.5	216 56.7	109 28.6	85 22.3	161 42.3	25 6.6	52 13.6	141 37.0	140 36.7	-	9 2.4	8 2.1	5 1.3		
	北部地域	198 100.0	46 23.2	103 52.0	61 30.8	50 25.3	114 57.6	11 5.6	20 10.1	65 32.8	49 24.7	-	1 0.5	3 1.5	7 3.5		
	無回答	11 100.0	6 54.5	4 36.4	5 45.5	5 45.5	5 45.5	-	1 9.1	2 18.2	1 9.1	-	-	1 9.1	-		

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの（「その他」「無回答」を除く）



(3) 人口減少に歯止めをかけるために必要なことについて

設問 16

<複数回答可 (3つまで)>

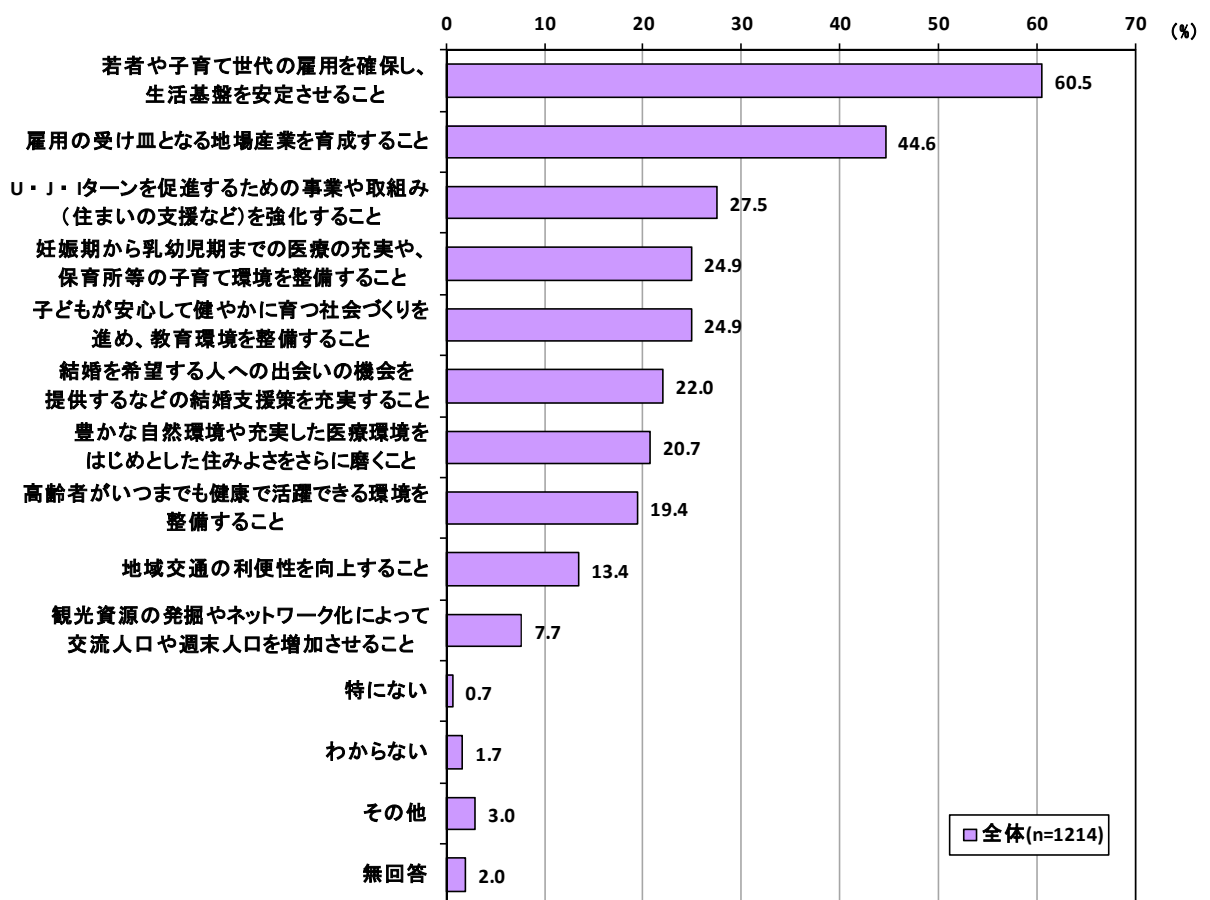
【結果概要】

「若者や子育て世代の雇用を確保し、生活基盤を安定させること」が60.5%と特に多くなっており、次いで「雇用の受け皿となる地場産業を育成すること」が44.6%、「U・J・Iターンを促進するための事業や取組み（住まいの支援など）を強化すること」が27.5%となっています。

【属性別の特徴】 《表P》

年齢別では、「妊娠期から乳幼児期までの医療の充実や、保育所等の子育て環境を整備すること」において、20代・30代が多くなっています。

また、地域別では、「U・J・Iターンを促進するための事業や取組み（住まいの支援など）を強化すること」において、北部地域が多くなっています。



【その他の主な内容】

- ・むしろ人口減少を進めるべき ・コンパクトな市政を考えるべき
- ・安心して子どもが産める環境を整える ・買い物に行ける場の確保
- ・保育料無償化など子どもを産み育てるための負担を減らす
- ・子どもを産み育てる事が価値あることだという教育 ・有名店舗の誘致
- ・皆が行きたがるような大学をつくる ・幼児（3歳～6歳）の義務教育化
- ・子どもを国、県、市で育てる社会システムにする ・地場産業の誘致
- ・移住者の受け入れに力を入れるべき ・観光体験できる素材を創造
- ・保育料の2人目無料に関して、間があいても関係なく無料にするべき
- ・公的機関で働く人の意識改革 ・魅力的な商業施設が充実していること
- ・初代総理伊藤博文公の出生地を全面的に売りにする
- ・他市との共存合併しかない ・水道料金を下げる など

■ 《表P》 人口減少の進行に伴う課題で気になることについて（属性別） ■

	サンプル数	課題																												
		支援策を充実すること	結婚の機会を提供するなどの結	療の充実や、保育所等の子	妊娠から乳幼児期までの医	境を整備すること	子どもが安心して健やかに育	こと	若者や子育て世代の雇用を確	保し、生活基盤を安定させる	雇用を受け皿となる地場産業	を育成すること	地域交通の利便性を向上する	こと	高齢者がいつまでも健康で活	躍できる環境を整備すること	さをさらに磨くこと	豊かな自然環境や充実した医	療環境をはじめとした住みよ	人口を増加させること	観光資源の発掘やネットワー	ク化によって交流人口や週末	のための事業や取組み（住まい	の支援など）を強化すること	U・J・I・Tアートを促進する	特にな	わかない	その他	無回	
全体	1214 100.0	267 22.0	302 24.9	302 24.9	735 60.5	542 44.6	163 13.4	235 19.4	251 20.7	93 7.7	334 27.5	9 0.7	21 1.7	37 3.0	24 2.0															
性別	男性	523 100.0	111 21.2	134 25.6	135 25.8	315 60.2	251 48.0	57 10.9	78 14.9	100 19.1	49 9.4	142 27.2	7 1.3	9 1.7	22 4.2	7 1.3														
	女性	686 100.0	155 22.6	167 24.3	166 24.2	418 60.9	290 42.3	105 15.3	155 22.6	151 22.0	43 6.3	191 27.8	2 0.3	11 1.6	15 2.2	16 2.3														
	無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	-	1 20.0	1 20.0	-	1 20.0	-	1 20.0														
年齢別	10代	27 100.0	9 33.3	6 22.2	11 40.7	9 33.3	9 33.3	1 3.7	4 14.8	4 14.8	-	4 14.8	3 11.1	2 7.4	1 3.7	-														
	20代	59 100.0	23 39.0	27 45.8	14 23.7	32 54.2	18 30.5	9 15.3	6 10.2	9 15.3	8 13.6	11 18.6	-	2 3.4	3 5.1	-														
	30代	85 100.0	10 11.8	44 51.8	37 43.5	53 62.4	28 32.9	8 9.4	13 15.3	9 10.6	8 9.4	22 25.9	-	1 1.2	6 7.1	-														
	40代	147 100.0	20 13.6	39 26.5	38 25.9	86 58.5	73 49.7	27 18.4	25 17.0	32 21.8	14 9.5	31 21.1	3 2.0	2 1.4	7 4.8	1 0.7														
	50代	135 100.0	25 18.5	29 21.5	31 23.0	88 65.2	67 49.6	17 12.6	22 16.3	29 21.5	16 11.9	51 37.8	1 0.7	-	2 1.5	-														
	60代	306 100.0	66 21.6	77 25.2	71 23.2	199 65.0	142 46.4	39 12.7	58 19.0	66 21.6	24 7.8	93 30.4	-	4 1.3	6 2.0	3 1.0														
	70代以上	451 100.0	114 25.3	79 17.5	99 22.0	266 59.0	205 45.5	61 13.5	106 23.5	102 22.6	22 4.9	121 26.8	2 0.4	9 2.0	12 2.7	19 4.2														
	無回答	4 100.0	-	1 25.0	1 25.0	2 50.0	-	1 25.0	1 25.0	-	1 25.0	1 25.0	-	1 25.0	-	1 25.0														
地域別	東部地域	184 100.0	39 21.2	54 29.3	43 23.4	112 60.9	63 34.2	25 13.6	44 23.9	36 19.6	11 6.0	46 25.0	2 1.1	3 1.6	9 4.9	2 1.1														
	西部地域	440 100.0	110 25.0	116 26.4	115 26.1	274 62.3	214 48.6	59 13.4	78 17.7	94 21.4	31 7.0	110 25.0	2 0.5	6 1.4	8 1.8	4 0.9														
	南部地域	381 100.0	65 17.1	87 22.8	94 24.7	226 59.3	174 45.7	59 15.5	72 18.9	92 24.1	38 10.0	110 28.9	4 1.0	8 2.1	10 2.6	8 2.1														
	北部地域	198 100.0	51 25.8	42 21.2	46 23.2	117 59.1	85 42.9	18 9.1	39 19.7	28 14.1	12 6.1	67 33.8	1 0.5	3 1.5	9 4.5	9 4.5														
	無回答	11 100.0	2 18.2	3 27.3	4 36.4	6 54.5	6 54.5	2 18.2	2 18.2	1 9.1	1 9.1	1 9.1	-	1 9.1	-	1 9.1														

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「その他」「無回答」を除く)

## 5 分野別の目標について

### (1) 福祉や医療に関する取組みで必要だと思うこと **設問 17**

<複数回答可（2つまで）>

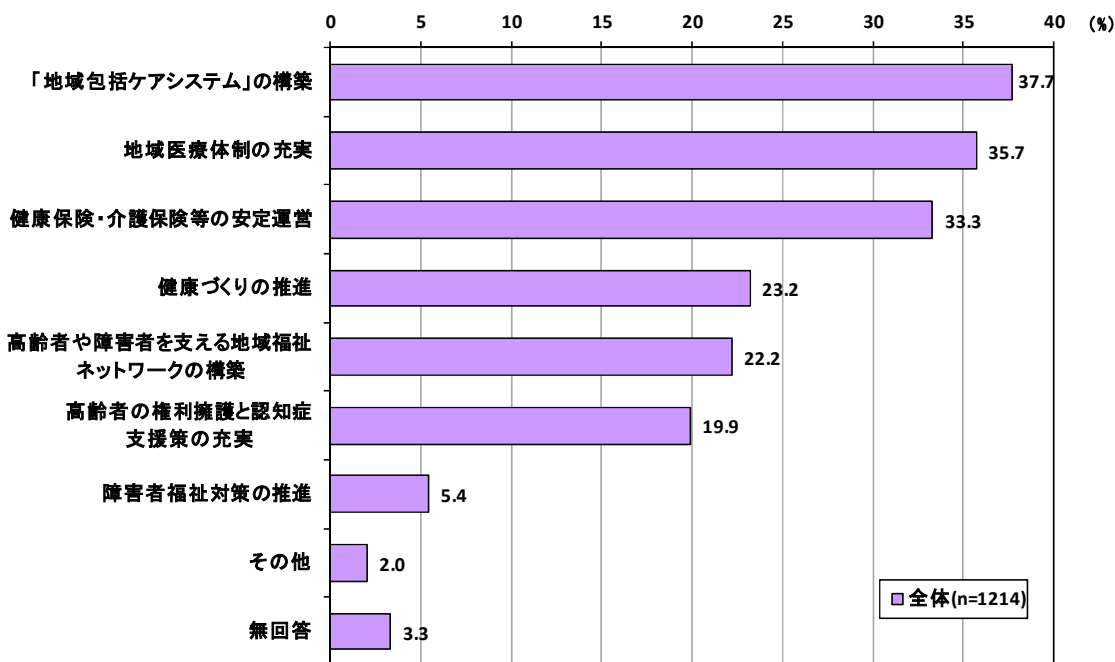
#### 【結果概要】

「『地域包括ケアシステム』の構築」が 37.7%と最も多く、次いで「地域医療体制の充実」が 35.7%、「健康保険・介護保険等の安定運営」が 33.3%となっています。

#### 【属性別の特徴】 《表Q》

年齢別では、「『地域包括ケアシステム』の構築」において 60 代、70 代高齢層世代が多くなっています。

また、地域別では、東部地域において「地域医療体制の充実」が半数を超え、特に多くなっています。



#### 【その他の主な内容】

- ・ 総合病院と地域の診療所など医療機関の連携体制の強化
- ・ 光総合病院のスタッフの数の充実 ・ 薬の過剰投与をなくす
- ・ 体力の弱い乳幼児のための専門病院の設置 ・ 終活の充実
- ・ がん治療などで医療費が高額にかかる人への支援
- ・ がん専門病院の設立 ・ 健康長寿延伸のための取組み
- ・ ゆーぱーく光に高齢者福祉施設を など

■ 《表Q》 福祉や医療に関する取組みで必要だと思うこと（属性別） ■

上段：人 下段：%		サンプル数	健康づくりの推進	「地域包括ケアシステム」の構築	高齢者の権利擁護と認知症支援策の充実	高齢者や障害者を支える地域福祉ネットワークの構築	障害者福祉対策の推進	地域医療体制の充実	健康保険・介護保険等の安定運営	その他	無回答
全体		1214 100.0	282 23.2	458 37.7	242 19.9	270 22.2	65 5.4	434 35.7	404 33.3	24 2.0	40 3.3
性別	男性	523 100.0	124 23.7	204 39.0	86 16.4	117 22.4	30 5.7	186 35.6	173 33.1	15 2.9	19 3.6
	女性	686 100.0	158 23.0	253 36.9	153 22.3	151 22.0	34 5.0	248 36.2	229 33.4	9 1.3	20 2.9
	無回答	5 100.0	- -	1 20.0	3 60.0	2 40.0	1 20.0	- -	2 40.0	- -	1 20.0
年齢別	10代	27 100.0	3 11.1	5 18.5	4 14.8	11 <b>40.7</b>	2 7.4	9 33.3	6 22.2	1 3.7	- -
	20代	59 100.0	17 <b>28.8</b>	12 20.3	11 18.6	16 27.1	7 <b>11.9</b>	24 <b>40.7</b>	14 23.7	2 3.4	- -
	30代	85 100.0	25 <b>29.4</b>	30 35.3	8 9.4	17 20.0	5 5.9	30 35.3	33 <b>38.8</b>	2 2.4	1 1.2
	40代	147 100.0	30 20.4	56 38.1	23 15.6	35 23.8	9 6.1	62 <b>42.2</b>	45 30.6	2 1.4	3 2.0
	50代	135 100.0	30 22.2	42 31.1	27 20.0	32 23.7	10 7.4	50 37.0	36 26.7	6 4.4	2 1.5
	60代	306 100.0	87 <b>28.4</b>	132 <b>43.1</b>	59 19.3	59 19.3	9 2.9	112 36.6	110 35.9	4 1.3	6 2.0
	70代以上	451 100.0	90 20.0	180 39.9	108 23.9	98 21.7	23 5.1	147 32.6	158 35.0	7 1.6	27 6.0
	無回答	4 100.0	- -	1 25.0	2 50.0	2 50.0	- -	- -	2 50.0	- -	1 25.0
地域別	東部地域	184 100.0	29 15.8	58 31.5	40 21.7	41 22.3	12 6.5	104 <b>56.5</b>	40 21.7	3 1.6	6 3.3
	西部地域	440 100.0	114 25.9	187 42.5	89 20.2	100 22.7	25 5.7	147 33.4	148 33.6	1 0.2	10 2.3
	南部地域	381 100.0	95 24.9	144 37.8	67 17.6	82 21.5	17 4.5	124 32.5	139 36.5	13 3.4	13 3.4
	北部地域	198 100.0	43 21.7	65 32.8	44 22.2	43 21.7	8 4.0	56 28.3	73 36.9	7 3.5	10 5.1
	無回答	11 100.0	1 9.1	4 36.4	2 18.2	4 36.4	3 27.3	3 27.3	4 36.4	- -	1 9.1

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「その他」「無回答」を除く)

(2) コミュニティづくりなどに関する取組みで必要だと思うこと  
<複数回答可(2つまで)>

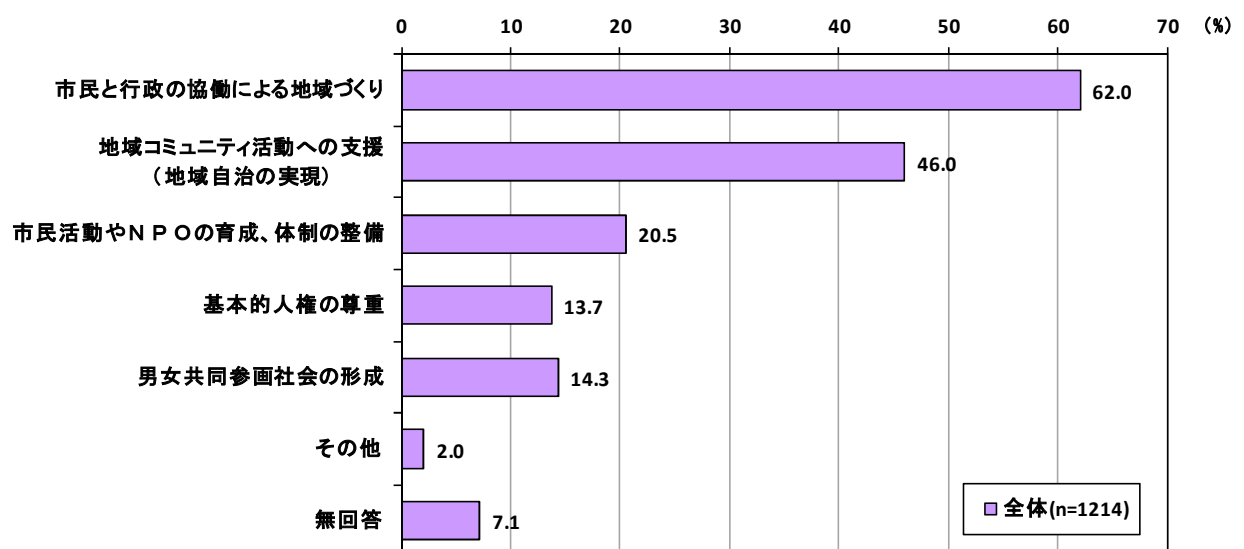
設問 18

【結果概要】

「市民と行政の協働による地域づくり」が62.0%と特に多く、次いで「地域コミュニティ活動への支援(地域自治の実現)」が46.0%となっています。

【属性別の特徴】 《表R》

年齢別では、「男女共同参画社会の形成」において、20代が多くなっています。



【その他の主な内容】

- ・コミュニティセンターでの活動の充実と宣伝の強化
- ・コミュニティセンターとしての機能強化 ・行政の強いリーダーシップ
- ・高齢者主体のコミュニティの見直し ・公園や集会所をもっと美しくする
- ・市のやるべき事を自治会に丸投げすることはいかがか
- ・家族のコミュニケーションの取り方を考えるべき
- ・コミュニティへの規制を減らす ・個人情報保護法による縛りを緩和
- ・老人の見守り等の最低限やるべきことをやってほしい
- ・会社同士の連携向上に繋がる活動 地元企業との連携 など

■ 《表R》 コミュニティづくりなどに関する取組みで必要だと思うこと（属性別） ■

上段：人 下段：%		サンプル数	市民と行政の協働による地域づくり	地域コミュニティ活動への支援（地域自治の実現）	市民活動やNPOの育成、体制の整備	基本的人権の尊重	男女共同参画社会の形成	その他	無回答
全体		1214 100.0	753 62.0	558 46.0	249 20.5	166 13.7	173 14.3	24 2.0	86 7.1
性別	男性	523 100.0	327 62.5	251 48.0	109 20.8	68 13.0	88 16.8	15 2.9	24 4.6
	女性	686 100.0	422 61.5	305 44.5	138 20.1	98 14.3	85 12.4	9 1.3	61 8.9
	無回答	5 100.0	4 80.0	2 40.0	2 40.0	- -	- -	- -	1 20.0
年齢別	10代	27 100.0	17 63.0	11 40.7	4 14.8	3 11.1	4 14.8	- -	- -
	20代	59 100.0	32 54.2	19 32.2	11 18.6	9 15.3	<b>22 37.3</b>	1 1.7	1 1.7
	30代	85 100.0	45 52.9	43 50.6	13 15.3	10 11.8	16 18.8	2 2.4	4 4.7
	40代	147 100.0	84 57.1	67 45.6	29 19.7	15 10.2	27 18.4	3 2.0	7 4.8
	50代	135 100.0	79 58.5	65 48.1	28 20.7	17 12.6	17 12.6	4 3.0	9 6.7
	60代	306 100.0	201 65.7	145 47.4	75 24.5	53 17.3	32 10.5	7 2.3	16 5.2
	70代以上	451 100.0	292 64.7	207 45.9	87 19.3	59 13.1	55 12.2	7 1.6	48 10.6
	無回答	4 100.0	3 75.0	1 25.0	2 50.0	- -	- -	- -	1 25.0
地域別	東部地域	184 100.0	118 64.1	83 45.1	25 13.6	24 13.0	27 14.7	3 1.6	17 9.2
	西部地域	440 100.0	278 63.2	190 43.2	102 23.2	65 14.8	73 16.6	8 1.8	25 5.7
	南部地域	381 100.0	226 59.3	180 47.2	80 21.0	56 14.7	49 12.9	9 2.4	28 7.3
	北部地域	198 100.0	124 62.6	99 50.0	37 18.7	20 10.1	23 11.6	4 2.0	15 7.6
	無回答	11 100.0	7 63.6	6 54.5	5 45.5	1 9.1	1 9.1	- -	1 9.1

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「その他」「無回答」を除く)

(3) 子育てや教育に関する取組みで必要だと思うこと  
 <複数回答可(2つまで)>

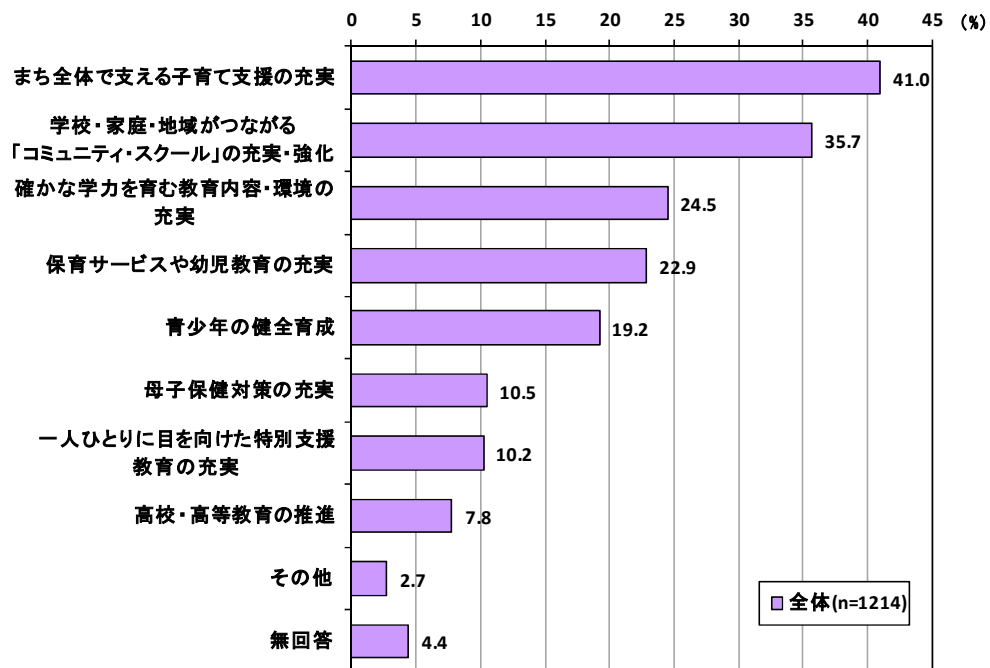
設問 19

【結果概要】

「まち全体で支える子育て支援の充実」が41.0%と最も多く、次いで「学校・家庭・地域がつながる「コミュニティ・スクール」の充実・強化」が35.7%、「確かな学力を育む教育内容・環境の充実」が24.5%、「保育サービスや幼児教育の充実」が22.9%となっています。

【属性別の特徴】 《表S》

年齢別では、「確かな学力を育む教育内容・環境の充実」や「高校・高等教育の推進」において10代、「保育サービスや幼児教育の充実」や「母子保健対策の充実」において、20代・30代が、他の年齢層よりも多くなっています。



【その他の主な内容】

- ・子どもが増えないと取組みができない
- ・子どもとお年寄りの取組みを
- ・子どもの遊べる環境作り
- ・子どもの貧困化対策
- ・人間力を育む教育
- ・各家庭における基本的なしつけが必要
- ・高校までの学費無料化
- ・義務教育の充実
- ・教育環境（ネットのインフラ）の格差解消
- ・自信のある教員や学校の支援
- ・母子家庭への支援（保育園、医療費）
- ・コミュニティ・スクールの充実・強化は必要ない
- ・保育料の引き下げ
- ・お金の使い方、稼ぎ方、運用についての授業
- ・乳幼児医療費助成の所得の基準（制限）の再検討
- ・若い人の住居環境改善
- ・様々な施策を行っている事のPR など



■ 《表S》 子育てや教育に関する取組みで必要だと思うこと（属性別） ■

		上段：人 下段：%	援助の充実	母子保健対策の充実	充実	保育サービスの充実	「フルタイム」の充実	学校・家庭・地域が連携する取り組みの充実	一人ひとりに目を向けた特別支援教育の充実	確かな学力を育む教育内容・環境の充実	高校・高等教育の推進	青少年の健全育成	その他	無回答
全体		1214 100.0	498 41.0	127 10.5	278 22.9	434 35.7	124 10.2	297 24.5	95 7.8	233 19.2	33 2.7	53 4.4		
性別	男性	523 100.0	211 40.3	60 11.5	128 24.5	191 36.5	45 8.6	120 22.9	46 8.8	99 18.9	20 3.8	20 3.8		
	女性	686 100.0	284 41.4	67 9.8	149 21.7	242 35.3	78 11.4	176 25.7	49 7.1	133 19.4	13 1.9	32 4.7		
	無回答	5 100.0	3 60.0	- -	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	- -	1 20.0	- -	1 20.0		1 20.0
年齢別	10代	27 100.0	5 18.5	5 18.5	4 14.8	6 22.2	2 7.4	11 40.7	11 40.7	1 3.7	1 3.7	- -		
	20代	59 100.0	23 39.0	14 23.7	24 40.7	12 20.3	7 11.9	10 16.9	6 10.2	5 8.5	5 8.5	1 1.7		
	30代	85 100.0	33 38.8	14 16.5	33 38.8	23 27.1	6 7.1	19 22.4	11 12.9	24 28.2	3 3.5	- -		
	40代	147 100.0	50 34.0	17 11.6	32 21.8	51 34.7	17 11.6	55 37.4	20 13.6	18 12.2	- -	2 1.4		
	50代	135 100.0	50 37.0	12 8.9	37 27.4	44 32.6	15 11.1	37 27.4	13 9.6	27 20.0	6 4.4	- -		
	60代	306 100.0	130 42.5	31 10.1	66 21.6	135 44.1	36 11.8	61 19.9	21 6.9	55 18.0	8 2.6	7 2.3		
	70代以上	451 100.0	205 45.5	34 7.5	81 18.0	163 36.1	40 8.9	103 22.8	13 2.9	102 22.6	10 2.2	42 9.3		
	無回答	4 100.0	2 50.0	- -	1 25.0	- -	1 25.0	1 25.0	- -	1 25.0	- -	1 25.0		1 25.0
地域別	東部地域	184 100.0	82 44.6	25 13.6	43 23.4	63 34.2	15 8.2	41 22.3	11 6.0	28 15.2	7 3.8	7 3.8		
	西部地域	440 100.0	182 41.4	44 10.0	103 23.4	154 35.0	52 11.8	112 25.5	38 8.6	88 20.0	11 2.5	17 3.9		
	南部地域	381 100.0	146 38.3	43 11.3	87 22.8	144 37.8	36 9.4	98 25.7	30 7.9	70 18.4	9 2.4	19 5.0		
	北部地域	198 100.0	82 41.4	15 7.6	41 20.7	70 35.4	19 9.6	44 22.2	15 7.6	45 22.7	6 3.0	9 4.5		
	無回答	11 100.0	6 54.5	- -	4 36.4	3 27.3	2 18.2	2 18.2	1 9.1	2 18.2	- -	1 9.1		

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「その他」「無回答」を除く)

(4) 生涯学習やスポーツ・歴史文化等に関する取組みで必要だと思うこと  
 <複数回答可(2つまで)>

設問 20

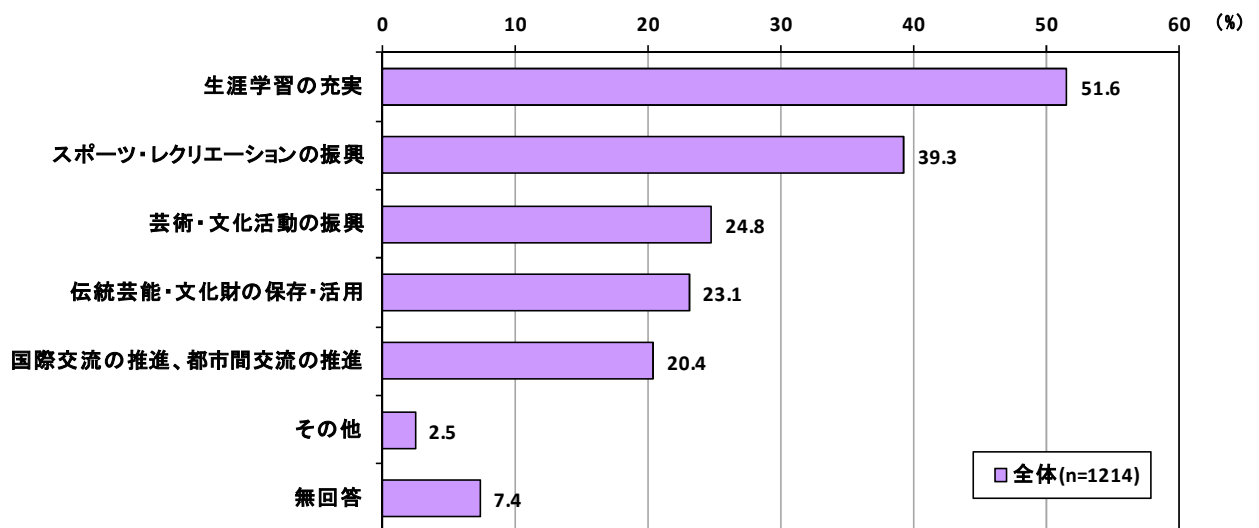
【結果概要】

「生涯学習の充実」が51.6%と最も多く、次いで「スポーツ・レクリエーションの振興」が39.3%、「芸術・文化活動の振興」が24.8%、「伝統芸能・文化財の保存・活用」が23.1%、「国際交流の推進、都市間交流の推進」が20.4%となっています。

【属性別の特徴】 《表T》

性別では、「スポーツ・レクリエーションの振興」において、男性が多くなっています。

年齢別では、「生涯学習の充実」において60代、「スポーツ・レクリエーションの振興」において10代・30代が半数を超え、多くなっています。



【その他の主な内容】

- ・市営の学力充実センターを設置 ・公共施設等のトイレを洋式化
- ・伊藤公記念公園、石城山県立自然公園の景観保護 ・指導者の質や内容の向上
- ・教育文化活動団体の活性化 ・光市特有のスポーツ・文化の形成
- ・人的、物的な財産の活用 ・史跡や郷土出身の歴史的人物にもっと光を
- ・海を活用したスポーツ、レジャーの振興 ・青少年育成のため国際交流推進
- ・高校生の海外活動 ・施設利用料の値上げ ・市の体育館の市民無料化
- ・スポーツ施設の充実・整備 ・スポーツで健康増進している人への経済支援
- ・市民が気軽に手軽にスポーツにふれあえる環境づくり
- ・ウォーキングやランニングができる公園・プール ・新しいスポーツの発掘
- ・早長八幡宮秋祭りの宣伝強化 ・余裕のある自治体がやればよい など

■ 《表T》 生涯学習やスポーツ・歴史文化等に関する取組みで必要だと思うこと（属性別） ■

		上段：人 下段：%	サンプル数	生涯学習の充実	スポーツ・レクリエーションの振興	芸術・文化活動の振興	伝統芸能・文化財の保存・活用	国際交流の推進、都市間交流の推進	その他	無回答
全体			1214	626	477	301	280	248	30	90
			100.0	51.6	39.3	24.8	23.1	20.4	2.5	7.4
性別	男性		523	249	240	124	123	107	16	34
			100.0	47.6	<b>45.9</b>	23.7	23.5	20.5	3.1	6.5
	女性		686	375	235	175	157	140	14	55
			100.0	54.7	34.3	25.5	22.9	20.4	2.0	8.0
	無回答		5	2	2	2	-	1	-	1
			100.0	40.0	40.0	40.0	-	20.0	-	20.0
年齢別	10代		27	9	14	2	7	8	-	-
			100.0	33.3	<b>51.9</b>	7.4	25.9	<b>29.6</b>	-	-
	20代		59	29	29	10	15	10	2	2
			100.0	49.2	<b>49.2</b>	16.9	25.4	16.9	3.4	3.4
	30代		85	34	45	21	24	22	3	-
			100.0	40.0	<b>52.9</b>	24.7	<b>28.2</b>	<b>25.9</b>	3.5	-
	40代		147	66	66	33	33	43	3	4
			100.0	44.9	<b>44.9</b>	22.4	22.4	<b>29.3</b>	2.0	2.7
50代		135	67	51	40	27	29	2	7	
		100.0	49.6	37.8	29.6	20.0	21.5	1.5	5.2	
60代		306	189	114	77	80	50	7	15	
		100.0	<b>61.8</b>	37.3	25.2	26.1	16.3	2.3	4.9	
70代以上		451	231	157	116	94	85	13	61	
		100.0	51.2	34.8	25.7	20.8	18.8	2.9	13.5	
	無回答		4	1	1	2	-	1	-	1
			100.0	25.0	25.0	50.0	-	25.0	-	25.0
地域別	東部地域		184	101	70	40	45	26	5	17
			100.0	54.9	38.0	21.7	24.5	14.1	2.7	9.2
	西部地域		440	234	180	121	103	104	7	19
			100.0	53.2	40.9	27.5	23.4	23.6	1.6	4.3
	南部地域		381	193	145	100	78	81	10	28
		100.0	50.7	38.1	26.2	20.5	21.3	2.6	7.3	
北部地域		198	90	78	37	52	35	8	25	
		100.0	45.5	39.4	18.7	26.3	17.7	4.0	12.6	
	無回答		11	8	4	3	2	2	-	1
			100.0	72.7	36.4	27.3	18.2	18.2	-	9.1

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「その他」「無回答」を除く)

(5) 都市基盤や生活環境に関する取組みで必要だと思うこと

設問 21

<複数回答可(2つまで)>

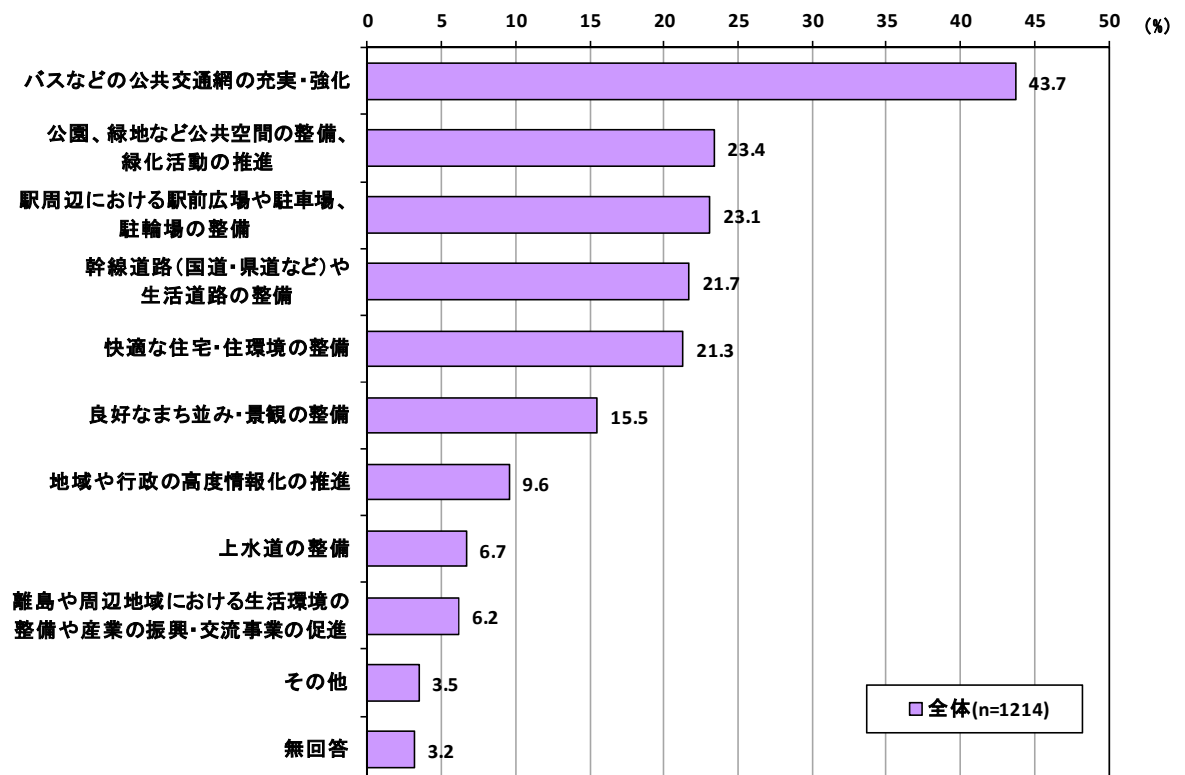
【結果概要】

「バスなどの公共交通網の充実・強化」が43.7%と特に多くなっており、次いで「公園、緑地など公共空間の整備、緑化活動の推進」が23.4%、「駅周辺における駅前広場や駐車場、駐輪場の整備」が23.1%、「幹線道路(国道・県道など)や生活道路の整備」が21.7%、「快適な住宅・住環境の整備」が21.3%となっています。

【属性別の特徴】 《表U》

性別では、「バスなどの公共交通網の充実・強化」において、女性が半数を超え、多くなっています。

年齢別では、「バスなどの公共交通網の充実・強化」において60代・70代以上が多くなっています。また、「公園、緑地など公共空間の整備、緑化活動の推進」においては、20代・30代・40代が多くなっています。



【その他の主な内容】

- ・ 下水道の整備 ・ 下水道にかかるコストの削減
- ・ 岩田駅周辺に県産物等の物流センター、高等学校など、関連企業などの誘致
- ・ 駅前に商業施設を ・ 島田駅前の県道に信号 ・ 荒れた山や公道の整備
- ・ 歩行者と自転車が共に安全通行できる歩道の整備 ・ 登下校道路の整備
- ・ 瀬戸風線の整備促進 ・ 街灯を増やして通学路を明るく ・ 商業施設の誘致
- ・ 防犯灯を大增設して欲しい ・ ぐるりんバスの農道での運行検討
- ・ 里の厨のような店を冠山総合公園にも ・ 団地内の公園の整備
- ・ 島田川沿いの桜の木の手入れに力を ・ 団地内側溝の整備
- ・ 支所の総合支所への格上げ ・ 中核地区への集中投資を
- ・ 整備の必要なし ・ 現状のメンテナンスのみでよい など

■ 《表U》 都市基盤や生活環境に関する取組みで必要だと思うこと（属性別） ■

		サンプル数	駅前広場や 駐輪場の整備	幹線道路（国道・県道など）や生活道路の整備	実・強化	バスなどの公共交通網の充	備 良好なまち並み・景観の整	公園、緑地など公共空間の整備、緑化活動の推進	快適な住宅・住環境の整備	上水道の整備	地域や行政の高度情報化の推進	興・交流事業の促進	活環境の整備や産業の振	離島や周辺地域における生	その他	無回答
全体		1214 100.0	281 23.1	263 21.7	530 43.7	188 15.5	284 23.4	259 21.3	81 6.7	116 9.6	75 6.2	43 3.5	39 3.2			
性別	男性	523 100.0	117 22.4	121 23.1	172 32.9	96 18.4	134 25.6	132 25.2	37 7.1	59 11.3	34 6.5	27 5.2	16 3.1			
	女性	686 100.0	162 23.6	142 20.7	354 <b>51.6</b>	92 13.4	149 21.7	127 18.5	43 6.3	57 8.3	40 5.8	16 2.3	22 3.2			
	無回答	5 100.0	2 40.0	- -	4 80.0	- -	1 20.0	- -	1 20.0	- -	1 20.0	- -	1 20.0			
年齢別	10代	27 100.0	11 <b>40.7</b>	2 7.4	10 37.0	5 18.5	4 14.8	8 <b>29.6</b>	3 11.1	1 3.7	2 7.4	- -	- -			
	20代	59 100.0	14 23.7	13 22.0	24 40.7	10 16.9	22 <b>37.3</b>	15 25.4	2 3.4	3 5.1	1 1.7	3 5.1	- -			
	30代	85 100.0	17 20.0	13 15.3	27 31.8	14 16.5	30 <b>35.3</b>	26 <b>30.6</b>	6 7.1	8 9.4	3 3.5	3 3.5	1 1.2			
	40代	147 100.0	37 25.2	30 20.4	55 37.4	21 14.3	44 <b>29.9</b>	38 25.9	12 8.2	12 8.2	3 2.0	4 2.7	2 1.4			
	50代	135 100.0	33 24.4	19 14.1	53 39.3	25 18.5	29 21.5	32 23.7	14 10.4	11 8.1	14 10.4	6 4.4	1 0.7			
	60代	306 100.0	63 20.6	87 <b>28.4</b>	137 44.8	57 18.6	66 21.6	62 20.3	20 6.5	31 10.1	18 5.9	9 2.9	5 1.6			
	70代以上	451 100.0	105 23.3	99 22.0	221 <b>49.0</b>	56 12.4	88 19.5	78 17.3	23 5.1	50 11.1	33 7.3	18 4.0	29 6.4			
	無回答	4 100.0	1 25.0	- -	3 75.0	- -	1 25.0	- -	1 25.0	- -	1 25.0	- -	1 25.0			
地域別	東部地域	184 100.0	68 <b>37.0</b>	44 23.9	78 42.4	21 11.4	26 14.1	33 17.9	19 10.3	16 8.7	11 6.0	10 5.4	5 2.7			
	西部地域	440 100.0	110 25.0	103 23.4	166 37.7	74 16.8	122 27.7	91 20.7	25 5.7	49 11.1	24 5.5	13 3.0	13 3.0			
	南部地域	381 100.0	63 16.5	63 16.5	198 <b>52.0</b>	68 17.8	95 24.9	82 21.5	17 4.5	31 8.1	25 6.6	13 3.4	12 3.1			
	北部地域	198 100.0	39 19.7	51 25.8	82 41.4	23 11.6	38 19.2	53 <b>26.8</b>	18 9.1	18 9.1	13 6.6	7 3.5	8 4.0			
	無回答	11 100.0	1 9.1	2 18.2	6 54.5	2 18.2	3 27.3	- -	2 18.2	2 18.2	2 18.2	- -	1 9.1			

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの（「その他」「無回答」を除く）

(6) 環境保全に関する取組みで必要だと思うこと

設問 22

<複数回答可(2つまで)>

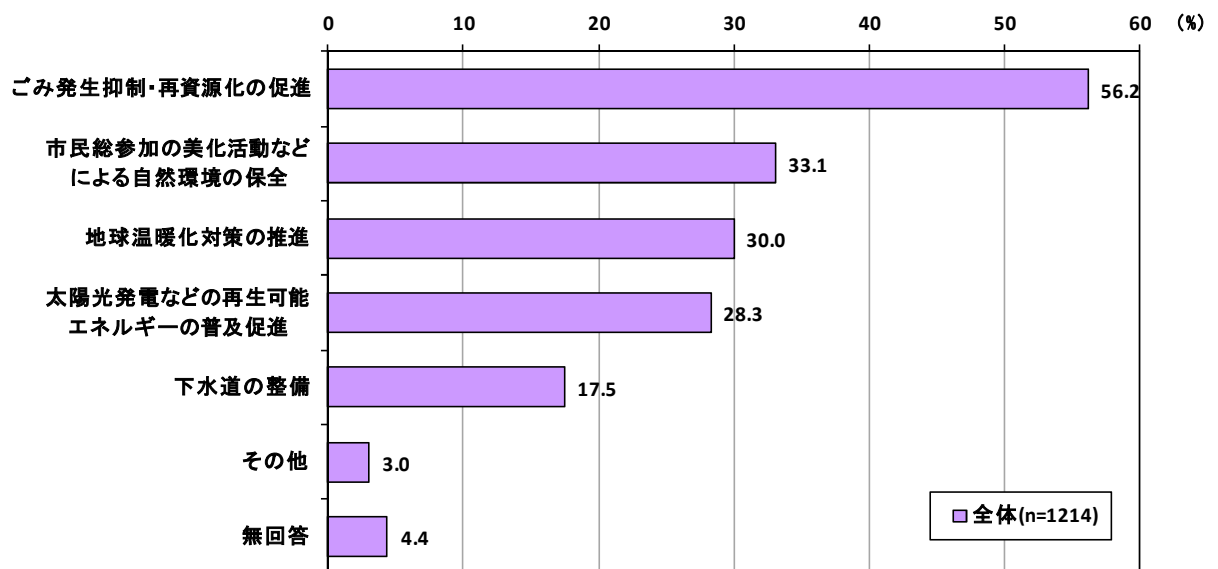
【結果概要】

「ごみ発生抑制・再資源化の促進」が56.2%と最も多く、次いで「市民総参加の美化活動などによる自然環境の保全」が33.1%、「地球温暖化対策の推進」が30.0%、「太陽光発電などの再生可能エネルギーの普及促進」が28.3%となっています。

【属性別の特徴】 《表V》

年齢別では、「太陽光発電などの再生可能エネルギーの普及促進」において50代以下が多くなっています。

また、地域別では、「下水道の整備」において、北部地域が多くなっています。



【その他の主な内容】

- ・ ゴミ出しの選別基準の簡略化 ・ 燃えるものは燃やす ・ 電力の自給自足
- ・ 太陽光発電を使ってもっと夜も明るい町に ・ 山林や島田川の整備
- ・ 室積海岸の砂流出防止 ・ 子どもたちへの環境教育の充実
- ・ 道の両側の草刈り ・ 山林管理を地主に実施するよう指導
- ・ 企業の排水の管理強化 ・ 自治会の更なる環境美化活動
- ・ 市で道路のごみ拾いを(鮎俣付近) ・ 家の周りは自分自身で片付ける
- ・ 団地内衛生環境(側溝)の整備 ・ 犬、猫の糞害に対する取り締まり強化
- ・ 個人個人が心して自分の住んでいる地域を守る ・ 原発ダメ、絶対
- ・ 島田川両岸に桜などの並木を など

■ 《表Ⅴ》 環境保全に関する取組みで必要だと思うこと（属性別） ■

		上段：人 下段：%	サンプル数	市民総参加の環境美化活動などに よる自然環境の保全	太陽光発電などの再生可能 エネルギーの普及促進	地球温暖化対策の推進	ごみ発生抑制・再資源化の 促進	下水道の整備	その他	無回答
全体		1214 100.0	402 33.1	343 28.3	364 30.0	682 56.2	213 17.5	36 3.0	53 4.4	
性別	男性	523 100.0	179 34.2	162 31.0	135 25.8	298 57.0	98 18.7	23 4.4	19 3.6	
	女性	686 100.0	220 32.1	180 26.2	227 33.1	382 55.7	114 16.6	13 1.9	33 4.8	
	無回答	5 100.0	3 60.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	- -	1 20.0	
年齢別	10代	27 100.0	6 22.2	10 <b>37.0</b>	12 <b>44.4</b>	14 51.9	3 11.1	- -	- -	
	20代	59 100.0	14 23.7	23 <b>39.0</b>	15 25.4	33 55.9	11 18.6	4 6.8	1 1.7	
	30代	85 100.0	21 24.7	33 <b>38.8</b>	22 25.9	47 55.3	20 <b>23.5</b>	1 1.2	- -	
	40代	147 100.0	34 23.1	55 <b>37.4</b>	49 33.3	83 56.5	20 13.6	4 2.7	2 1.4	
	50代	135 100.0	32 23.7	53 <b>39.3</b>	32 23.7	66 48.9	31 <b>23.0</b>	4 3.0	3 2.2	
	60代	306 100.0	114 37.3	79 25.8	102 33.3	171 55.9	57 18.6	8 2.6	8 2.6	
	70代以上	451 100.0	179 <b>39.7</b>	89 19.7	130 28.8	267 59.2	70 15.5	15 3.3	38 8.4	
	無回答	4 100.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	- -	1 25.0	
地域別	東部地域	184 100.0	56 30.4	54 29.3	55 29.9	97 52.7	34 18.5	7 3.8	9 4.9	
	西部地域	440 100.0	130 29.5	144 32.7	149 33.9	262 59.5	69 15.7	8 1.8	13 3.0	
	南部地域	381 100.0	142 37.3	99 26.0	108 28.3	211 55.4	62 16.3	16 4.2	19 5.0	
	北部地域	198 100.0	70 35.4	42 21.2	47 23.7	107 54.0	46 <b>23.2</b>	5 2.5	11 5.6	
	無回答	11 100.0	4 36.4	4 36.4	5 45.5	5 45.5	2 18.2	- -	1 9.1	

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「その他」「無回答」を除く)



(7) 安全・安心に関する取組みで必要だと思うこと

設問 23

<複数回答可(2つまで)>

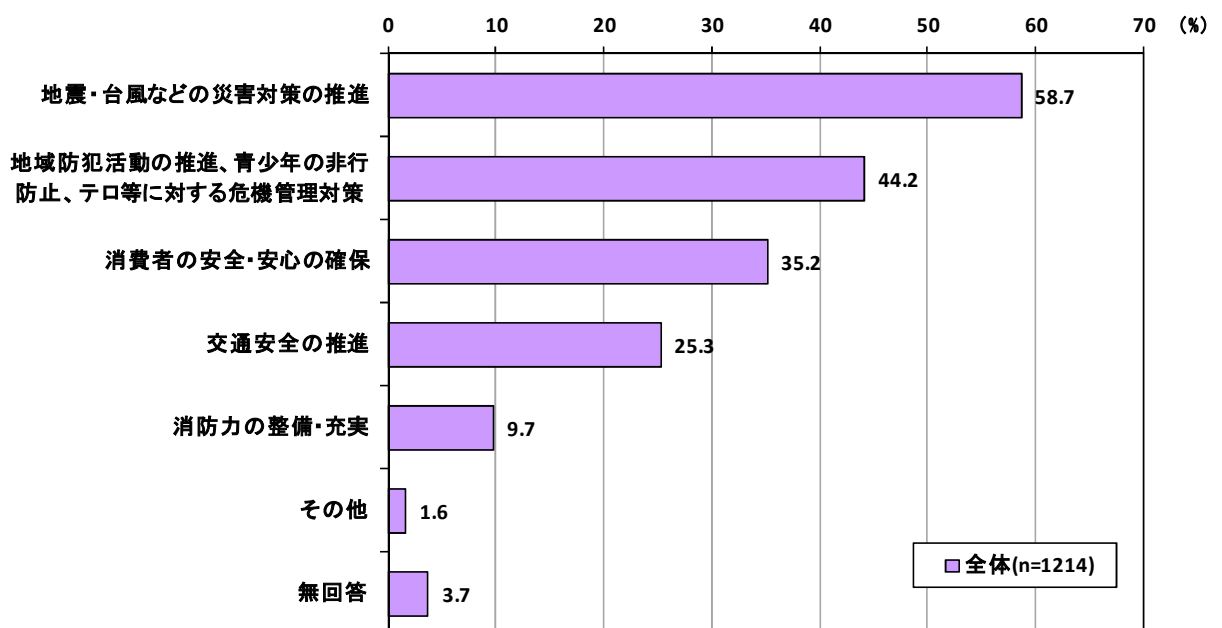
【結果概要】

「地震・台風などの災害対策の推進」が58.7%と最も多く、次いで「地域防犯活動の推進、青少年の非行防止、テロ等に対する危機管理対策」が44.2%、「消費者の安全・安心の確保」が35.2%、「交通安全の推進」が25.3%となっています。

【属性別の特徴】 《表W》

年齢別では、「交通安全の推進」において、10代から30代の若年層世代が多くなっています。

また、地域別では、「地震・台風などの災害対策の推進」において、南部地域が特に多くなっています。



【その他の主な内容】

- ・防災行政無線が聞こえない地域への対応
- ・自転車のマナー向上
- ・地場製品の購買を高める
- ・島田川の水の流れを良くする
- ・市民ひとり一人が、安全・安心を自己管理できるまちづくり
- ・重要施設の高台化
- ・治安に対する市の特別部局の設置
- ・光井港の防波堤の安全対策
- ・光駅の階段の改善
- ・災害対策の充実
- ・海拔の低い地域の人にセカンドハウスを提供
- ・車より人への配慮
- ・高齢者見守りのネットワークの構築
- ・上関原発建設への反対 など

■ 《表W》 安全・安心に関する取組みで必要だと思うこと（属性別） ■

		上段：人 下段：%	サンプル数	の地震・台風などの災害対策	消防力の整備・充実	する年の非行防止、テロ等に青少年の危機管理対策	地域防犯活動の推進、青少年	交通安全の推進	消費者の安全・安心の確保	その他	無回答
全体		1214 100.0	713 58.7	118 9.7	537 44.2	307 25.3	427 35.2	20 1.6	45 3.7		
性別	男性	523 100.0	295 56.4	50 9.6	238 45.5	154 29.4	169 32.3	13 2.5	14 2.7		
	女性	686 100.0	417 60.8	67 9.8	296 43.1	153 22.3	258 37.6	7 1.0	29 4.2		
	無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	3 60.0	- -	- -	- -	2 40.0		
年齢別	10代	27 100.0	13 48.1	2 7.4	8 29.6	14 <b>51.9</b>	6 22.2	1 3.7	- -		
	20代	59 100.0	36 61.0	10 <b>16.9</b>	21 35.6	20 <b>33.9</b>	17 28.8	2 3.4	1 1.7		
	30代	85 100.0	57 <b>67.1</b>	6 7.1	43 <b>50.6</b>	26 <b>30.6</b>	22 25.9	- -	1 1.2		
	40代	147 100.0	85 57.8	14 9.5	65 44.2	43 29.3	46 31.3	1 0.7	3 2.0		
	50代	135 100.0	76 56.3	11 8.1	67 <b>49.6</b>	25 18.5	43 31.9	2 1.5	4 3.0		
	60代	306 100.0	187 61.1	31 10.1	137 44.8	75 24.5	109 35.6	9 2.9	8 2.6		
	70代以上	451 100.0	258 57.2	43 9.5	193 42.8	104 23.1	184 <b>40.8</b>	5 1.1	27 6.0		
	無回答	4 100.0	1 25.0	1 25.0	3 75.0	- -	- -	- -	1 25.0		
地域別	東部地域	184 100.0	103 56.0	21 11.4	66 35.9	57 <b>31.0</b>	61 33.2	7 3.8	11 6.0		
	西部地域	440 100.0	250 56.8	44 10.0	213 48.4	114 25.9	162 36.8	5 1.1	7 1.6		
	南部地域	381 100.0	244 <b>64.0</b>	36 9.4	167 43.8	89 23.4	130 34.1	3 0.8	13 3.4		
	北部地域	198 100.0	111 56.1	16 8.1	83 41.9	44 22.2	72 36.4	5 2.5	13 6.6		
	無回答	11 100.0	5 45.5	1 9.1	8 72.7	3 27.3	2 18.2	- -	1 9.1		

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「その他」「無回答」を除く)

(8) 産業振興に関する取組みで必要だと思うこと

設問 24

<複数回答可(2つまで)>

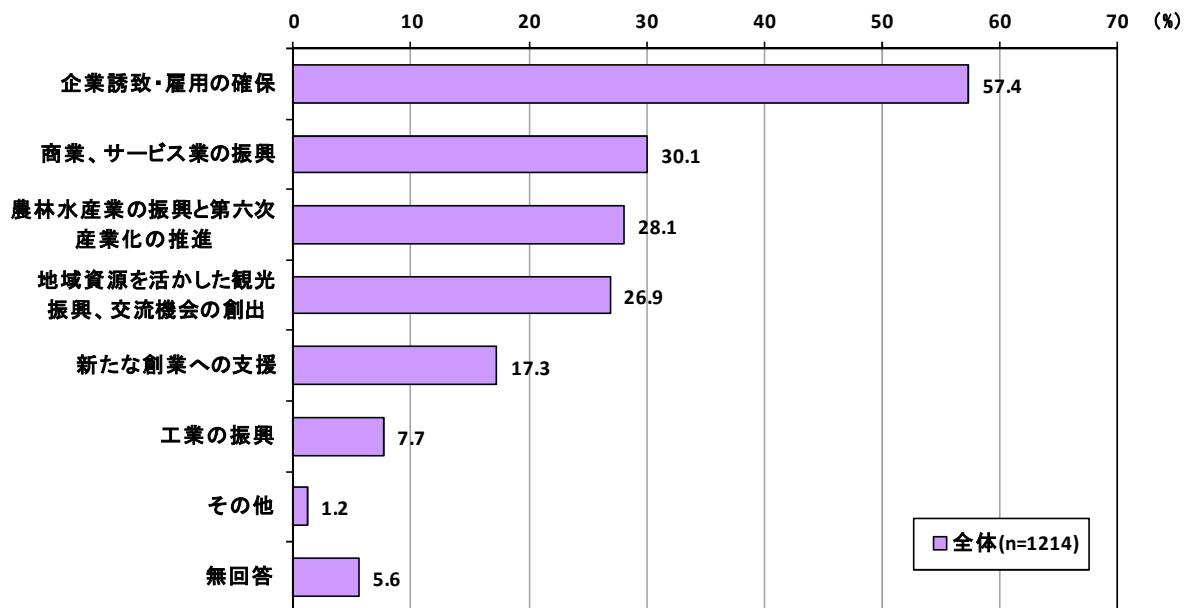
【結果概要】

「企業誘致・雇用の確保」が57.4%と特に多くなっています。次いで「商業、サービス業の振興」が30.1%、「農林水産業の振興と第六次産業化の推進」が28.1%、「地域資源を活かした観光振興、交流機会の創出」が26.9%となっています。

【属性別の特徴】 《表X》

性別では、「企業誘致・雇用の確保」において、男性が特に多くなっています。

また、年齢別では、「商業、サービス業の振興」において、年齢が低くなるほど多くなっています。



【その他の主な内容】

- ・イノシシの被害への対策
- ・公共事業の促進
- ・高所得者の消費を刺激
- ・インターネット環境の地域格差（通信速度）をなくす
- ・光市特有の産業の活性化
- ・耕作放棄地を市民農園として活用
- ・医療特区など製薬会社との共同で医療の充実
- ・農林水産業の衰退を防ぐ
- ・地場産品、地元資本利用の徹底 など

■ 《表X》 産業振興に関する取組みで必要だと思うこと（属性別） ■

		上段：人 下段：%	サンプル数	産業林水産業の振興と第六次産業化の推進	商業、サービスの振興	工業の振興	企業誘致・雇用の確保	新たな創業への支援	興、地域資源を活かした観光振興、交流機会の創出	その他	無回答
全体			1214 100.0	341 28.1	366 30.1	93 7.7	697 57.4	210 17.3	326 26.9	15 1.2	68 5.6
性別	男性		523 100.0	155 29.6	146 27.9	56 10.7	328 <b>62.7</b>	105 20.1	120 22.9	11 2.1	14 2.7
	女性		686 100.0	185 27.0	219 31.9	37 5.4	368 53.6	104 15.2	203 29.6	4 0.6	52 7.6
	無回答		5 100.0	1 20.0	1 20.0	- -	1 20.0	1 20.0	3 60.0	- -	2 40.0
年齢別	10代		27 100.0	3 11.1	12 <b>44.4</b>	5 <b>18.5</b>	10 37.0	5 18.5	7 25.9	1 3.7	- -
	20代		59 100.0	10 16.9	26 <b>44.1</b>	8 <b>13.6</b>	33 55.9	8 13.6	10 16.9	2 3.4	- -
	30代		85 100.0	15 17.6	36 <b>42.4</b>	8 9.4	48 56.5	16 18.8	23 27.1	1 1.2	1 1.2
	40代		147 100.0	33 22.4	55 <b>37.4</b>	20 <b>13.6</b>	85 57.8	25 17.0	29 19.7	- -	6 4.1
	50代		135 100.0	46 <b>34.1</b>	45 33.3	- -	71 52.6	27 20.0	32 23.7	3 2.2	6 4.4
	60代		306 100.0	91 29.7	89 29.1	19 6.2	178 58.2	53 17.3	105 <b>34.3</b>	3 1.0	12 3.9
	70代以上		451 100.0	142 31.5	102 22.6	33 7.3	271 60.1	75 16.6	117 25.9	5 1.1	42 9.3
	無回答		4 100.0	1 25.0	1 25.0	- -	1 25.0	1 25.0	3 75.0	- -	1 25.0
地域別	東部地域		184 100.0	59 32.1	54 29.3	10 5.4	97 52.7	32 17.4	42 22.8	4 2.2	12 6.5
	西部地域		440 100.0	123 28.0	139 31.6	37 8.4	258 58.6	82 18.6	130 29.5	2 0.5	14 3.2
	南部地域		381 100.0	89 23.4	124 32.5	27 7.1	225 59.1	63 16.5	114 29.9	4 1.0	20 5.2
	北部地域		198 100.0	67 <b>33.8</b>	45 22.7	18 9.1	112 56.6	29 14.6	37 18.7	5 2.5	21 10.6
	無回答		11 100.0	3 27.3	4 36.4	1 9.1	5 45.5	4 36.4	3 27.3	- -	1 9.1

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「その他」「無回答」を除く)

(9) 市民参画・行財政運営に関する取組みで必要だと思うこと

設問 25

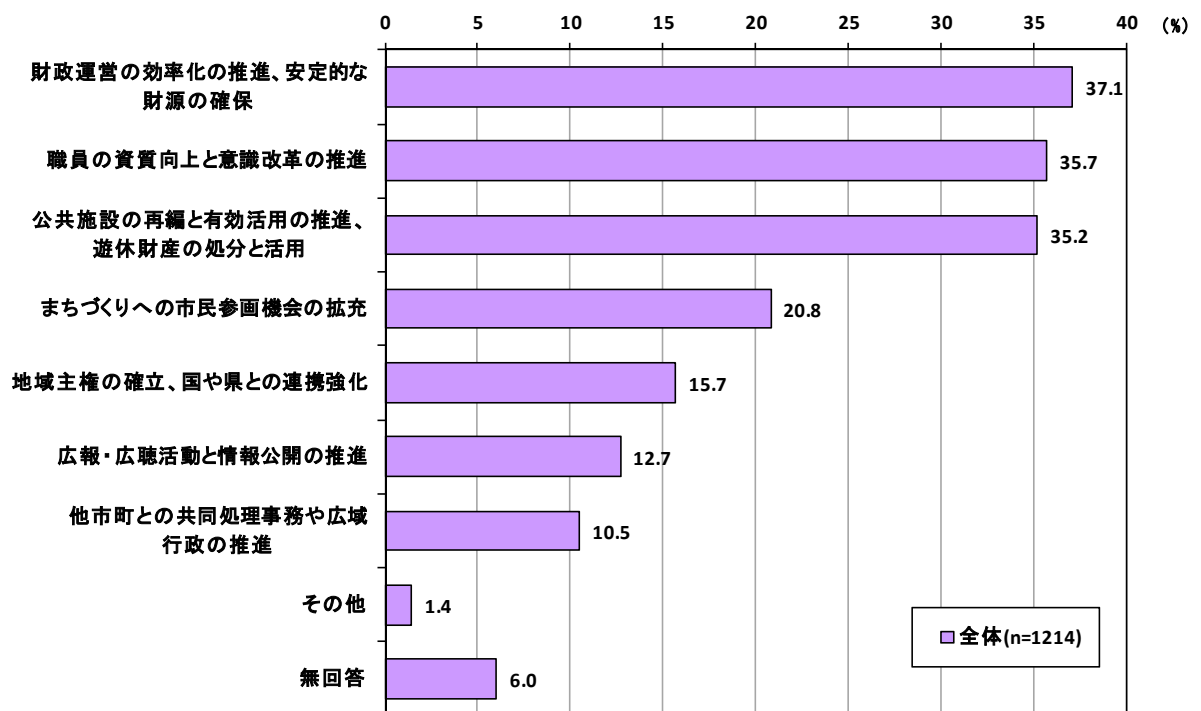
<複数回答可(2つまで)>

【結果概要】

「財政運営の効率化の推進、安定的な財源の確保」が37.1%、「職員の資質向上と意識改革の推進」が35.7%、「公共施設の再編と有効活用の推進、遊休財産の処分と活用」が35.2%と、並んで多くなっています。

【属性別の特徴】 《表Y》

年齢別では、「広報・広聴活動と情報公開の推進」において20代が、「職員の資質向上と意識改革の推進」において60代が多くなっています。



【その他の主な内容】

- ・ 行財政運営の効率化、無駄の排除
- ・ 行政が責任も持ってやればいい
- ・ 行政の柔軟性
- ・ 合理化を進める
- ・ 市民にわかりやすい行財政運
- ・ 月2回の広報を1回する
- ・ 若い人の意見を尊重する
- ・ 中高生の目線でのまちづくり提案の採用
- ・ 有能なプランナーの招へい
- ・ 職員の市民に対する丁寧な対応
- ・ 市立病院の一本化 など

■ 《表Y》 市民参画・行財政運営に関する取組みで必要だと思うこと（属性別） ■

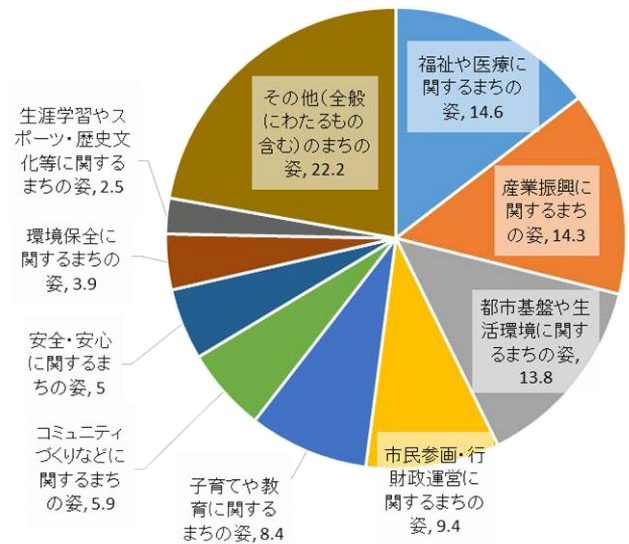
		サンプル数	まちづくりへの市民参画機 会の拡充	広報・広聴活動と情報公開 の推進	地域主権の確立、国や県と の連携強化	他市町との共同処理事務や 広域行政の推進	職員の資質向上と意識改革 の推進	財政運営の効率化の推進、 安定的な財源の確保	公共施設の再編と有効活用 の推進、遊休財産の有効活用	その他	無回答
上段：人 下段：%											
全体		1214 100.0	252 20.8	154 12.7	190 15.7	128 10.5	434 35.7	450 37.1	427 35.2	17 1.4	73 6.0
性別	男性	523 100.0	111 21.2	69 13.2	88 16.8	67 12.8	185 35.4	216 41.3	187 35.8	9 1.7	15 2.9
	女性	686 100.0	140 20.4	85 12.4	102 14.9	60 8.7	247 36.0	233 34.0	238 34.7	8 1.2	56 8.2
	無回答	5 100.0	1 20.0	- -	- -	1 20.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	- -	2 40.0
年齢別	10代	27 100.0	5 18.5	4 14.8	4 14.8	1 3.7	9 33.3	12 <b>44.4</b>	8 29.6	1 3.7	- -
	20代	59 100.0	13 22.0	12 <b>20.3</b>	5 8.5	6 10.2	23 39.0	20 33.9	23 39.0	1 1.7	- -
	30代	85 100.0	11 12.9	11 12.9	14 16.5	11 12.9	32 37.6	32 37.6	33 38.8	- -	1 1.2
	40代	147 100.0	25 17.0	15 10.2	28 19.0	18 12.2	45 30.6	55 37.4	53 36.1	1 0.7	7 4.8
	50代	135 100.0	22 16.3	13 9.6	22 16.3	14 10.4	47 34.8	59 <b>43.7</b>	53 39.3	3 2.2	5 3.7
	60代	306 100.0	62 20.3	38 12.4	46 15.0	29 9.5	130 <b>42.5</b>	111 36.3	120 39.2	6 2.0	12 3.9
	70代以上	451 100.0	113 25.1	61 13.5	71 15.7	48 10.6	146 32.4	160 35.5	135 29.9	5 1.1	47 10.4
	無回答	4 100.0	1 25.0	- -	- -	1 25.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	- -	1 25.0
地域別	東部地域	184 100.0	40 21.7	28 15.2	24 13.0	10 5.4	64 34.8	67 36.4	63 34.2	4 2.2	14 7.6
	西部地域	440 100.0	96 21.8	58 13.2	65 14.8	57 13.0	161 36.6	169 38.4	161 36.6	6 1.4	15 3.4
	南部地域	381 100.0	76 19.9	44 11.5	66 17.3	38 10.0	134 35.2	144 37.8	132 34.6	4 1.0	25 6.6
	北部地域	198 100.0	36 18.2	24 12.1	34 17.2	21 10.6	71 35.9	68 34.3	65 32.8	3 1.5	18 9.1
	無回答	11 100.0	4 36.4	- -	1 9.1	2 18.2	4 36.4	2 18.2	6 54.5	- -	1 9.1

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「その他」「無回答」を除く)

(10) あなたが考える「理想的なまちの姿」について **設問 26** <自由記述>  
 307 人の方から延べ 747 件のご意見・ご提言をいただきました。内容の内  
 訳と主なご意見・ご提言は下記のとおりです。

【内容の内訳】

分野	件数 (件)	割合 (%)
福祉や医療	109	14.6
コミュニティづくりなど	44	5.9
子育てや教育	63	8.4
生涯学習やスポーツ・歴史文化等	19	2.5
都市基盤や生活環境	103	13.8
環境保全	29	3.9
安全・安心	37	5.0
産業振興	107	14.3
市民参画・行財政運営	70	9.4
その他(全般にわたるもの含む)	166	22.2
合計	747	100.0



【主なご意見・ご提言】

●福祉や医療に関するまちの姿

- ・心身共に豊かな生活ができるように、身体を鍛える機会がほしい
- ・健康寿命の伸長に対応できる社会
- ・健康づくりのため、男女とも活用しやすいフィットネスクラブの整備
- ・年齢に応じた運動を市全体で進め、医療費を減少させる事が必要
- ・若い内から病気にならないための健康法や食事法等に取り組む環境づくり
- ・中高年層に向けた体力づくりなど、誰もが老後を楽しく過ごせるまち
- ・病気にさせない行政活動
- ・健康施策（高齢者認知症対策）、病院、コミュニティセンター等の協同活動
- ・老老介護にさせないための健康予防的医療体制の構築
- ・健康に誰もが生き生き生涯過ごせるまち
- ・高齢者が元気な町であってほしい
- ・高齢者が、趣味を持ち、出歩き、人と出会い、互いに元気を与えあう社会
- ・高齢健康で自立した暮らしができるまち
- ・高齢者が意欲を持って、活動や生活ができる地盤が整えられているまち
- ・皆が健康を感じる生活環境を作る
- ・小さな子どもから高齢の人まで、健康で歩き続けられるまち
- ・高齢者が健康で安心して働ける環境づくり
- ・生涯現役を目指して活躍できるまちづくり

- ・高齢者が集まるサークル作り
- ・人材バンクを作るなど高齢者のエネルギーを活用することが大切
- ・豊かな自然を大切に、市民が心身共に健康で過ごせるまち
- ・医療、介護、年金が十分であれば不安なく楽しく暮らせると思います
- ・医療介護の担い手の育成
- ・介護タクシーやバスなどが乗りやすくなればいい
- ・公設の老人ホームの充実で、高齢者が安心・安全に生活できる事を望みます
- ・光市内・近隣地域に福祉施設やサービス企業が充実し、これらに就労する人口の維持・向上
- ・認知症の方が地域で生活できるよう、助け合って暮らせる光市であってほしい
- ・特別老人施設の充実と認知症者や障害者を住民相互で助け合い、見守る政策
- ・新光総合病院を中心とした医療福祉の充実
- ・新光総合病院にバイキング型のレストラン併設。周辺の道路交通網の整備
- ・光総合病院の総合病院としての機能確保
- ・光総合病院の現地建替えを希望
- ・かかりたいと思えるやさしい光総合病院に
- ・大和総合病院を復活させてほしい
- ・大和地域への民間診療所の誘致
- ・市の中心部に医療を集中させるのではなく、市民が等しく医療を安心して受けられるようにしてほしい
- ・安心して暮らせる地域医療の充実
- ・昼夜自由に通える病院のあるまち
- ・ホームドクター制度の充実
- ・総合病院における医師の確保
- ・休日及び夜間の救急医療体制を充実する必要がある
- ・かかりつけの医師と保健師による訪問診療が受けられるような社会
- ・健康に不安を感じた時にすぐに受診、相談のできる医療体制の整備されたまち
- ・病気の時も心配なく医療の受けられる安心のまちづくり
- ・介護職の意識の向上と、それに見合う地位の向上、賃金を増やしてほしい
- ・思いやりのある人々が増えて生活弱者を支援し、心のゆとりが持てるまち
- ・高齢者や障害者の住みやすいまちになってほしい
- ・健常者も障害者も助け合う地域であってほしい
- ・障害者においても、雇用が確保され、適切な支援を受けることができるまち
- ・目や耳が不自由な方々も、まちの中を安心して歩き回れるまち
- ・介護保険の老人ホームに関する制度等をわかりやすく知らせてほしい
- ・一人暮らしの高齢者が孤立せず安心して生活できる社会づくり



- ・介護施設の充実
- ・介護を主体とした市を実現する
- ・住み慣れた地域の中での繋がりを取り戻し、高齢者が生き生きと活躍できるまち
- ・高齢者が買い物難民にならず、孤立しないネットワークや、支援が受けられる
- ・高齢者のみで構成される世帯への買い物などの支援
- ・収入の少ない高齢者が安心して入所できるような施設がほしい
- ・高齢者が出向かなくても用事を済ますことができるまち
- ・高齢者が幸せを感じる生活や、十分な介護サービスを受けられる社会
- ・高齢者施設、在宅介護に向けたサービスの増加など介護のためのまちづくり
- ・高齢者が意思表示できる社会
- ・健康で自分の意志を持って生活できる事
- ・地域包括ケアシステムの構築・充実
- ・少なくとも現在の医療や介護のレベルが保たれている
- ・孤独死のないまちづくり
- ・社会保障や福祉が充実し、子どもから高齢者まで安心して暮らせる光市
- ・生活に困っている人を支える仕組みが充分できていれば幸を感じる
- ・衣食住の安定・充実
- ・生活保護を受けた方が楽な生活ができるような制度は止めてほしい
- ・年金受給者、生活保護者がみあう社会奉仕ができる社会 など

### ●コミュニティづくりなどに関するまちの姿

- ・地域自治の充実
- ・地域コミュニケーションが豊かになり、ゆとりある生活が実感できる社会
- ・誰にでも優しく接触する地域作り
- ・幼稚園、小中学校を中心とする肩のこらない地域活動
- ・向こう三軒両隣、近所づきあい等が全ての基本
- ・地域・家族が仲良くし、生活できる事
- ・光市民であるという自覚を持ち市民同士協力をして理想的なまちをつくる
- ・地域の活動や行事等人との交流を大切にしたまち
- ・見知らぬ者同士が互いに気安く声を掛け合うまち
- ・自分のことと同様に他人のことを思いやる事のできる市民のまち
- ・人と人との繋がりが親密であってほしい
- ・人と人が支え合える地域環境の構築
- ・困り事や不安事がある時（ない時も）に、気軽に集まり相談できる場所や相手がいること
- ・一人暮らしをしていても外へ出る機会、コミュニティの場があること

- ・小さなカフェなど若者が集まる場所を充実させていくべきだと思う
- ・高齢者版のサンホームがほしい
- ・活力のある地域運営が充実したまち
- ・近所づきあいが大事だが、気兼ねなく行ける場所、皆が集える場があるといい
- ・隣近所のお付き合いを大切に
- ・自治会と市の連携を強化する
- ・地域で協力できる事は協力する。自分達から行動するのが当たり前の20年後に
- ・少子高齢化で地区の役の負担が大きい
- ・自治会活動、地域のお世話を担う高齢者にも報酬を出す
- ・自治会単位で何か協同して動くイベント展開を奨励
- ・自治会の輪を広げ、交流を広げる工夫を考える事が必要
- ・高齢者と若者が共存できる地域社会作り
- ・地区ごとに幼児、高齢者問わず一緒に利用できる空間（施設）をつくる
- ・世代を超えて交流があり、繋がりを持つまち
- ・個人情報保護が過度になっており、隣の人とのつきあう事の支障になっている
- ・自然豊かな公園など高齢者が気軽に集える場所が必要        など

#### ●子育てや教育に関するまちの姿

- ・1つのモノを大切にすることを追求する教育
- ・全世界の人々の幸せを考えて行動できる大人を増やしていけると良い
- ・子どもにかかる全ての医療費や教育費（高校等）の無料化など負担の軽減
- ・子どもの医療に関する小さな不安を相談できる場所がほしい
- ・母親達のコミュニティのための施設の充実
- ・妊婦、母子への支援
- ・仕事をしている妊婦へのサポート
- ・女性の社会参加の促進
- ・産後、女性が職につけるように、託児所や病児保育の充実
- ・2つの産婦人科があるという恵まれた環境をもっと全面に出す
- ・年代別による男女格差の是正(少子化対策)
- ・子育て世代が安心して働きながら子育てできるまち
- ・子どもが増えるために大胆な政策をとってほしい
- ・経済的理由で子どもを作らないことがない社会
- ・若者達が子どもを育てたくなるような地域づくり
- ・話が聞ける子どもが育つ子育て環境を作ってほしい
- ・子どもが安全にのびのびと遊べる環境
- ・少子化の問題にしっかり取り組む事が将来の発展に繋がる

- ・小学校に入学するまで、親に対し子育てしやすい職場を作り、短時間保育を促し、親子の関係がしっかり築けるようにする
- ・子ども達が安心して通園・通学できるまち
- ・市外に出て行かなくてもよい学校教育の充実
- ・ICT技術を活用した中身の濃い授業の提供
- ・教育に特化するくらいの覚悟が必要
- ・学校教育の充実
- ・公立小中学校の学費の融資システムの強化
- ・自分が生まれ育った所に愛着を持てるような教育
- ・学力、道徳教育の向上に行政と市民が協力して取り組む
- ・親子と一緒に暮らせる明るい温かい家庭が、いじめ、不登校、虐待、犯罪を防ぐ
- ・教育の充実と個性化に新しい発想ができるまち
- ・教育現場が明るく楽しい環境づくり
- ・コミュニティ・スクールの充実・強化
- ・市立の小中高一貫校ができ、世界に通用する人材育成に成功している
- ・学童通学路の点検と速やかな対応
- ・サンホームの拡大、空き教室の一部開放
- ・子ども達が安心して学び遊べるまち
- ・挨拶ができる子どもを育て、それに答える大人を育て、お年寄りが子どもを大切に、子どもがお年寄りを大切にできる環境づくり
- ・子どもを地域で育てる環境が整っている
- ・親から子へ光市の良さを伝える教育をする
- ・ファッションに関する高等専門学校を設置し、東京、大阪等に発信
- ・たくさん子ども達が仲良く遊ぶ姿が見られるまち
- ・子ども達の声が聞こえ、地元で家族が暮らせる社会 など

### ●生涯学習やスポーツ・歴史文化等に関するまちの姿

- ・スポーツ振興の充実
- ・生涯学習や生涯スポーツの活性化で、元気な高齢者を多くすることを真剣に考えてほしい
- ・スポーツ、グラウンドの設立と競技会などの開催
- ・スポーツ公園、体育館等への交通アクセスの整備
- ・若者が興味を示す新しいスポーツができる場所を作る
- ・コミュニティセンター等での健康体操や趣味などの教室の充実
- ・趣味など自分にとって楽しく行動できれば良い
- ・高齢者の社会活動や生涯学習への参加促進

- ・地域主催の行事を市主催の行事として継承するまちづくり
- ・伝統、祭り行事の維持
- ・スポーツ、レクリエーション施設を作る
- ・市の体育館は市民に無料サービス
- ・人的、物的（環境的）財産を活用した「スポーツのまち、光」の構築
- ・何でもいいから趣味や興味を見つけて少しでも人生を楽しんでほしい
- ・催し物、祭り、コンサート、芸能発表会、絵画などの文化教育活動があるまち
- ・歴史建造物の適切な保管
- ・図書館の時間の拡充を            など

### ●都市基盤や生活環境に関するまちの姿

- ・大都会を目指すのではなく、光市の大自然を残したまま利便性を追求する
- ・社会インフラの強化を推進し、少人数、予算で維持できるようにする
- ・公的機関の建物を1カ所に集め、その周辺に高齢者専用住宅を設置
- ・高齢者向けのマンションやアパートができるといい
- ・介護サービスがついた高齢者向けの住宅の建設
- ・快適な住環境の整備や景観の整備などきれいなまち並みづくり
- ・市街化調整区域の撤廃
- ・居住区域をコンパクトにすることが不可欠と考える
- ・他の地域へ行かなくても用が済むような、コンパクトシティが理想
- ・病院を核にコンパクトでも集中したまちづくり
- ・光市を地域の特性を活かしたブロック化（農業地域、商業地域、工業地域、医療地域など）とそれらをつなぐ公共交通システム
- ・市街地以外を置き去りにしない市政を
- ・行政と日常生活に必要な商店を集約したミニタウンをいくつか形成し、インフラ等の効率化を図る事
- ・徒歩で行ける所に商業施設や行政機関、病院などがあればいいと思う
- ・素晴らしい自然を壊すことなく、高齢者が歩いて移動できるところにスーパーやコミュニティセンターなどがあるなど生活に密着したまち
- ・岩田駅から総合運動公園までのモデルコースの早期実現。岩田駅裏の開発
- ・岩田駅を中心とした2km圏内の再開発
- ・地域の中でスーパーを中心に小売店等が共営し、その周囲に人々が生活する社会
- ・スーパーやバスなどが充実していた40年前のまちの姿が理想的なまちの姿
- ・20年後80代になり免許も返してスーパーも遠く買い物が不安です
- ・路線バスの充実
- ・コミュニティバスの充実

- ・車の運転ができなくなっても安心して暮らせる社会
- ・ぐるりんバスの走行距離の延長をお願いしたい
- ・ワゴン車のような乗り合い的な車などが、幹線道路以外に走っている
- ・利用しやすいオンデマンド交通システムの導入
- ・歩ける範囲で生活圏をつくり、近所づきあいの中で高齢者が生活できるまち
- ・子ども達の声が聞こえ、若者達のスポーツをゆっくり見られるような公園の充実
- ・島田川の河川公園を憩いの場所にしてほしい
- ・島田川周辺を、春は桜、秋は銀杏が見られる1年中楽しい公園に
- ・平らなところに大きな公園ができて小さな子どもがたくさん遊んでいる
- ・公園や遊園地などの建設
- ・冠山総合公園の発展を願う
- ・花と緑の広場をつくり、集客する
- ・公園に色々な遊具を揃え、子ども達が楽しく思い切り運動ができ、お年寄りも毎日ウォーキングができる環境
- ・公園を中心に商業施設が集まり、平日、休日問わず、人が集まるまち
- ・島田～三井～周防まで貫通した島田川の遊歩道ランニング道を作る
- ・高齢者が移動するのに必要な公共サービスの向上
- ・車の運転をしないで生活できるようになってほしい
- ・高齢者の買い物や通院のための交通手段として、市営バスを低価格で運行
- ・田舎であっても病院、買い物へ行ける交通手段の確保
- ・日常生活（買い物等）に利用しやすい公共交通の確立
- ・病院、買い物、役所への迅速な交通手段の確立
- ・室積地区における早めの公共交通対策を
- ・まちを巡回バスが無料で定期的に走っている
- ・車がなくても病院や買い物、色々な行事に参加できるような仕組みづくり
- ・他地域との交通が非常に不便なので、改善していくべき
- ・周南方面や柳井方面へのバスの充実
- ・公共交通網を充実させてほしい
- ・夜間のバス交通の充実
- ・バス停に屋根を着ける
- ・コバルトラインの整備
- ・（赤線道や青線道の管理に関して）10万円の資材枠を取り払って地域住民による事業の採択の大幅な拡大を
- ・瀬戸風線の早期完成と、その路線に大型スーパー等の設置を望む
- ・歩行者が自由に安全に歩ける道路（歩道）があるまち
- ・室積市延地区から多賀神社経由、大峰山に続く道筋に桜の花を植える

- ・県道がガタガタ道で、自転車で通ると、すごく危険を感じる
- ・道路を作る時、歩道の縁石ブロックの設置は必要最小限に
- ・上島田の歩道が狭くて歩行者は大変危険な思いをしています。改善を
- ・道路、上下水道等は人口の多い地区のみ。少ない地区は簡易型にする。現状維持を基本とし、メンテナンス充実。
- ・光大橋の南の溝に小さな橋を架けて通り抜けができるようにしてほしい
- ・車に頼らずにすむ住環境
- ・光駅前周辺の活性化を検討する
- ・光駅舎を橋上化してほしい
- ・光駅（周辺含む）が、誰でも利用できる素敵なデザインの駅となることを希望
- ・駅周辺に何か集客力のある魅力あるものがほしい
- ・光駅のバリアフリー化
- ・光駅における JR バスと列車との連結改善
- ・バリアフリーで、出かけやすいまち
- ・ヨットハーバーを作る
- ・電話の市外局番の統一            など

#### ●環境保全に関するまちの姿

- ・20年後も美しい光市であってほしい
- ・観光も含めて自然との共生
- ・環境（海、川、山）に恵まれた社会
- ・島田川のせせらぎや虹ヶ浜の遠浅を残してほしい
- ・海岸松並木の景勝維持
- ・今ある豊かな自然環境を守り、活かしつつ充実した暮らしを実感できるまち
- ・光市の自然をもっと大事にし、市外、県外から来てもらえるようなまち
- ・野菜や魚、きれいな空気、美しい風景を大切にする生活をしていきたい
- ・日本の持つ良い習慣、そして使用可能なものを大切にして欲しいと思う
- ・市の顔である光駅周辺の線路の周りの草が茂り、光のモニュメントが見えないので改善してほしい
- ・市職員を2つのグループに分けてノーマイカー出勤を隔月交代するシステムを検討し、民間へも波及させる
- ・環境に優しい企業の誘致
- ・ポイ捨てのゴミがないまち
- ・ゴミの分別が難しい。分別がわかりやすいような冊子がほしい
- ・個別になっているごみの収集を、地域ごとのゴミステーション方式に
- ・廃屋や空き店舗の処分。特に国道188号室積～田布施の間の空き家

- ・空地の整備と活用
- ・美しいまちを作って下さい
- ・道路の雑草対策を
- ・砂浜が浸食しない光市の海岸
- ・室積海岸の砂流出防止のため、海面下に潮流防変動最小ブロック設置
- ・自然の力を認識し、自然が暴れない光市
- ・電気自動車やシェアカーの普及
- ・地球温暖化を止めた社会 など

## ●安全・安心に関するまちの姿

- ・子や孫達が安心・安全に暮らせるような社会であってほしい
- ・安心・安全なまちづくりで長生きできる社会
- ・防犯や交通安全等、安全が確立されているまち
- ・行政・地域・警察・企業が一体で、安心・安全な風通しの良いまち
- ・犯罪が少なく安心して暮らせるまち
- ・夜も暗すぎずに帰宅する時に、電灯の明かりで安心できるまち
- ・光市民ひとり一人が安心して生活していける環境づくり
- ・地震、台風など災害に強いまちづくりを希望します
- ・災害時の被害と対応の仕方を、具体的に把握して対応策を考えてほしい
- ・災害などが起きてもすぐ対応できるまち
- ・災害時等の避難経路が整備された安全・安心なまち
- ・防災行政無線は末端まで届くように改善を。建設箇所も増やしてほしい
- ・防災情報を個別に受信できるシステムの検討
- ・5mの高さの津波に耐えるまちづくり
- ・川の整備を定期的に行って頂けたら安心して暮らせます
- ・皆で助け合う気持ちで地域の繋がりを大切にしていける事が安心・安全になる
- ・天災（台風、豪雨、地震）に対する防災訓練等の機会を増す
- ・島田川沿いの増水対策を打ってほしい
- ・道路及び街灯などがよく整備されており、子どもの外出に安心が持てる
- ・タクシーの割引券など運転免許証を返納した場合の特典を
- ・見通しの悪い道はミラーをつけるなど工夫し、交通事故のないまち
- ・道路の安全対策が整備され、日本一運転マナーが良く、交通事故ゼロを継続しているまち
- ・自転車が安心して通行できるよう、自転車道を考えてほしい
- ・高齢者が増えて車の運転の面でも危なくなるので安全面も考えてほしい
- ・アクセルとブレーキを踏み間違えても車がぶつからないようになっている

- ・高齢の運転手のために自動運転のシステムの導入 など

### ●産業振興に関するまちの姿

- ・人が集まるような娯楽施設の増設
- ・ハワイのようなもう一度行きたいと思える観光地になっている
- ・ショッピングモールなど商業や娯楽施設の充実
- ・室積の漁港のレジャー施設としての活用
- ・他の市にはない面白いイベントを実施する
- ・若者にとって魅力的なイベントや店、施設などが増えると良い
- ・虹ヶ浜をもう少しきれいにして観光名所に
- ・室積・虹ヶ浜の海水浴場や、冠山総合公園等の魅力を磨き、集客の増加を
- ・萩シーマートや角島を見習った象鼻ヶ岬の観光地化
- ・市外、県外、海外から観光に行きたいと思ってくれるまちをつくる
- ・室積に美味しい魚料理の店を誘致
- ・まち、中心商店街の復興
- ・昔から地域を支えてきた個人商店が活躍するまち
- ・商業地区が買い物客で賑わっているまち
- ・浅江地区への商業集約
- ・店舗の増加を図る
- ・移動スーパーのような車が回って来てくれる
- ・「〇〇が有名な市だね」と言ってもらえるような商品や産業、施設等をつくる
- ・発展した商業施設や働き口があり、住みたいと思う人がたくさんいるまち
- ・大型商業施設等の誘致
- ・駅前への小型チェーン店などの積極的な誘致
- ・商業、サービス業に関する税制面の見直し
- ・地域の作物等が扱われる活気ある商店街がある
- ・市特有の産物や工業を伸ばし、他市他県から移り住みたいと思われるまち
- ・大企業に対する強力なバックアップを
- ・産業の活性と中小企業の活性
- ・都市や他地方の青年世代の労働者の増加による 2 次産業の活性化(雇用対策)
- ・一次から六次産業まで地区の特徴を発揮した官民一体の光市像が完成している
- ・工業に依存しないまちの活性化を実現する
- ・若者が働ける工業の誘致
- ・水資源を活かした企業誘致、雇用の確保
- ・企業誘致が進み、若者が集まっているまち
- ・山口県の地質学的な利点を活かした工場の誘致と産業の活性化



- ・若い人が魅力を感じる新しい仕事ができる、成功するまちづくり
- ・若者が安心して働けるまちであってほしい
- ・地場産業の振興による若者定住で賑わうまち
- ・若者が都会へ出て行かないで、地元で働ける企業が欲しい
- ・企業誘致に力を入れ働く場を整備して、若者の定住、住宅の斡旋等に力を入れる
- ・雇用の確保も大事だが、ある程度の賃金を支給しないと若者の定住にはならない
- ・財政的に余裕のある生活ができる社会
- ・お金の困らない生活が1番だと思います
- ・ブラック企業を減らす
- ・働きやすい企業を呼んでほしい
- ・高校卒業後の就職が確実になるような企業がほしい
- ・余暇がしっかり取れる社会
- ・将来光市で働けるよう雇用の場を増やしてほしい
- ・地域に安心して働ける職場があり、若者や子ども達が元気に暮らせるまち
- ・雇用の受け皿となる地場産業の振興
- ・雇用の場となる工場を市民で立ち上げる
- ・新しい技術の開発と進出してきた企業のためのインフラの整備により、更に人が集まるようになれば良い
- ・派遣雇用がなくなり、大手企業が正規雇用に戻せば消費と生産が増え、国民が豊かになり、出生率も増え、人口減少に歯止めがかかる
- ・定年を過ぎても働くことのできる環境づくり
- ・信頼できる企業の誘致、雇用の確保ができれば若い人達も増えるのでは
- ・海産物等の六次産業化を図るため、海を活用した道の駅作り
- ・労働人口を固定できる農林水産業を強化し、自治体内での流通を進める
- ・フィッシャーマンズワーフのような漁港整備など、若者がわくわくする場所
- ・漁業で賑わう空積に
- ・海の厨を整備し、農林漁業の連携した六次・七次化や観光を促進する
- ・高齢者が安心して働ける農業法人の充実
- ・農林水産業について、隣接自治体との新規事業体を考える
- ・農林水産業の第六次産業化を優遇制度等で推進
- ・農地を管理、維持するための良い仕組み、システムがあれば良い
- ・耕作放棄地の減少に向けた対策・支援
- ・市内で生産した物を販売できる場所の提供
- ・林業を復活させ、山林の整備を実施
- ・造林で活力ある山に生まれ変わらせる
- ・サル・イノシシなどの鳥獣対策の充実            など

## ●市民参画・行財政運営に関するまちの姿

- ・行政の充実と財政の健全化
- ・身の丈に合った借金がないまち
- ・期限をはっきり明示して、今の借金を0にすることが大事
- ・収入より、支出を減らして将来のために貯金して下さい
- ・消費税、所得税、住民税が安くなると良い
- ・民間業者への業務委託の推進
- ・臨機応変でスピード感のある行政運営を望む
- ・前例踏襲の行政スタイルは止め、常に何か一つ他にない新しい事を示して
- ・光市から近隣の市へ通勤、通学したいと思われるような行政運営が必要
- ・行政と住民の間を埋める策や協議が重要
- ・地方財政の専門家による詳細な評価を公表してほしい
- ・地方債縮小には思い切った民間への業務移行が必要
- ・メリハリのある行政を望む
- ・無駄を排除した行政運営
- ・行政サービスは「薄く、広い」から「重点化」に移っていく必要がある
- ・光市全体の隅々まで行き届いた行政が行われるのを願っています
- ・市民一人ひとりにあった行政サービスが受けられるような市になってほしい
- ・(市の)相談窓口を明確にし、どこでも気軽に相談できるようにしてほしい
- ・行政機能の集約化
- ・行政に対する手続き等が1カ所で済ますことができるまち
- ・(行政には)実質的な結果や成果が認められる力が求められる
- ・公務員と民間の年金の差の解消
- ・国や県との連携が確立されたまち
- ・(行政が)地元の企業に発注することを徹底する
- ・少ない財政の中で効率のよい市民サービスを望んでいます
- ・申請を前提とした、知らないことによるサービスを受けられない事例の解消
- ・サービスの取捨選択を、市民と共に考え実行して欲しい
- ・自治会の集会等に(行政が)出向いて意見交換を行う
- ・近視眼的ではなく、広域的な見方で総合計画の策定を
- ・総合計画は相対的で住民にわかりやすい具体的な表現にしてほしい
- ・過去の実績を踏まえ、時代に沿ったバランスの取れた計画が立案されると良い
- ・市長が率先して動くリーダーであってほしい
- ・議員の歳費削減、賞与の撤廃、日当制の導入など思い切った改革
- ・市議会議員の数を減らすなどスリムにするべき
- ・政務調査費は領収書を持って支払う。管理強化してほしい

- ・公務員の質の向上に向けた教育をすべき
- ・市職員の給料を減らす
- ・市職員一人ひとりが人に優しいこと
- ・市職員が市民の事を親身になって考えてくれる社会
- ・市職員の意識改革を望みます
- ・市職員が市役所や支所を離れて市内で市民と交流する
- ・市職員は前例にとらわれず前向きに動いてほしい
- ・市職員は市民目線で物事を見て、確かめ、いかにするかを考える必要がある
- ・明るい市役所を作ってほしい
- ・民間企業経験者と市職員がディスカッションできる場を構築
- ・問題のある職員は解雇できる条例を光市が全国に先駆けて作るべき
- ・福祉サービスのスリム化と窓口の統一化、手続きの簡素化
- ・マイナンバーカードの普及に力を入れてはどうでしょうか
- ・現状から10年後、20年後の変化を計数的に捉えて予測し、その対策を立てる
- ・様々な社会集団の自主と自立を尊重しながら、適切な公的支援のあり方を模索
- ・若い方の考えを取り入れていくことが大切
- ・市民と行政の協働による地域づくり
- ・社会的弱者が生じないような行政を望みます
- ・20年後のビジョンを市民全員で共有化するための小会議体を設定し、議論
- ・本庁と文化センターの階段に手すりを
- ・公共設備のトイレの全洋式化      など

#### ●その他（全般にわたるものも含む）のまちの姿

- ・市民誰もが共有できるような明確な理念がほしい
- ・理想や夢は光市の市民憲章が素晴らしいと思います
- ・「ゆたかな社会」とは弱者が幸せを感じられること
- ・豊かさの価値観を押しつけることなく、生活に根ざした感覚で行う事が重要
- ・このまま豊かに伸びていく事を願っています
- ・身の丈に合った心の豊かな社会を目指すべき
- ・効率化と豊かさのバランスの取れた社会
- ・観光都市か工業都市かを分けて考え、どちらを目指すにしても、それぞれ形を作って進むべき
- ・自然や文化が与えてくれる幸せを実感できるまち
- ・独自自存、自立できる市民の集合体が理想
- ・差別や偏見のないまち
- ・地域・企業・行政が心一つに、住みよいまちづくりを進めている

- ・ 誰しものが夢を持って暮らしていけるのが生きる条件だと思います
- ・ 世代ごとの役割分担と、それぞれの意志や意見を尊重・尊敬できること
- ・ 産業発展でなくても、人間充実であるまち
- ・ 犯罪の心配も貧困もなく、光市民全市民が心から幸福ですと言えるまち
- ・ 地域の現状を見定め、地域固有の文化を育み、地域資源を持ち活かした事業、観光などを振興していくこと
- ・ 弱者（子ども、障害者、病気の人、高齢者など）の安心や幸せにつながる政策を
- ・ 市全体が生き生きとしたまちであってほしい
- ・ 未来像が見えるまちであってほしい
- ・ 派手さがなくても地道に風土に合った理想を掲げて、まちづくりに励んでほしい
- ・ 明るいまちができる事を楽しみにしています
- ・ どの世代も将来に不安のない希望を持ち、努力をすれば充実した生活を送れる場所になっていけばいい
- ・ 子どもからお年寄りまで手に手を取る事ができる人々の優しさが詰まったまち
- ・ 高齢者に優しいまちづくりと同時に、子育てしやすいまちづくり、両方を満足する光市を築いてほしい
- ・ 人口が減らないように、ここに住みたいと思う環境の整備
- ・ 人口減少に歯止めをかけ、特に若い世代が住み続けたいと感じられる光市
- ・ 若い人達が住みやすい住宅を増やし、人口増加を目指す
- ・ 飲食店を営むにあたり、人口が少なくなっているという事が一番の不安
- ・ 空地、空き家を整備し、市内で二世帯、三世帯が定住しやすい環境整備を行う
- ・ 二、三世帯と一緒に生活している家庭が増え、賑やかなまちになっている
- ・ 少しでも多くの三世帯同居の時代が来たらと夢見ています
- ・ UJIターンの推進
- ・ 勉強のために都会に出た子ども達も仕事に就く頃には故郷に帰ってくる
- ・ 若い人がたくさんいる活気のある光市
- ・ 若い人が定住するように、活気ある商業施設の拡充
- ・ 様々なジャンルにおいて、新しい施設や技術を導入し、より若者が住みたくなるようなまちにする
- ・ 生活していく上でのランニングコストである固定資産税、上下水道、電気料金、ガス料金が安い
- ・ 若者の人口流出を防ぐ事により、世代ごとの人口及び収入の格差を少なくする
- ・ 魅力的な特色に惹かれて人が集まって、皆が心身共に豊かに暮らせるまち
- ・ 若者が故郷光を愛し、定住したいと思うまちづくり
- ・ 若い人達が希望を持って結婚し、子育てができる安心で安全、ゆたかな生活を送る事ができるまち

- ・結婚を希望する人のための出会いの場の提供
- ・名前のように光ってみんなが住みたいと思ってもらえるようになってほしい
- ・魅力あるまちづくりで人口増を狙う
- ・光市民が自慢できる「キラッと光るもの」を説明できるこのような活力あるまち
- ・大きなプロジェクトを全国にアピールできるまちづくりをしてほしい
- ・外に向けて、光市長に光市の良さをもっと宣伝してほしい
- ・都会から移住して来られる人のため、働く場所を増やす
- ・他所から光市に移住したいと思うような施策（空家の活用他）を進める
- ・もう少し華やかさがないと若者は出て行ってしまう
- ・個人の幸せではなく、他人の幸せを幸せと感じる事ができるまち
- ・助け合いの思いやり精神で一人ひとりが生活する事
- ・全ての人々が平等に暮らせるまちにしてほしい
- ・老若男女が住んでみたいと思えるまち
- ・老若男女が社会から必要とされ、生きる喜びが味わえる一人ひとりが大切にされている光市
- ・子どもからお年寄りまでが笑顔で幸せに過ごせるまち
- ・高齢者や子どもに優しいメンター制度を取り入れてほしい
- ・市民が光市に住んで良かったという社会
- ・何年か後、何十年か後の自分を描けるまち
- ・他市と比較するのではなく、光市独自の取組みが結束的だと思う
- ・20年後あまり進化しても暮らしにくいし、人手がいらなくなる
- ・家族皆が仲良く暮らせたら幸いです
- ・親、子、孫と繋がって暮らせる社会を作ってほしい
- ・市民みんな笑顔で安心して、人として普通に暮らせるまち
- ・みんなが仲良く生活の不満がなく、生活できるまち
- ・山口県ばかりでなく日本をリードする最先端の市として進化
- ・経済的、政治的な成長が見通せる、期待できるまち
- ・生まれ育った地域でしっかりと生活ができ、家庭を持ち子育てができるまち
- ・光市内で買い物、遊び、安心できる生活を送る事ができ、高齢者に優しい光市
- ・成人した子どもがこのまちで仕事を見つけ、家庭を持ち新たな命が続いていく。それを力強く後押ししてくれる光市であってほしい
- ・生活に便利で助け合いの心を持ち、安心・安全に過ごせるまち
- ・新しい何かがあると他県、他市から思われる市
- ・最低限の住環境、電気、水道、電話、公共サービスを維持してもらえれば十分
- ・企業のために使う労働時間を短くし、地域社会活動、家族と過ごす時間、消費活動、健康増進のための時間確保

- ・新幹線が止まる周南市と協力し合っではどうですか
- ・住民ひとり一人が意識を持って一日を生活する事
- ・住んでいる場所が大好き。他の人達にも良いところだと言いたい
- ・国際交流・都市間交流の推進
- ・20年後は考えられません。今が大事です
- ・今の暮らしを良くすることにもっと力を注いでほしい
- ・地方出身の都会人に故郷投票が認められても良いのではないのでしょうか
- ・風のある所は風力発電、海は波を利用した発電などエネルギーのまちに
- ・原発に頼らないクリーンなエネルギーを願っています
- ・原子力発電所が近くに存在するというストレスのない光市
- ・これからもずっと平和である事を祈ります
- ・高校生には設問が難しい。学生と社会人を分けたアンケートを行ってほしい
- ・アンケートをいくら書いても期待できずがっかりする
- ・このアンケートはもっと若い人を中心に選ばれた方が良かったのでは
- ・アンケート結果を知りたい。このアンケートを無駄にはしないでほしい など

## 【参考】アンケート調査票

# ＜第2次光市総合計画の策定に向けた市民意向調査＞ あなたの声をお聞かせください



## 調査のお願い

平素から市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、平成19年3月に新市誕生後のまちづくりの指針として策定しました「光市総合計画」が平成28年度に目標年次を迎えることから、現在、平成29年度から平成33年度までの基本的な方向性を示す「第2次光市総合計画」の策定に取り組んでいます。

この調査は、これからのまちづくりを進めていく上での市民意識を把握するために行うもので、市民の皆様が日頃感じておられる、光市にとって必要なこと、重要なことなどをお聞きすることで、今後の光市のまちづくりに生かしていきたいと考えています。

なお、16歳以上の市民の皆様の中から無作為に抽出した方を対象に、無記名回答方式で実施します。集計結果は公表させていただく予定ですが、個人に関わる情報が公表されることはありません。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力をお願いします。

平成28年2月

光市

## ご記入にあたってのお願い

- ご回答は設問ごとの指示に従い、番号に○印をつけてください。設問によって○印をつける数が異なりますので、間違えないようご注意ください。
- この調査に、封筒の宛名の方が答えられない場合、ご家族の方がお答えください。
- この調査票は、同封しました返信用の封筒に入れ、**2月22日（月）までに郵便ポストにご投函ください。**
- ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

### ＜問合せ・連絡先＞

政策企画部 企画調整課 企画係 担当：温品（ぬくしな）  
TEL：0833-72-1400（代表）  
FAX：0833-74-1041



## 1 総合計画ってなに？

総合計画は、まちづくりを計画的に進めるとともに、その内容を市民の皆さんと共有するために作成するもので、様々な計画の中でも最上位に位置付ける計画です。

「第2次光市総合計画」は、人口減少や少子高齢化が進行する中で、概ね20年後（平成47年）という長期的な展望に立った人口動態やまちの理想の姿を示すとともに、今後5年間（平成29年度～33年度）のまちづくりの目標や、その実現のための施策の基本的な方向などを明らかにするもので、これからのまちづくりや都市経営を進めるための指針となるものです。

\*\*\*\*\* ここからが設問です \*\*\*\*\*

## 2 あなた(回答者)ご自身について

設問1 あなたの性別は？

1 男性

2 女性

設問2 あなたの年齢は？

1 10代

2 20代

3 30代

4 40代

5 50代

6 60代

7 70代以上

設問3 あなたがお住まいの地区はどこですか？

1 牛島

2 室積（岩屋・伊保木・五軒屋）

3 室積（2以外）

4 島田・中島田

5 上島田

6 浅江

7 光井

8 三井

9 立野・小周防

10 塩田

11 三輪

12 岩田・岩田立野

13 束荷

**設問4** あなたの同居家族の構成は？

- 1 一人暮らし            2 夫婦のみ            3 2世代家族（子どもと）  
4 2世代家族（親と） 5 3世代以上の同居家族    6 その他（具体的に            ）

**設問5** あなたの通勤・通学先はどこですか？

〈1つだけに○印〉

- 1 光市内（自宅含む）    2 下松市            3 周南市            4 柳井市  
5 田布施町            6 平生町            7 その他（具体的に            ）  
8 通勤、通学していない

**設問6** 日常的な買い物の行き先はどこですか？

〈2つまでに○印〉

- 1 光市内            2 下松市            3 周南市            4 柳井市  
5 田布施町            6 平生町            7 その他（具体的に            ）

**設問7** あなたは、お住まいの地区（設問3でお答えになった地区）に住み始めて何年になりますか？

〈1つだけに○印〉

- 1 5年未満            2 5年以上10年未満            3 10年以上15年未満  
4 15年以上20年未満    5 20年以上



### 3 日常の暮らしについて

～ 以下、それぞれの分野についてお尋ねします ～

**設問 8** 誕生から長寿まで安心して暮らせるまちを実感しますか？ <1つだけに○印>

- 1 実感する                      2 どちらとも言えない                      3 実感しない

**設問 8-1** 実感する理由は何ですか？  
<あてはまるもの全部に○印>

- 1 妊婦や母子の健診等への支援が充実している
- 2 子どもの医療などへの支援が充実している
- 3 サンホームなどの子育て関連施設が充実している
- 4 高齢者や障害者が安心して暮らせる仕組みが整っている
- 5 健康づくりへの支援が充実している
- 6 その他  
    〔 具体的に 〕

**設問 8-2** 実感しない理由は何ですか？  
<あてはまるもの全部に○印>

- 1 妊婦や母子の健診等への支援が充実していない
- 2 子どもの医療などへの支援が充実していない
- 3 サンホームなどの子育て関連施設が充実していない
- 4 高齢者や障害者が安心して暮らせる仕組みが整っていない
- 5 健康づくりへの支援が充実していない
- 6 その他  
    〔 具体的に 〕

**設問 9** 経済活動や交流により、地域と産業が潤うまちを実感しますか？ <1つだけに○印>

- 1 実感する                      2 どちらとも言えない                      3 実感しない

**設問 9-1** 実感する理由は何ですか？  
<あてはまるもの全部に○印>

- 1 地域コミュニティが活発である
- 2 商業・娯楽施設が充実している
- 3 企業誘致や雇用の確保が進められている
- 4 地場の中小企業への支援が充実している
- 5 道路が便利で交流しやすい
- 6 その他  
    〔 具体的に 〕

**設問 9-2** 実感しない理由は何ですか？  
<あてはまるもの全部に○印>

- 1 地域コミュニティが活発でない
- 2 商業・娯楽施設が充実していない
- 3 企業誘致や雇用の確保が進められていない
- 4 地場の中小企業への支援が充実していない
- 5 道路が不便で交流しにくい
- 6 その他  
    〔 具体的に 〕

**設問 10** やすらぎと安心のまちを実感しますか？

＜1つだけに○印＞

1 実感する

2 どちらとも言えない

3 実感しない

**設問 10-1** 実感する理由は何ですか？

＜あてはまるもの全部に○印＞

- 1 地域医療が充実している
- 2 安心して子育てや介護できる環境が整っている
- 3 自然災害に強い
- 4 治安や交通安全が守られている
- 5 生活に関する相談体制が充実している
- 6 その他

（具体的に）

**設問 10-2** 実感しない理由は何ですか？

＜あてはまるもの全部に○印＞

- 1 地域医療が充実していない
- 2 安心して子育てや介護できる環境が整っていない
- 3 自然災害に弱い
- 4 治安や交通安全が守られていない
- 5 生活に関する相談体制が充実していない
- 6 その他

（具体的に）

## 4 行政運営について

**設問 11** 光市では、健全な行政運営を図るため、“改革”と“進化”に向けて取り組んでいます。行政の“改革”と“進化”を実感しますか？

＜1つだけに○印＞

1 実感する

2 どちらとも言えない

3 実感しない

**設問 11-1** 実感する理由は何ですか？

＜あてはまるもの全部に○印＞

- 1 行政運営、財政の無駄が排除されていると思う
- 2 情報公開がされている
- 3 各種申請などのサービスが利用しやすくなった
- 4 市民意見が市政に反映されていると思う
- 5 これまでに実施した事業等の成果や評価が、次の取組みに活かされていると思う
- 6 その他

（具体的に）

**設問 11-2** 実感しない理由は何ですか？

＜あてはまるもの全部に○印＞

- 1 行政運営、財政の無駄が排除されていないと思う
- 2 情報公開がされていない
- 3 各種申請などのサービスが利用しにくい
- 4 市民意見が市政に反映されていない
- 5 これまでに実施した事業等の成果や評価が、次の取組みに活かされていない
- 6 その他

（具体的に）

**設問 12**

近年、行政サービスが多様化する一方、全国的に地方自治体の財政状況は厳しいものとなっていますが、光市も例外ではありません。このような中、これからの行政と市民の役割について、あなたの考えに最も近いものはどれですか？

＜1つだけに○印＞

- 1 税金や使用料など個人の負担を増やしても、従来どおりの行政サービスを維持してもらいたい
- 2 税金や使用料など個人負担は現状のままとし、行政サービスを減らして対応してもらいたい
- 3 民間事業者への業務委託等を進め、行政のスリム化を図るべきである
- 4 市民や地域の力を活用して、きめ細かなサービスを生み出すべきである
- 5 役割分担を明確にし、地域でできることは地域に委ねていくべきである
- 6 その他（具体的に \_\_\_\_\_ )

## 5 人口減少について

**設問 13**

光市の人口は、昭和 59 年の 58,715 人をピークに減少傾向が続いており、平成 26 年の人口は 51,675 人となっています。また、概ね 20 年後(平成 47 年)の人口は下表のように減少すると展望しています。あなたは、お住まいの地域での暮らしの中で人口減少の影響を感じていますか。

＜1つだけに○印＞

- 1 大きく感じている
- 2 やや感じている
- 3 まだ感じていない
- 4 分からない

【参考-現在から概ね 20 年後までの人口展望】

区分別人口	H26	H47 ※推計値
総人口	51,675 人	43,817 人
老年人口(65 歳以上)	16,881 人(32.7%)	15,161 人(34.6%)
生産年齢人口(15~64 歳)	28,238 人(54.6%)	23,024 人(52.5%)
年少人口(14 歳以下)	6,556 人(12.7%)	5,632 人(12.9%)

**設問 14**

設問 13 で「1 大きく感じている」、「2 やや感じている」を選択された方に、参考までにお尋ねします。どのようなところに影響を感じていますか。

現在、思っていることを自由にご記入ください。

---



---



---



---



---

**設問 15**

今後、人口減少がさらに進行すると、次のようなことが課題になると考えられますが、将来に向けて特に気になることはどれですか。 <3つまでに○印>

- 1 消費量と生産量の落ち込みによる経済活力の低下
- 2 社会保障費（医療、介護、年金など）などの働き手一人あたりの負担の増大
- 3 医師や介護職員などの医療・介護の担い手不足
- 4 近所や自治会などのつながりの希薄化や弱体化
- 5 空き家、耕作放棄地の増加や、森林の荒廃
- 6 地域の文化や伝統の継承が困難
- 7 公共施設や都市インフラ（道路や水道など）の適切な運営・維持管理が困難
- 8 スーパーなどの店舗や病院・診療所の撤退
- 9 バスなどの公共交通の減便や廃線
- 10 特にない
- 11 わからない
- 12 その他（具体的に \_\_\_\_\_ )

**設問 16**

人口減少に歯止めをかけるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

<3つまでに○印>

- 1 結婚を希望する人への出会いの機会を提供するなどの結婚支援策を充実すること
- 2 妊娠期から乳幼児期までの医療の充実や、保育所等の子育て環境を整備すること
- 3 子どもが安心して健やかに育つ社会づくりを進め、教育環境を整備すること
- 4 若者や子育て世代の雇用を確保し、生活基盤を安定させること
- 5 雇用の受け皿となる地場産業を育成すること
- 6 地域交通の利便性を向上すること
- 7 高齢者がいつまでも健康で活躍できる環境を整備すること
- 8 豊かな自然環境や充実した医療環境をはじめとした住みよさをさらに磨くこと
- 9 観光資源の発掘やネットワーク化によって交流人口や週末人口を増加させること
- 10 U・J・Iターンを促進するための事業や取組み（住まいの支援など）を強化すること
- 11 特にない
- 12 わからない
- 13 その他（具体的に \_\_\_\_\_ )

## 6 分野別の目標について

**設問 17** 今後5年間(平成29年度～33年度。以下同じ。)の福祉や医療に関する取組みについて、特に必要だと思うことは何ですか？ **<2つまでに○印>**

- 1 健康づくりの推進
- 2 「地域包括ケアシステム」(※)の構築
- 3 高齢者の権利擁護と認知症支援策の充実
- 4 高齢者や障害者を支える地域福祉ネットワークの構築
- 5 障害者福祉対策の推進
- 6 地域医療体制の充実
- 7 健康保険・介護保険等の安定運営
- 8 その他(具体的に )

「地域包括ケアシステム」  
高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、介護、福祉、医療サービスや様々な生活支援サービスを継続的かつ包括的に提供する仕組みのこと

**設問 18** 今後5年間のコミュニティづくりなどに関する取組みについて、特に必要だと思うことは何ですか？ **<2つまでに○印>**

- 1 市民と行政の協働による地域づくり
- 2 地域コミュニティ活動への支援(地域自治の実現)
- 3 市民活動やNPOの育成、体制の整備
- 4 基本的人権の尊重
- 5 男女共同参画社会の形成
- 6 その他(具体的に )

**設問 19** 今後5年間の子育てや教育に関する取組みについて、特に必要だと思うことは何ですか？ **<2つまでに○印>**

- 1 まち全体で支える子育て支援の充実
- 2 母子保健対策の充実
- 3 保育サービスや幼児教育の充実
- 4 学校・家庭・地域がつながる「コミュニティ・スクール」(※)の充実・強化
- 5 一人ひとりに目を向けた特別支援教育の充実
- 6 確かな学力を育む教育内容・環境の充実
- 7 高校・高等教育の推進
- 8 青少年の健全育成
- 9 その他(具体的に )

「コミュニティ・スクール」  
「子どもとかかわり、見守り、支え、応援していく、地域と連携した学校づくり」のシステムのこと

**設問 20** 今後5年間の生涯学習やスポーツ・歴史文化等に関する取組みについて、特に必要だと思うことは何ですか？ **<2つまでに○印>**

- 1 生涯学習の充実
- 2 スポーツ・レクリエーションの振興
- 3 芸術・文化活動の振興
- 4 伝統芸能・文化財の保存・活用
- 5 国際交流の推進、都市間交流の推進
- 6 その他（具体的に )

**設問 21** 今後5年間の都市基盤や生活環境に関する取組みについて、特に必要だと思うことは何ですか？ **<2つまでに○印>**

- 1 駅周辺における駅前広場や駐車場、駐輪場の整備
- 2 幹線道路（国道・県道など）や生活道路の整備
- 3 バスなどの公共交通網の充実・強化
- 4 良好なまち並み・景観の整備
- 5 公園、緑地など公共空間の整備、緑化活動の推進
- 6 快適な住宅・住環境の整備
- 7 上水道の整備
- 8 地域や行政の高度情報化の推進
- 9 離島や周辺地域における生活環境の整備や産業の振興・交流事業の促進
- 10 その他（具体的に )

**設問 22** 今後5年間の環境保全に関する取組みについて、特に必要だと思うことは何ですか？ **<2つまでに○印>**

- 1 市民総参加の美化活動などによる自然環境の保全
- 2 太陽光発電などの再生可能エネルギーの普及促進
- 3 地球温暖化対策の推進
- 4 ごみ発生抑制・再資源化の促進
- 5 下水道の整備
- 6 その他（具体的に )



**設問 23** 今後5年間の安全・安心に関する取組みについて、特に必要だと思うことは何ですか？ **<2つまでに○印>**

- 1 地震・台風などの災害対策の推進
- 2 消防力の整備・充実
- 3 地域防犯活動の推進、青少年の非行防止、テロ等に対する危機管理対策
- 4 交通安全の推進
- 5 消費者の安全・安心の確保
- 6 その他（具体的に )

**設問 24** 今後5年間の産業振興に関する取組みについて、特に必要だと思うことは何ですか？ **<2つまでに○印>**

- 1 農林水産業の振興と第六次産業化の推進
- 2 商業、サービス業の振興
- 3 工業の振興
- 4 企業誘致・雇用の確保
- 5 新たな創業への支援
- 6 地域資源を活かした観光振興、交流機会の創出
- 7 その他（具体的に )

**設問 25** 今後5年間の市民参画・行財政運営に関する取組みについて、特に必要だと思うことは何ですか？ **<2つまでに○印>**

- 1 まちづくりへの市民参画機会の拡充
- 2 広報・広聴活動と情報公開の推進
- 3 地域主権の確立、国や県との連携強化
- 4 他市町との共同処理事務や広域行政の推進
- 5 職員の資質向上と意識改革の推進
- 6 財政運営の効率化の推進、安定的な財源の確保
- 7 公共施設の再編と有効活用の推進、遊休財産の処分と活用
- 8 その他（具体的に )

